

経済産業省 大臣官房福島復興推進グループ 福島広報戦略・風評被害対応室 御中

平成30年度 中小企業実態調査委託費 (福島への交流人口拡大に向けた実態調査事業) 調査報告書

平成31年3月29日



みずほ情報総研株式会社

目次

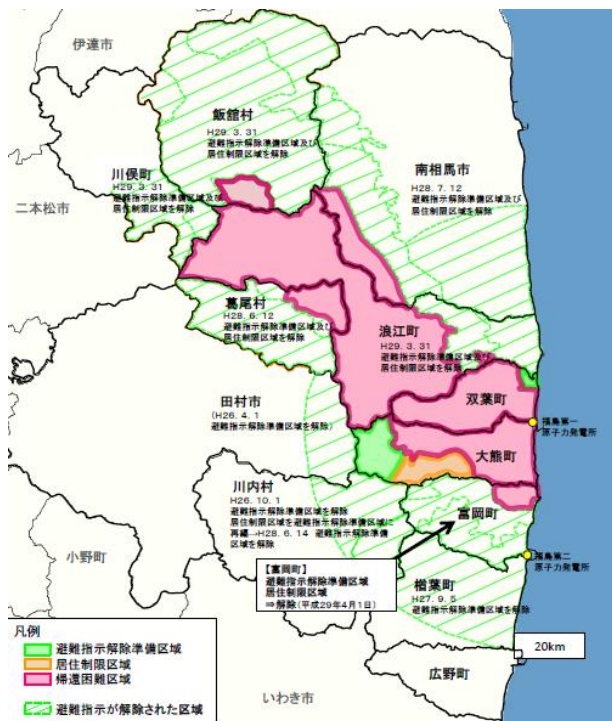
1. 本事業の背景と目的	2
1.1 本事業の実施の背景	3
1.2 本調査の目的と実施手順	4
2. 流入人口調査結果	6
2.1 調査分析の手法	7
2.2 調査・分析の結果	16
2.2.1 来訪者分析	16
2.2.2 旅程分析	26
2.2.3 前後訪問地分析	32
2.2.4 滞在地分析	38
2.2.5 流出入分析	47
2.2.6 周遊分析	49
2.2.7 交通手段分析	52
2.2.8 宿泊地分析	57
2.2.9 立寄りスポット分析	61
3. 調査結果データのまとめ	66
3.1 調査結果データのまとめ	67
3.2 調査・分析の結果に関する考察	68
4. 重点施策の提案	77
4.1 交流人口拡大に向けた方向性の検討	78
4.2 交流人口拡大に向けたテーマ別実施イメージ例	80

1. 本調査の背景と目的

1.1 本事業の実施の背景

1.1.1 12市町村の現状及び福島県他地域と比較した交流人口の推移

- 平成23年3月11日に発生した東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故以降、福島県特に飯舘村、大熊町、葛尾村、川内村、川俣町、田村市、富岡町、浪江町、楡葉町、広野町、双葉町、南相馬市（以下12市町村という）では、避難指示区域が設定されているが、平成26年以降、徐々に避難指示が解除されており、それに伴い12市町村の当該解除区域では住民の復帰、事業の再開等復興に向けた動きが加速している
- 一方で、観光等による県外からの流入人口の推移という観点では、県全体及び県内各圏域が震災前の状況にまで回復しているなかで、12市町村の大部分によって構成される相双地域では、震災前の半分程度に留まる



出所：経産省公表資料をもとに福島県にて作成された避難指示区域の概念図を転載

福島県内各地域における観光客入込状況の推移

圏域	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H29とH22の比較
相双*	5384	1153	1395	1483	1663	2659	2943	2782	51.7%
県北	10923	7850	9406	9997	10121	10530	11647	13134	120.2%
県中	8253	5131	6354	6789	7043	7090	8153	8266	100.2%
県南	3014	1985	2698	2792	2946	3021	3212	2861	94.9%
会津	15147	13030	14385	16293	14315	15968	16169	16392	108.2%
磐梯・猪苗代	5484	4997	5585	5499	5380	5610	5664	6060	110.5%
会津西北部	2952	2529	2710	2801	2622	2879	2978	3101	105.0%
会津中央	6711	5504	6090	7993	6313	7479	7527	7231	107.7%
南会津	3691	2354	3021	3271	2987	2927	2907	2834	76.8%
いわき	10767	3708	7199	7690	7819	8118	7734	8226	76.4%
計	57179	35211	44459	48315	46893	50313	52764	54494	95.3%

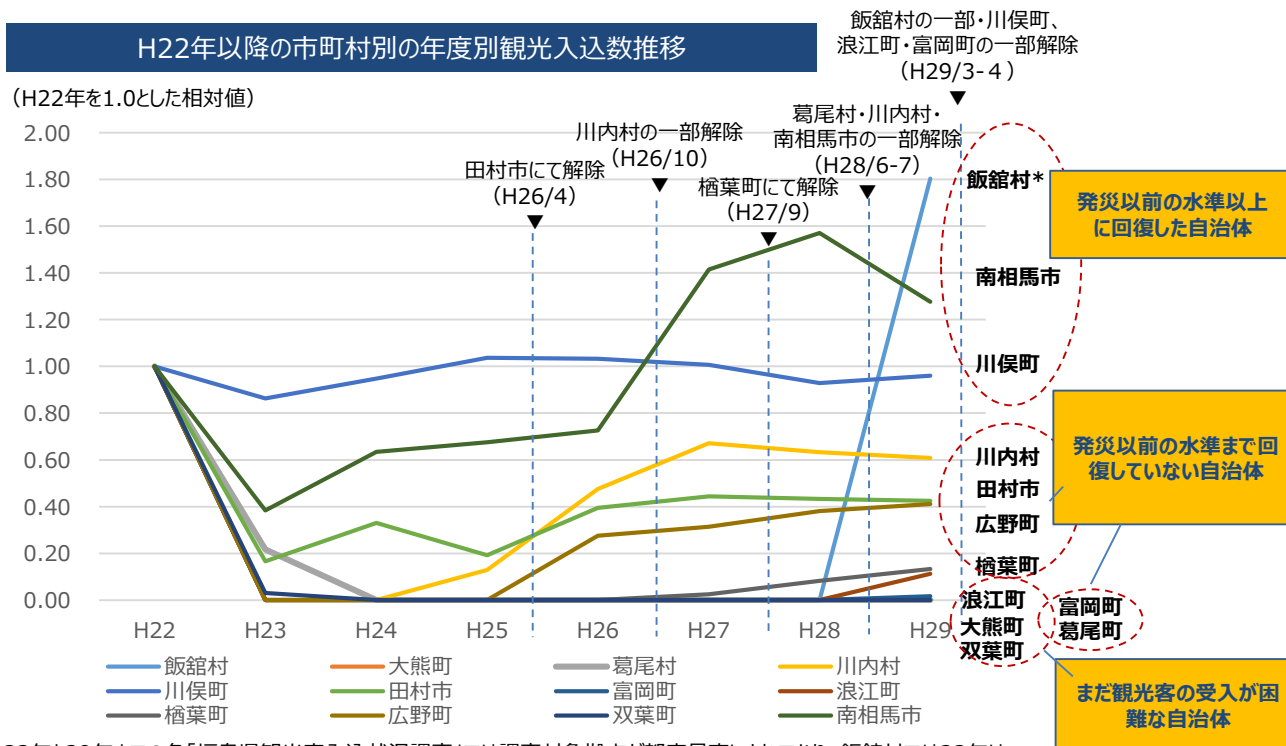
* 12市町村中、川俣町は県北圏域、田村市は県中圏域に、その他10市町村に相馬市、新地町の2市町を加えたエリアが相双圏域と呼称される

出所：福島県「福島県観光客入込状況平成29年分」をもとにみずほ情報総研にて作成

1.1 本事業の実施の背景

1.1.2 12市町村における観光入込数の回復状況

- 避難指示区域等の解除の状況、あるいは震災以前・解除以降での交流人口の受入環境整備、環境の復旧状況のスピードの差異によって、入込状況が比較的早期に回復したエリアとそうでないエリアと違いがあり、震災前の水準にまで回復している市町村を含め、国民の関心や、報道・情報発信等が継続的に維持され風評・風化を防ぐためにも、12市町村への交流人口を拡大させていくことが重要
- 入込観光客数調査のみでは見えてこない、観光客以外も含めた12市町村への交流人口の実態を把握する必要がある



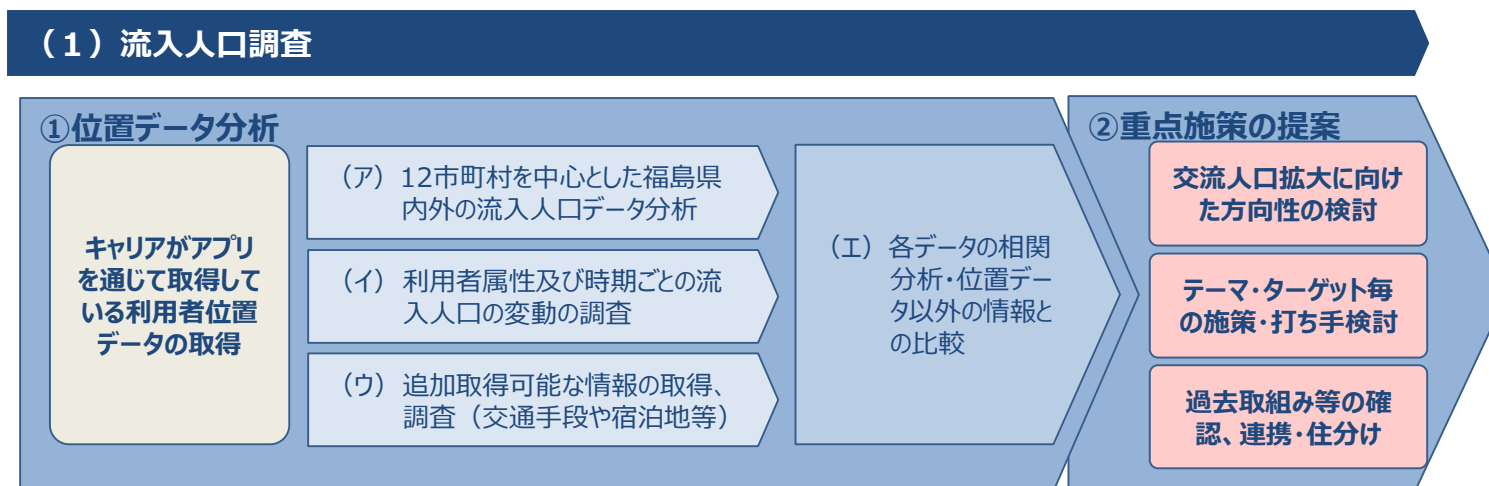
市町村	観光種目	調査集計地点	22年計	28年計	変化率
南相馬市	その他	セデツカしま	809664	1175276	145.2%
南相馬市	その他	道の駅南相馬	809664	556401	68.7%
南相馬市	行祭事・イベント	相馬野馬追	189900	192600	101.4%
南相馬市	温泉・健康	新田川はらまちユツサ	94225	85912	91.2%
南相馬市	都市型観光・買い物・食-	野馬追通り銭湯館	39142	39981	102.1%
南相馬市	ｽｽﾞｰﾗｰﾚｸﾞﾈｰｼﾞｮﾝ	鹿島ランドリーグラブ	38740	22263	57.5%
南相馬市	行祭事・イベント	小高区文化祭	41000	15000	36.6%
南相馬市	ｽｽﾞｰﾗｰﾚｸﾞﾈｰｼﾞｮﾝ	北泉海水浴場	84116	0	0.0%
南相馬市	自然	原町シーサイドパーク	31934	0	0.0%
双葉町	ｽｽﾞｰﾗｰﾚｸﾞﾈｰｼﾞｮﾝ	双葉海水浴場	85873	0	0.0%
広野町	ｽｽﾞｰﾗｰﾚｸﾞﾈｰｼﾞｮﾝ	二ツ沼総合公園	64458	24524	38.0%
楡葉町	ｽｽﾞｰﾗｰﾚｸﾞﾈｰｼﾞｮﾝ	天神神スポーツ公園	180911	79955	44.2%
楡葉町	ｽｽﾞｰﾗｰﾚｸﾞﾈｰｼﾞｮﾝ	ｸﾞﾗﾌﾞﾚｯｼﾞ	451555	0	0.0%
楡葉町	ｽｽﾞｰﾗｰﾚｸﾞﾈｰｼﾞｮﾝ	岩沢海水浴場	36899	0	0.0%
楡葉町	その他	道の駅ならは	301014	0	0.0%
浪江町	自然	高瀬川渓谷	20985	0	0.0%
浪江町	歴史・文化	陶芸の杜おおほり	33817	0	0.0%
浪江町	ｽｽﾞｰﾗｰﾚｸﾞﾈｰｼﾞｮﾝ	マリパークなみえ	56618	0	0.0%
浪江町	歴史・文化	請戸川やな場	55044	0	0.0%
浪江町	行祭事・イベント	十日市	100000	0	0.0%
富岡町	ｽｽﾞｰﾗｰﾚｸﾞﾈｰｼﾞｮﾝ	富岡町総合スポーツセンター	167842	0	0.0%
富岡町	温泉・健康	りれ楽園	183468	0	0.0%
富岡町	行祭事・イベント	夜の森桜まつり	100000	0	0.0%
田村市	自然	あぶくま湖・入水鍾乳洞	380053	211782	55.7%
田村市	ｽｽﾞｰﾗｰﾚｸﾞﾈｰｼﾞｮﾝ	ごどもの国ラムシラランド	69052	14547	21.1%
田村市	歴史・文化	星の村天文台	16883	11841	70.1%
田村市	行祭事・イベント	鬼の里納涼夏まつり	6500	7000	107.7%
田村市	自然	高梁山	26000	5150	19.8%
田村市	自然	片曾根山	15090	2850	18.9%
田村市	自然	仙台平	71101	416	0.6%
葛尾村	温泉・健康	せせらぎ荘	26589	0	0.0%
川俣町	その他	シルビア (道の駅川俣内物産館)	189300	168828	89.2%
川俣町	都市型観光・買い物・食-	こころ (JA新ふしま直売所)	98650	89274	90.5%
川俣町	行祭事・イベント	川俣シャモまつり	7310	13100	179.2%
川俣町	行祭事・イベント	綱市	7800	9100	116.7%
川俣町	行祭事・イベント	コスギン・エン・ハボン	8300	9000	108.4%
川内町	温泉・健康	かわつちの湯	85464	49403	57.8%
川内町	歴史・文化	いわたの郷	19270	16831	87.3%
大熊町	ｽｽﾞｰﾗｰﾚｸﾞﾈｰｼﾞｮﾝ	ふれあいパークおおくま	72194	0	0.0%
飯館村	ｽｽﾞｰﾗｰﾚｸﾞﾈｰｼﾞｮﾝ	村民の森あいの沢	22548	0	0.0%
飯館村	都市型観光・買い物・食-	もりの駅まごころ	53628	0	0.0%
飯館村	行祭事・イベント	山津見神社祭礼	20000	0	0.0%

* 22年と29年までの各「福島県観光客入込状況調査」では調査対象拠点が都度見直しされており、飯館村では22年は「村民の森あいの沢」、「もりの駅まごころ」、「山津見神社祭礼」の計3拠点から、29年は「いわたの村の道の駅までい館 (29年7月開駅)」が対象となったため、上記図表では入込状況が大きく変化している

1.2 本調査の目的と実施手順

1.2.1 本調査の目的及び実施手順

- そこで、本事業では位置ビッグデータを取得し分析することで、12市町村内の居住者等を除いた交流人口の12市町村内への訪問・滞在と域内外の周遊状況を明らかにすることとした
 - 位置データを活用して、12市町村における観光拠点や滞在エリアへの訪問頻度やその特徴を確認
 - 12市町村訪問時での12市町村全体、市町村や拠点での滞在時間や周遊パターンを確認
 - 訪問者の居住地・性別年代等属性別での特徴、12市町村訪問時の想定される交通アクセス手段を確認 等
- さらに調査を通じて判明した交流人口の特徴をもとに、平成31年度以降の交流人口拡大に向けた戦略立案に向け、考慮すべき内容（複数の観光資源の組み合わせ、複数自治体間の連携、交通手段の確保等）や情報発信におけるターゲット（訪問者の居住地域、性別、年齢層）、について具体的な施策・打ち手について検討し、提案を行った
- 本事業の実実施手順は下図フローのとおりである

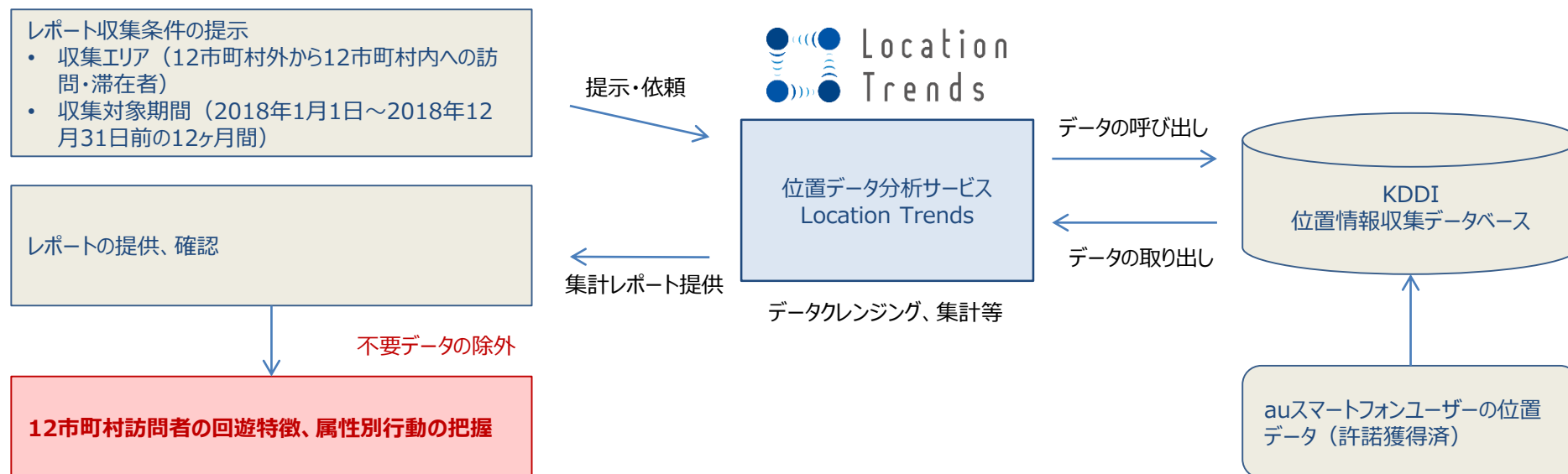


2. 流入人口調査結果

2.1 調査・分析の手法

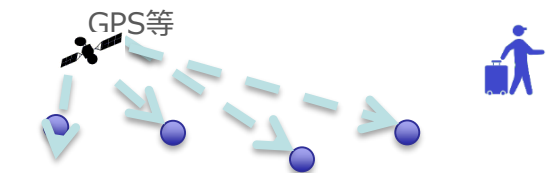
位置データを活用した本事業の実施内容

- 位置データを活用した本事業の実施にあたっては、コロプラ社が集計レポートとして提供している、位置情報データ分析サービス「Location Trends」を使用
 - 本サービスを使用することで、同社の親会社であり通信キャリア大手であるKDDI社が、auスマートフォンユーザーから個別に同意を得て取得している位置データをもとに、コロプラ社が分析対象期間や対象エリアについて提携のレポート項目に基づいて集計処理や可視化処理等の一次加工を施したレポートサービスの利用が可能
- コロプラ社のレポートサービスから確認したデータ等情報に加えて、公開されている統計データや、SNSデータについて集計し、必要に応じてそれぞれのデータとを比較、12市町村における交流人口についてのより詳細な状況を把握した



2.1 調査・分析の手法

分析に十分なデータ量の確保：コロプラ社「Location Trends」サービスの紹介

利用同意方法	「auサービスTOP（旧auスマートパス）」等のDL 又は初回起動後	データ 保持期間	2014年9月より安定的に蓄積
許諾者数	数百万人のアクティブな許諾者	性年代	通信回線契約情報より、身元証明書記載の性・ 年代情報を取得
データ 取得方法	アプリでGPS情報を定期測位。 ※GPSモードオフ時にはWi-Fi測位等により可能な 限り精度の高い位置情報を取得。	居住地 ・就業地	許諾者の2ヶ月分の全行動ログより推計
パーソナル データの取扱い	総務省「位置情報プライバシーレポート」に完全準 拠 ※総務省「平成26年度版 情報通信白書」に データ取扱事例として掲載実績あり	許諾者の 偏り補正	居住地×性別×年代の構成比に関して、平成27 年度国勢調査をもとにウェイトバック補正を実施
データ取得間隔	最短数分間隔で取得しており、正確な来訪者数 や滞在時間が把握可 ※取得間隔が長いと集計もれや通過者の混入が 生じます	観光客の判定	居住者・勤務者、高頻度／長期来訪者、非観光 施設のみ来訪者除外ロジック等で判定
イメージ	<p>最短数分おきの移動軌跡データ</p> 	利用交通手段 (流入経路)	主要鉄道路線、幹線道路別に地図上独立区間 への来訪や速度で判定 ※大手鉄道会社ダイヤ改正分析実績あり
		メッシュ粒度	来訪判定 10mメッシュ～ マップ表示 100mメッシュ

2.1 調査・分析の手法

分析に十分なデータ量の確保

- コロプラ社「Location Trends」サービスの提供実績例は以下のとおりであり、これまで100以上の自治体から位置情報ビッグデータを活用した動態調査事業を受託している

【2015年】

国土交通省北陸信越運輸局「ICTを活用した北陸新幹線及び上越新幹線利用観光客動態調査事業」、国土交通省北陸信越運輸局「地域資源を活用した観光地魅力創造事業『ICT活用マーケティング調査業務』」、千葉県、松本広域連合、加古川市、三重県、氷見市、国分寺市、佐賀県、朝来市、大牟田市、長野市、熊本県、山形・上山・天童三市連携観光地域づくり推進協議会、神奈川県、長瀬町、わかががわ観光推進協議会、串本町、豊田市観光協会、三浦市など

【2016年】

観光庁「明日の日本を支える観光ビジョン」策定に向けた調査・分析、国土交通省「交通センサスの高度化」事業、佐賀県「『観光の担い手』育成に係る観光動態調査」、豊岡市、愛知県、群馬県、岐阜県、神奈川県、輪島市、青梅市、長野広域連合、津軽南地域新幹線開業効果研究会、信州ビーナスライン連携協議会、葉山町、逗子市、倉吉市、お茶の京都DMO、森の京都DMO、海の京都DMO、さんりく基金、神戸市、大村市、洲本市、石垣市、北海道新聞社など多数

【2017年】

白浜町、茨城県中央観光協議会、高知県、鳥羽市、上田地域観光協議会、倉敷市、会津若松市、東京都市長会、仁淀ブルー観光協議会、茨城県観光物産協会、練馬区産業振興公社、朝来市、国土交通省、新潟市、高知市、群馬県、仙台市、福岡県、宮崎県、郡山市、鹿児島市、倉敷市、豊岡市、さいたま市、横浜市、出雲市、坂井市、あわら市、山梨市、十和田市、徳島市、北上市、竹田市、糸島市、嬉野市、いわき市、松山市、下呂市、小松市、加賀市、佐渡市など多数

【2018年】

多数の履行実績有



2.1 調査・分析の手法

調査方法、対象者、調査期間

調査方法

KDDIがauスマートフォンユーザーから位置情報取得の同意を得て、個人が特定できないように加工した位置情報データおよび属性情報（性別・年齢層）等を利用し、【福島県内12市町村※（以下、対象エリア）】への滞在状況を確認

※飯舘村、大熊町、葛尾村、川内村、川俣町、田村市、富岡町、浪江町、楡葉町、広野町、双葉町、南相馬市

調査対象

対象エリア内に15分以上滞在した人

※但し、対象エリア内居住者・通勤者、長期旅行者、および高頻度来訪者を除外

また、生活圏のデータは除外しております

調査期間

2018/01/01～2018/12/31（1月～3月、4月～6月、7月～9月、10月～12月）

※但し、期間内に出発し、期間終了後7日経過前に帰着したデータを含む

調査対象ユーザー数（ウェイトバック補正後）

37,271サンプル

ウェイトバック補正

KDDI許諾者数の変動及び、性年齢層の偏りのウェイトバック補正処理を各月で実施しております

*KDDI許諾者数の変動は対象期間のKDDI許諾者数から、対象月の補正値を算出

*性年齢層別の偏りは、最新の人口統計（平成27年国勢調査）を用いて補正値を算出

※ 資料上の来訪者数は、小数点第一位以下を四捨五入した後の数値を表記しております。
そのため、資料上の来訪者数を単純合計した値と資料上に表記されている合計来訪者数に微差が発生する場合があります。
来訪者数に小数点以下の数値が出現することはウェイトバック補正処理に起因します。

2.1 調査・分析の手法

調査方法、対象者、調査期間

- 調査方法、対象者、調査期間は以下とした

判定	
宿泊地判定	22時～翌日8時の間に最も長く滞在した場所を宿泊市町村とする。但し、滞在時間が1時間未満の場合は不明とする
宿泊場所区分判定	対象エリア内での宿泊を域内泊、対象エリア外での宿泊を域外泊とする
夜間判定	22時00分～08時59分
立寄り市町村判定	【立寄り】 旅程内に15分以上滞在した市町村を立寄り市町村とする。但し、立寄り市町村と発地市町村が同一の場合は除外する 【立寄り前後】 旅程内における対象エリア内での最長滞在を基準とし、その前後に15分以上滞在した市町村を前／後立寄り市町村とする 但し、立寄り市町村と発地市町村が同一の場合は除外する。
流入経路判定	対象エリアに流入する代表交通手段を判定
12市町村来訪判定	各市町村に各15分以上滞在した人を来訪者とする。
観光エリア来訪判定	各観光エリアに各15分以上滞在した人を来訪者とする。
観光スポット来訪判定	各観光スポットに各15分以上滞留した人を来訪者とする。

集計数値	
滞在時間	対象エリア来訪者の平均昼間滞在時間
秘匿処理	来訪者数が少ない区分（N=10未満）は、プライバシー保護の観点からブランクもしくは「****」と表示する

2.1 調査・分析の手法

調査方法、対象者、調査期間

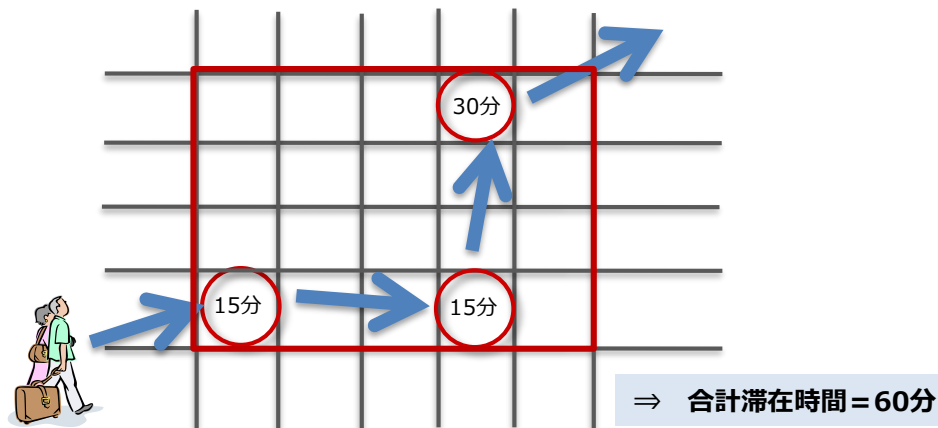
- 調査方法、対象者、調査期間は以下とした

区分		
地域	北海道	北海道
	東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
	関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
	中部	新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
	近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
	中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
	四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
	九州・沖縄	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
属性	性別	男性、女性
	年齢層	15～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60歳以上
来訪旅程	日帰り、宿泊（1泊、2泊以上）	
宿泊場所	域内泊、域外泊	

2.1 調査・分析の手法

分析エリア内滞在時間定義及びサンプル数

- 12市町村内の複数箇所での滞留時間の合計値を滞在時間とした



- 滞在時間が15分以上滞在サンプルを「来訪者」と定義した場合のサンプル数は下表のとおりであった
- なお、複数市町村来訪者は重複カウントしているため、12市町村を足し上げた数と調査対象サンプル数は一致しない

	年間合算	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
調査対象サンプル	37,271	7,972	9,218	11,061	9,020
田村市	12,425	2,405	3,159	3,973	2,888
南相馬市	12,598	2,711	3,017	3,671	3,200
川俣町	4,212	1,014	1,104	1,124	970
広野町	2,354	511	587	680	576
檜葉町	3,184	715	738	960	772
富岡町	2,320	505	539	684	593
川内村	551	118	142	159	132
大熊町	827	153	197	241	236
双葉町	581	95	151	196	139
浪江町	1,726	341	365	530	490
葛尾村	293	57	79	87	70
飯館村	1,649	365	456	476	353

2.1 調査・分析の手法

各分析項目

分析項目	調査・分析内容
来訪者属性	1. 来訪者分析 性別・年齢別・居住地（発地）別に来訪者数を算出し、どんな人がどの時期に、どれくらい来訪したかを分析
滞在状況	2. 旅程分析 日帰り・宿泊（12市町村内外）別の来訪者数を算出し、どのような旅程で来訪したかを分析、また宿泊旅程時の12市町村内宿泊割合を確認
	3. 前後訪問地分析 12市町村への訪問の前後に立ち寄った他市町村を確認し、12市町村訪問時のハブとなる市町村を分析
	4. 滞在地分析 エリア内での滞在サンプル数をメッシュごとに算出し、来訪者がどこを経由したか、またメッシュごとの利用（滞在）頻度を分析
	5. 流入出分析 12市町村での流入出者数からの来訪者流入出の多い時間帯別を算出
	6. 周遊分析 エリア内での周遊ルートランキングを算出し、エリア内の周遊パターンを分析、また性別・年齢層別にも分析
宿泊・移動方法等状況	7. 交通手段分析 主要流入交通手段（幹線道路、鉄道等）別の来訪者数を算出し、来訪手段や、その利用頻度を分析
	8. 宿泊地分析 訪問者の宿泊地を分析し、エリア内のどこに、あるいはエリア外のどの市区町村に宿泊したか、その利用頻度を分析
	9. 立寄りスポット分析 訪問者の滞在地を分析し、エリア内のどの飲食施設や観光施設、アクティビティに滞在したか、スポットごとの訪問頻度を分析

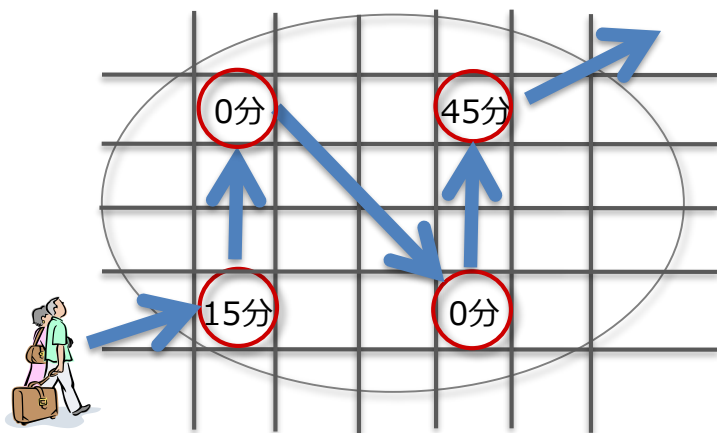
2.1 調査・分析の手法

用語等の定義

エリア内での「滞在」の定義

- 対象エリア・観光エリア・12市町村への来訪判定時には滞在時間を活用
- 15分以上滞在で来訪者と定義

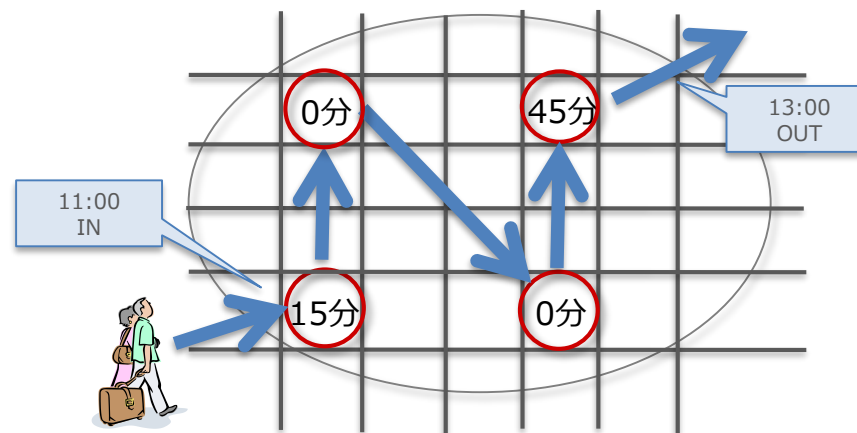
●エリア内の複数箇所での滞在時間の合計値を滞在時間とする



エリア内での「滞留」の定義

- 観光スポットへの来訪判定時には滞留時間を活用
- 15分以上滞留で来訪者と定義

●エリア内に入った時間と出た時間の差分を滞留時間とする



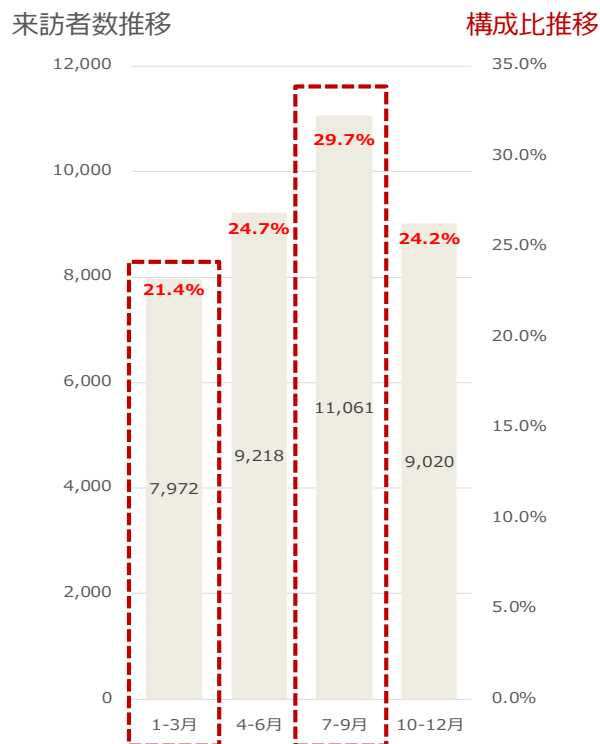
2.2 調査・分析の結果

2.2.1 来訪者分析

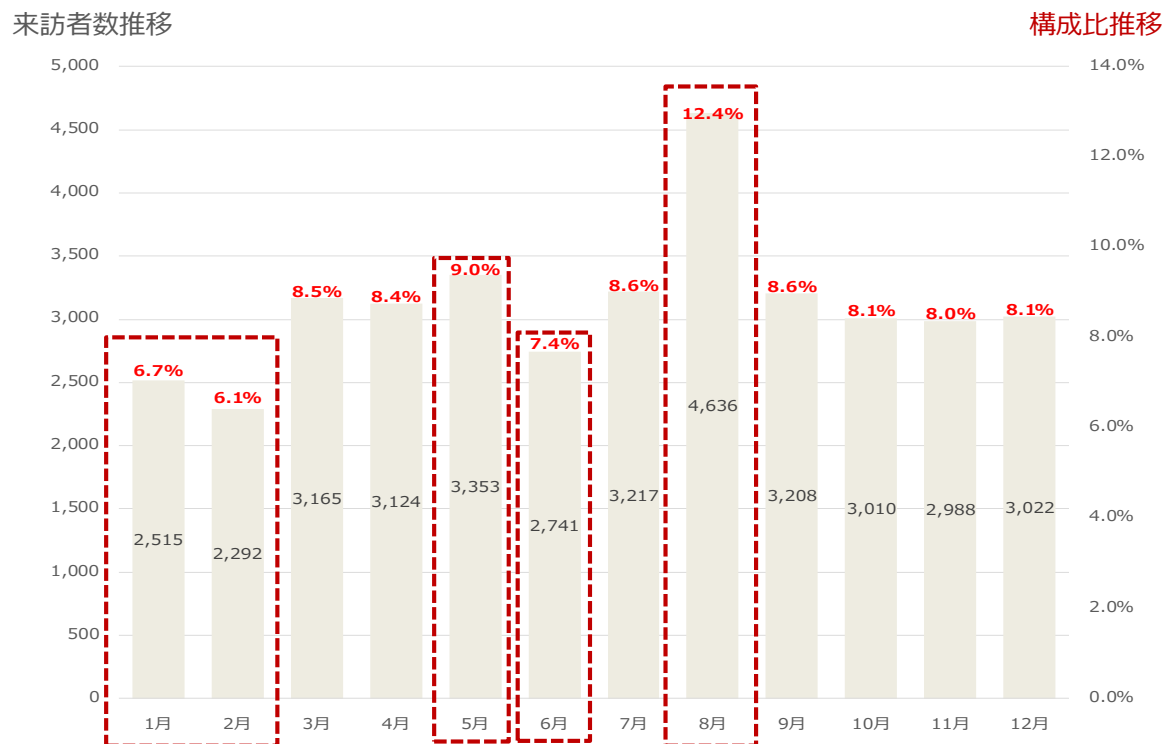
② 四半期・月別による12市町村への来訪者数

- 四半期別では、7-9月期の来訪者数が最も多く（29.7%）、逆に1-3月期（21.4%）が相対的に低い
- 月別訪問者数では、8月の来訪者数（12.4%）が他月に比べ突出して多く、5月（9.0%）がそれについて高い
- 逆に2月（6.1%）、1月（6.7%）、6月（7.4%）の来訪者は低い

来訪者数・構成比（四半期別）



来訪者数・構成比（月別）



出所：「KDDI×コプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

2.2 調査・分析の結果

2.2.1 来訪者分析

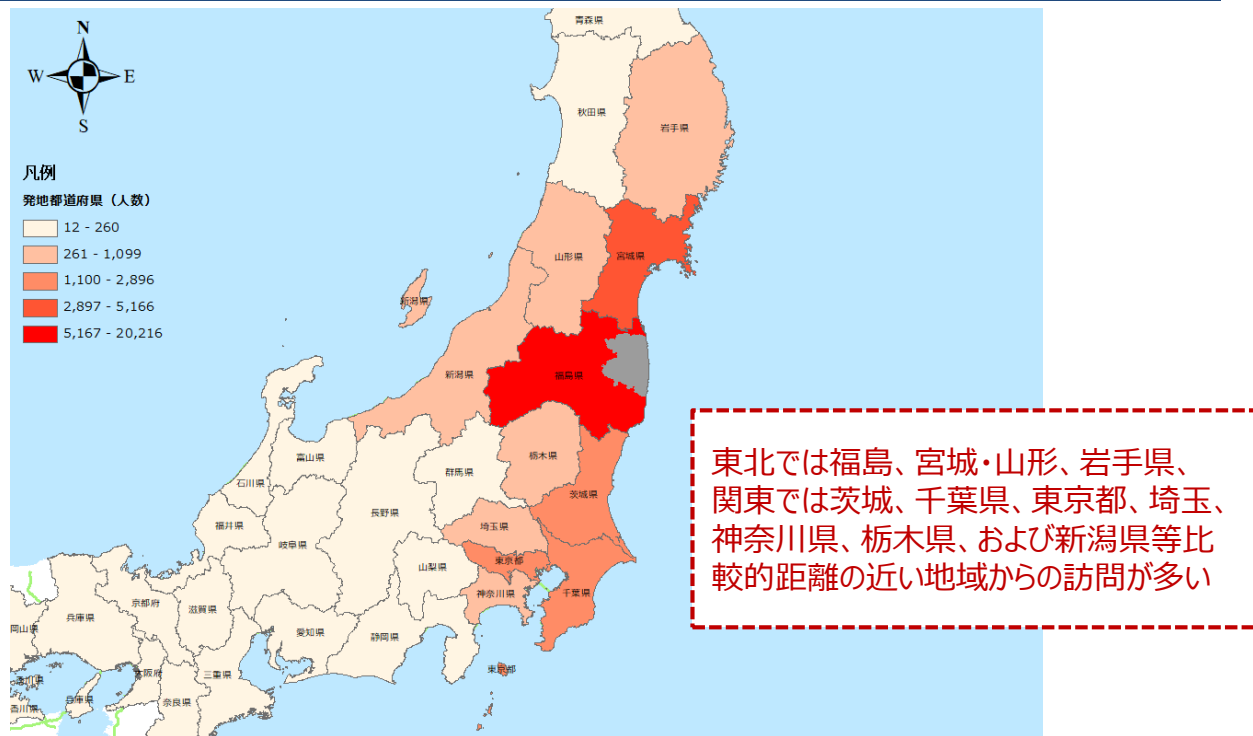
② 居住地域別来訪者数（都道府県）

- 福島県内からの来訪が50%超と多数を占め、次いで宮城県（13.9%）、茨城県（7.9%）といった隣県と、千葉県（4.5%）が続き、東京都は全体の4.2%程度にとどまる
- 上位5都県で訪問者全体の85%、東北・関東地方からの訪問者で全体の95%を超えており、近隣県あるいは同地域への交通アクセスの利便性の高い都県などからの訪問が多い

発地都道府県別 来訪者数・構成比（年間）

順位	都道府県名	年間	
		n	%
1	福島県	20,216	54.2%
2	宮城県	5,166	13.9%
3	茨城県	2,896	7.8%
4	千葉県	1,660	4.5%
5	東京都	1,565	4.2%
6	埼玉県	1,099	2.9%
7	神奈川県	875	2.3%
8	栃木県	649	1.7%
9	山形県	561	1.5%
10	新潟県	499	1.3%
-	その他	2,086	5.6%
-	合計	37,271	100.0%

上位5都県で
全体の85%



出所：「KDDI×コロプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

2.2 調査・分析の結果

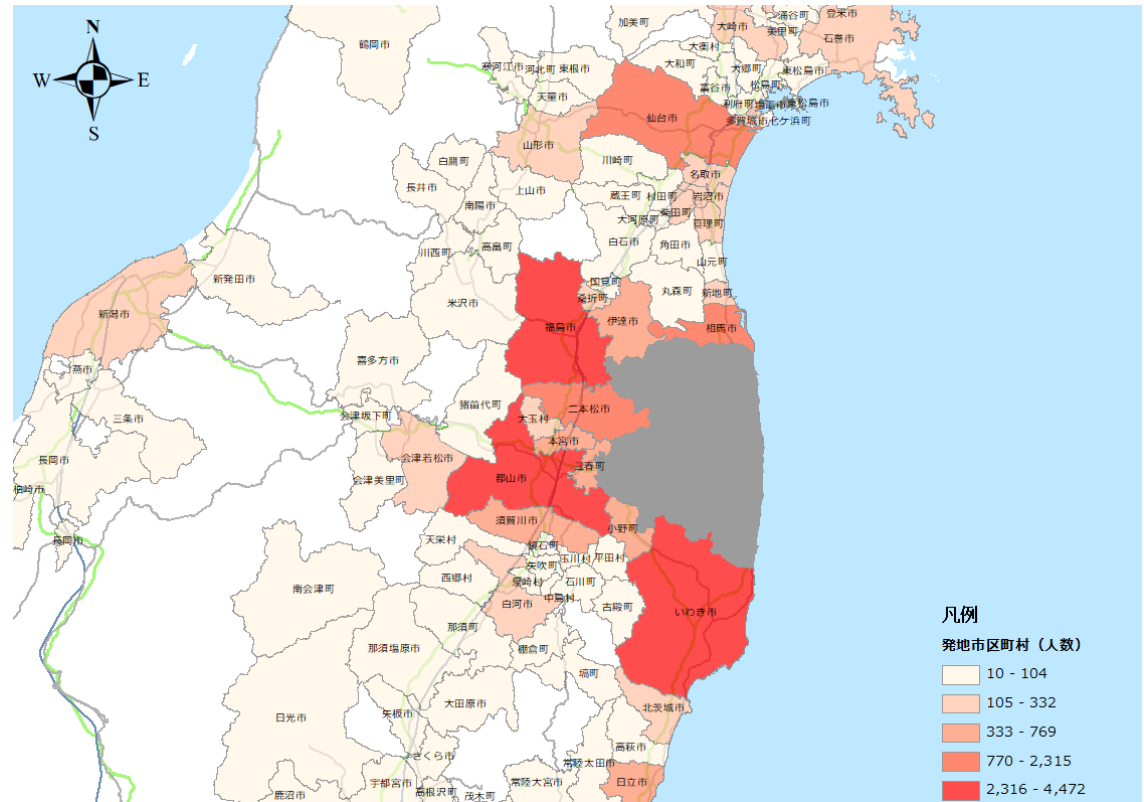
2.2.1 来訪者分析

② 居住地域別訪問者数（区市町村）

- 県内からは、いわき市からの訪問が最も多く（全体の12%）、次いで郡山市（11%）、福島市（10.5%）、相馬市（4.2%）と続く
- 県外からは仙台市からの訪問が最も多く（6.2%）、ついで東京都23区（3%） 日立市（1.4%）、横浜市（1.0%）の順

発地市区町村別 来訪者数・構成比（年間）

順位	市区町村名	都道府県名	年間	
			n	%
1	いわき市	福島県	4,472	12.0%
2	郡山市	福島県	4,093	11.0%
3	福島市	福島県	3,932	10.5%
4	仙台市	宮城県	2,315	6.2%
5	相馬市	福島県	1,548	4.2%
6	二本松市	福島県	1,317	3.5%
7	東京都23区	東京都	1,125	3.0%
8	伊達市	福島県	769	2.1%
9	三春町	福島県	729	2.0%
10	須賀川市	福島県	617	1.7%
11	小野町	福島県	536	1.4%
12	日立市	茨城県	506	1.4%
13	本宮市	福島県	459	1.2%
14	横浜市	神奈川県	373	1.0%
15	水戸市	茨城県	373	1.0%
16	名取市	宮城県	332	0.9%
17	会津若松市	福島県	273	0.7%
18	ひたちなか市	茨城県	252	0.7%
19	多賀城市	宮城県	246	0.7%
20	北茨城市	茨城県	241	0.6%
その他			12,763	34.2%
合計			37,271	100.0%



出所：「KDDI×コロプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

2.2 調査・分析の結果

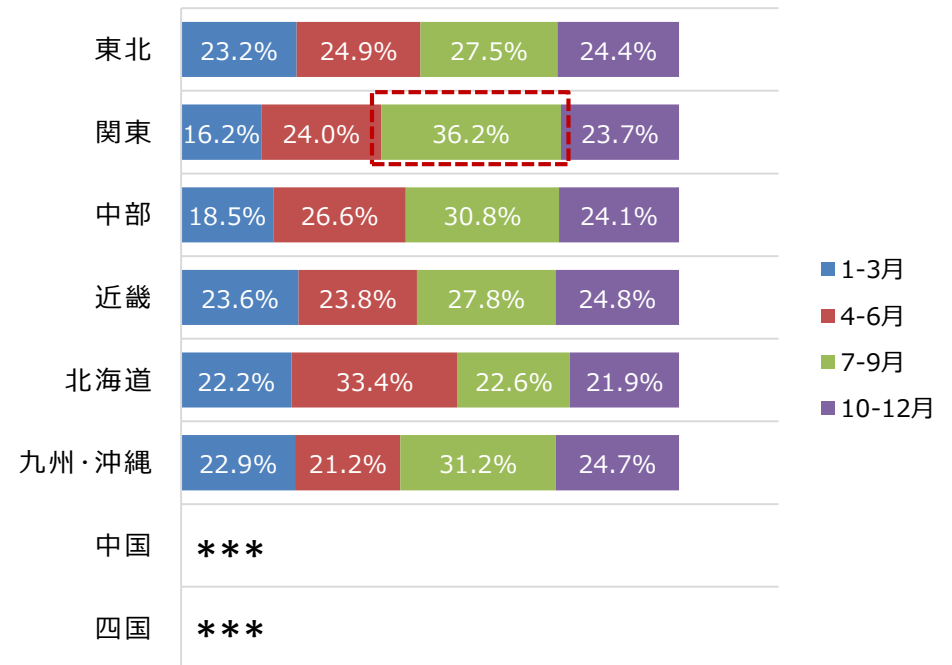
2.2.1 来訪者分析

② 居住地域別訪問者数（地方別×四半期）

- 各地方別の四半期毎訪問者数及びその割合を見ると、関東地方からの訪問は7-9月期には全体の1/3を超える

発地地方別 来訪者数・構成比（地方×四半期）

順位	地域名	年間		四半期別			
				1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
		n	%	n	n	n	n
1	東北	26,847	72.0%	6,230	6,675	7,394	6,548
2	関東	8,914	23.9%	1,442	2,138	3,223	2,110
3	中部	971	2.6%	180	259	299	234
4	近畿	204	0.5%	48	48	57	50
5	北海道	199	0.5%	44	66	45	43
6	九州・沖縄	64	0.2%	15	13	20	16
7	中国	46	0.1%	****	****	****	****
8	四国	29	0.1%	****	****	****	****
-	合計	37,271	100.0%	7,972	9,218	11,061	9,020



2.2 調査・分析の結果

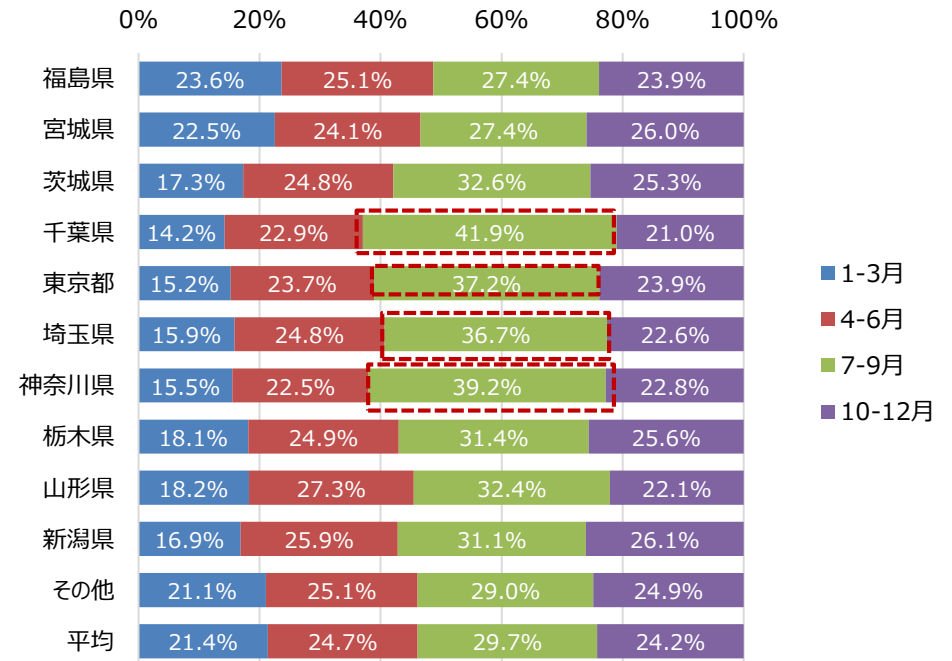
2.2.1 来訪者分析

② 居住地域別訪問者数（都道府県別×四半期）

- 都道府県別に四半期ごとの訪問者数とその割合を見ると、一都三県が7-9月期において訪問数・割合とも増加するのが特徴
- 1-3月期は福島県内、宮城県からの訪問者を除き、総じて低い訪問割合となっている

発地地域別 来訪者数・構成比（都道府県×四半期）

順位	道府県	年間	四半期別			
			1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
1	福島県	20,216	4,779	5,069	5,533	4,835
2	宮城県	5,166	1,164	1,243	1,415	1,343
3	茨城県	2,896	500	719	943	734
4	千葉県	1,660	236	379	696	348
5	東京都	1,565	238	371	583	374
6	埼玉県	1,099	174	273	403	248
7	神奈川県	875	136	197	343	199
8	栃木県	649	118	161	204	166
9	山形県	561	102	153	182	124
10	新潟県	499	84	129	155	130
-	その他	2,086	439	523	605	519
-	合計	37,271	7,972	9,218	11,061	9,020



出所：「KDDI×コプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

2.2 調査・分析の結果

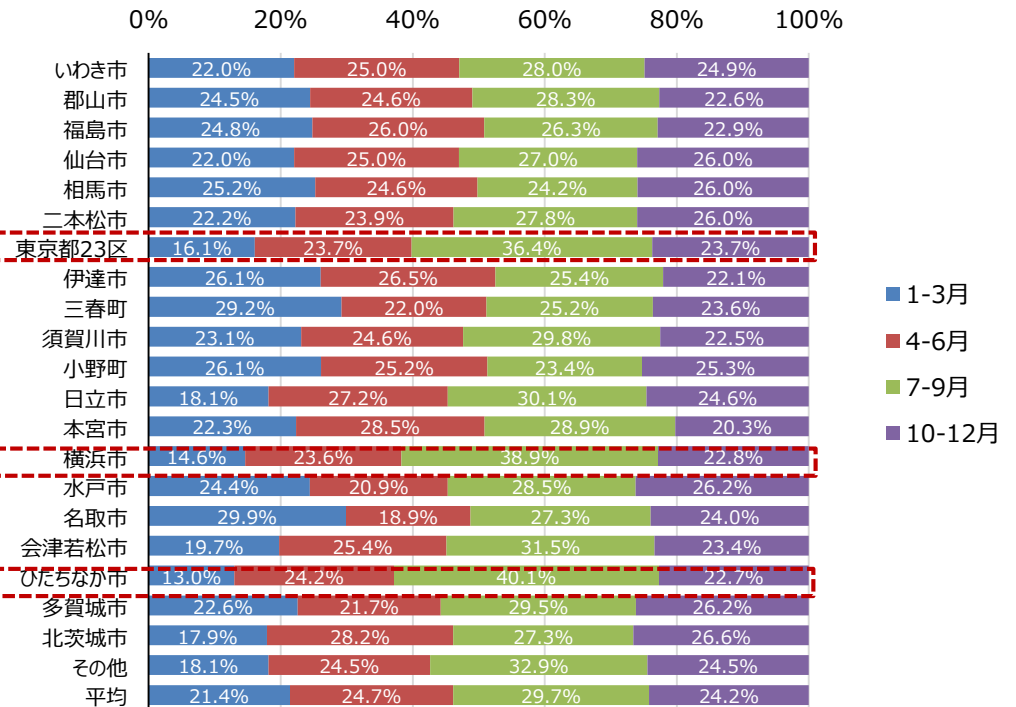
2.2.1 来訪者分析

② 居住地域別訪問者数（区市町村×四半期）

- 各市区町村の四半期別訪問割合を下表に示す
- 7-9月期での訪問が多いのは、ひたちなか市（茨城県）、横浜市（38.9%）あるいは東京都23区（36.4%）であった
- 1-3月期では、上記3区市に加え、日立市、北茨城市等からの訪問が少ない

発地市区町村別 来訪者数・構成比（区市町村×四半期）

順位	市町村名	都道府県名	年間 n	四半期別			
				1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
1	いわき市	福島県	4,472	986	1,119	1,254	1,113
2	郡山市	福島県	4,093	1,001	1,006	1,160	927
3	福島市	福島県	3,932	975	1,024	1,034	899
4	仙台市	宮城県	2,315	510	578	625	601
5	相馬市	福島県	1,548	391	381	375	402
6	二本松市	福島県	1,317	293	315	366	343
7	東京都23区	東京都	1,125	181	267	410	267
8	伊達市	福島県	769	201	203	195	170
9	三春町	福島県	729	213	160	184	172
10	須賀川市	福島県	617	142	151	184	139
11	小野町	福島県	536	140	135	126	135
12	日立市	茨城県	506	92	138	152	125
13	本宮市	福島県	459	102	131	133	93
14	横浜市	神奈川県	373	55	88	145	85
15	水戸市	茨城県	373	91	78	106	98
16	名取市	宮城県	332	99	63	91	80
17	会津若松市	福島県	273	54	69	86	64
18	ひたちなか市	茨城県	252	33	61	101	57
19	多賀城市	宮城県	246	56	53	73	64
20	北茨城市	茨城県	241	43	68	66	64
その他	その他		12,763	2,316	3,129	4,196	3,122
合計	合計		37,271	7,972	9,218	11,061	9,020



出所：「KDDI×コロプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

2.2 調査・分析の結果

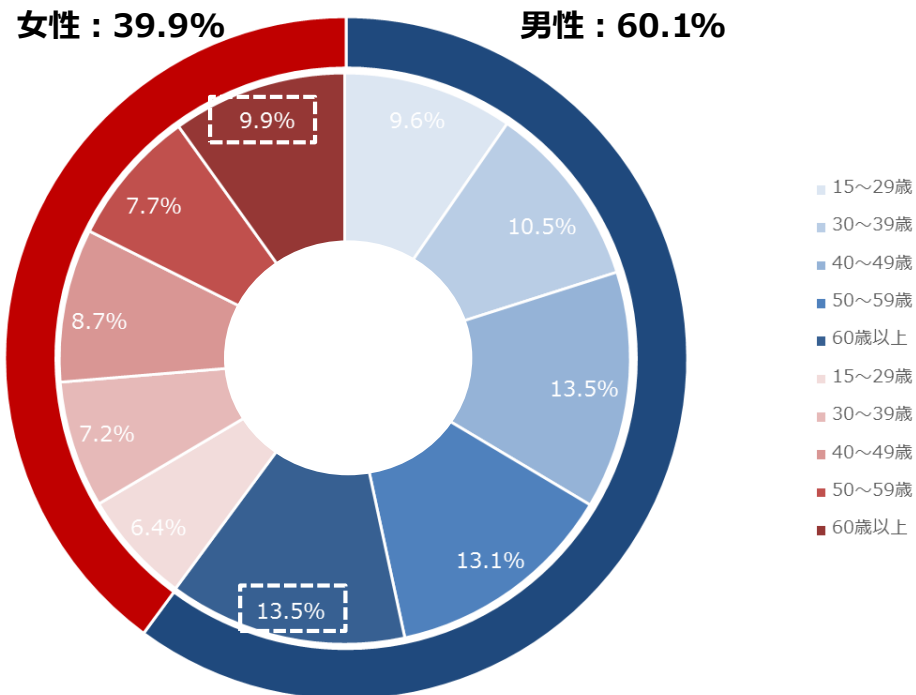
2.2.1 来訪者分析

② 性年代別来訪者数

- 全体、あるいはいずれの年代でも男性割合が女性割合を上回っており、男性40代及び60歳以上が最も訪問者が多い年代層
- 男女とも若年層（30代以下）の訪問よりも40代以上の割合が高い

性年代別 来訪者数構成比

男性	22,403	女性	14,868
15～29歳	3,586	15～29歳	2,389
30～39歳	3,906	30～39歳	2,674
40～49歳	5,013	40～49歳	3,234
50～59歳	4,874	50～59歳	2,886
60歳以上	5,024	60歳以上	3,686



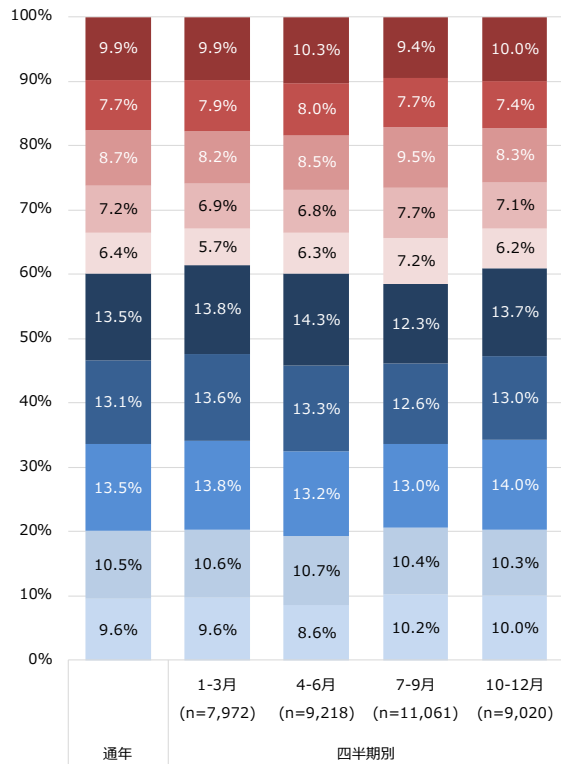
2.2 調査・分析の結果

2.2.1 来訪者分析

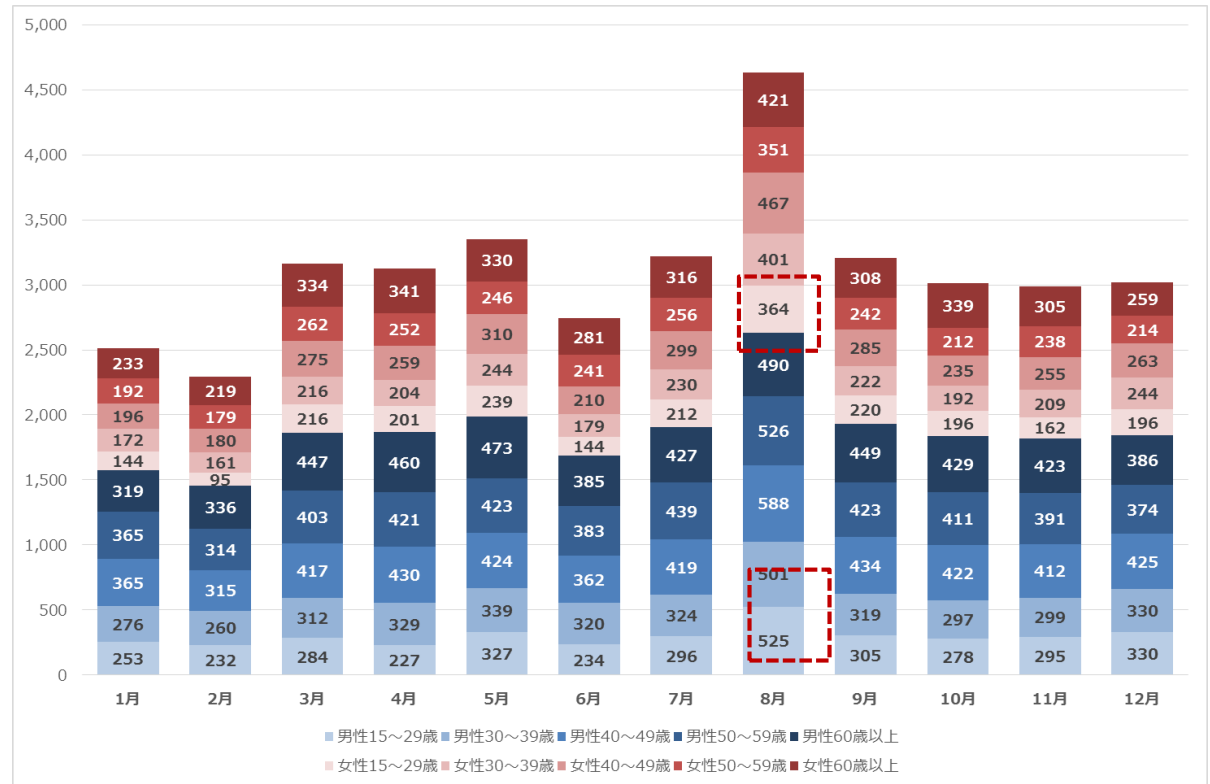
② 性年代別来訪者数（性年代×四半期・月）

- いずれの年代も男性割合が女性割合を上回っており、年代別では男性40代及び60歳以上が多い傾向
- 月別構成比では、男女ともに15-29歳が8月

性年代別 来訪者数・構成比（四半期別）



性年代別 来訪者数・構成比（月別）



出所：「KDDI×コプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

2.2 調査・分析の結果

2.2.1 来訪者分析

② 性年代別来訪者数（性年代×発地）

- 福島県が全ての性年代層で最も多く、宮城県、茨城県からの来訪者がそれに次ぐ

性年代別 来訪者数（性年代×発地都道府県）

順位	都道府県名	合計	男性										
				15～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	15～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
1	福島県	20,216	11,212	1,848	1,934	2,245	2,306	2,880	1,368	1,598	1,964	1,739	2,334
2	宮城県	5,166	3,575	551	638	897	862	628	286	344	311	299	350
3	茨城県	2,896	1,705	270	277	399	349	409	173	179	244	248	347
4	千葉県	1,660	1,021	131	200	267	229	193	120	129	124	132	133
5	東京都	1,565	1,051	232	186	256	233	144	93	94	140	98	89
6	埼玉県	1,099	674	84	124	198	128	140	79	74	112	73	86
7	神奈川県	875	587	89	95	162	130	110	32	57	73	61	65
8	栃木県	649	390	43	78	86	91	93	61	37	58	42	61
9	山形県	561	366	63	65	76	97	66	51	39	33	38	34
10	新潟県	499	323	63	62	77	80	41	46	25	43	34	26
-	その他	2,086	1,499	211	248	351	368	320	79	97	132	120	159
-	合計	37,271	22,403	3,586	3,906	5,013	4,874	5,024	2,389	2,674	3,234	2,886	3,686

出所：「KDDI×コプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

2.2 調査・分析の結果

2.2.1 来訪者分析

② 性年代別来訪者数（性年代×発地）

- 全体の性年代構成比と較べると、以下のような特徴（各性年代全体の平均からの差異が大きいもの）が見られた
 - 男性15-29歳：東京都での他性年代層に較べて高い
 - 男性40-49歳：神奈川県、埼玉県、宮城県、東京都、千葉県での比率が高い
 - 男性50-59歳：山形県、宮城県、新潟県での比率が高い
 - 男性60歳以上：新潟県、東京都での比率が低い
 - 女性15-19歳：山形県、新潟県、栃木県での比率が低い
 - 女性40-49歳：山形県、宮城県での比率がやや低い
 - 女性60歳以上：東京都での比率が低い

性年代別 来訪者構成比（性年代×発地都道府県）

順位	都道府県名	合計	男性					女性					
			15～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	15～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	
1	福島県	20,216	55.5%	9.1%	9.6%	11.1%	11.4%	14.2%	6.8%	7.9%	9.7%	8.6%	11.5%
2	宮城県	5,166	69.2%	10.7%	12.3%	17.4%	16.7%	12.2%	5.5%	6.7%	6.0%	5.8%	6.8%
3	茨城県	2,896	58.9%	9.3%	9.6%	13.8%	12.1%	14.1%	6.0%	6.2%	8.4%	8.6%	12.0%
4	千葉県	1,660	61.5%	7.9%	12.1%	16.1%	13.8%	11.6%	7.2%	7.7%	7.5%	8.0%	8.0%
5	東京都	1,565	67.2%	14.8%	11.9%	16.3%	14.9%	9.2%	6.0%	6.0%	8.9%	6.3%	5.7%
6	埼玉県	1,099	61.3%	7.7%	11.3%	18.0%	11.7%	12.7%	7.2%	6.8%	10.2%	6.7%	7.9%
7	神奈川県	875	67.1%	10.2%	10.9%	18.6%	14.9%	12.5%	3.6%	6.6%	8.3%	7.0%	7.4%
8	栃木県	649	60.1%	6.6%	12.0%	13.2%	14.0%	14.3%	9.5%	5.7%	8.9%	6.4%	9.5%
9	山形県	561	65.3%	11.2%	11.5%	13.5%	17.2%	11.8%	9.1%	6.9%	5.8%	6.8%	6.1%
10	新潟県	499	64.8%	12.6%	12.4%	15.5%	16.1%	8.2%	9.3%	5.0%	8.7%	6.8%	5.3%
-	その他	2,086	71.9%	10.1%	11.9%	16.8%	17.7%	15.3%	3.8%	4.6%	6.3%	5.8%	7.6%
-	(全体平均)	37,271	60.1%	9.6%	10.5%	13.5%	13.1%	13.5%	6.4%	7.2%	8.7%	7.7%	9.9%

出所：「KDDI×コプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

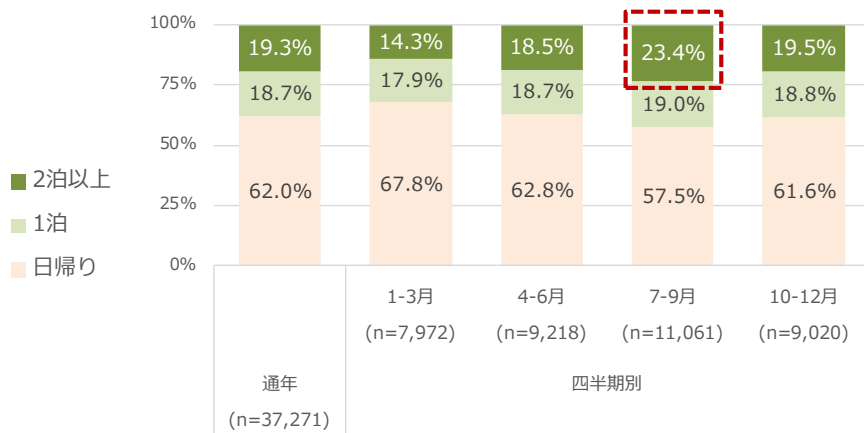
2.2 調査・分析の結果

2.2.2 旅程分析

① 旅程別での来訪者数構成比（総サンプル数における域内宿泊有無の割合）

- 日帰りでの訪問が全体の60%超を占め、1泊旅程での訪問、2泊以上の旅程はそれぞれ19%前後
- 7-9月期では、他の時期に比べて宿泊旅程の割合が4%強増加（平均38.0%→7-9月期42.4%）、特に2泊以上の割合が増加

12市町村への訪問を含むすべての旅程（日数）別 来訪者数・構成比（四半期別）



泊数区分	通年	四半期別			
		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
日帰り	23,113	5,401	5,789	6,364	5,559
1泊	6,954	1,429	1,720	2,105	1,700
2泊以上	7,204	1,141	1,709	2,592	1,762
合計	37,271	7,972	9,218	11,061	9,020

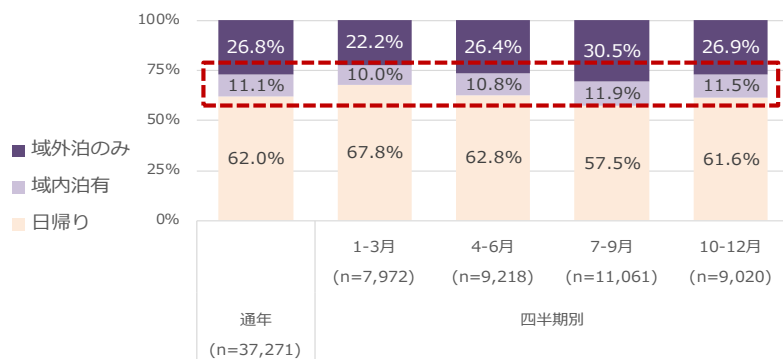
2.2 調査・分析の結果

2.2.2 旅程分析

① 旅程別での来訪者数構成比（総サンプル数における域内宿泊有無の割合）

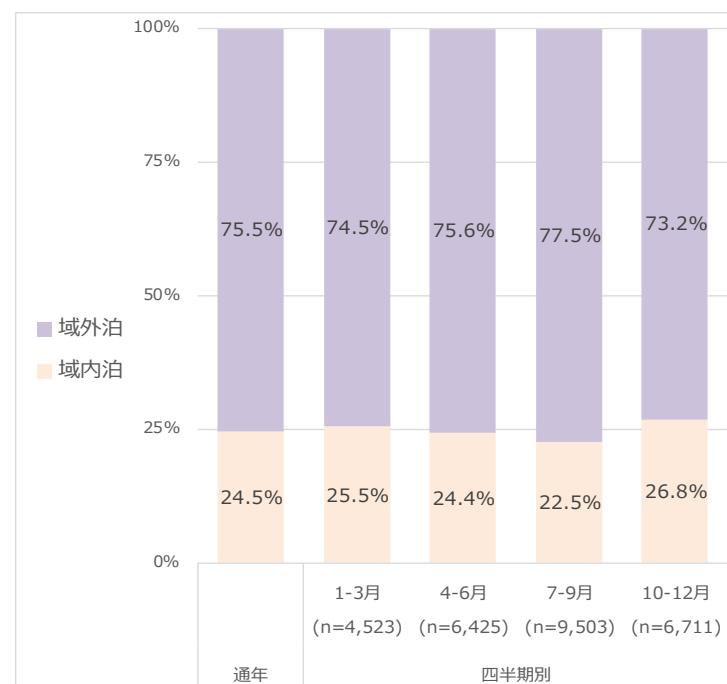
- 日帰りを含む全ての訪問者のうち、12市町村内への宿泊が発生する訪問は全体の11%程度、つまり宿泊を含む旅程の訪問のうち12市町村に宿泊するのは30%弱に過ぎない
- 今回訪問対象者の全宿泊数に対する12市町村内宿泊数割合でも、全宿泊数の1/4程度に過ぎず、訪問者数が多い7-9月期での宿泊数の割合も他の時期に比べて低い結果となった

12市町村での訪問・宿泊者数割合（四半期別）



泊数区分	通年	四半期別			
		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
日帰り	23,113	5,401	5,789	6,364	5,559
域内泊有	4,153	800	994	1,320	1,039
域外泊のみ	10,005	1,771	2,435	3,376	2,423
合計	37,271	7,972	9,218	11,061	9,020

総宿泊数における域内宿泊数の割合



出所：「KDDI×コロプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

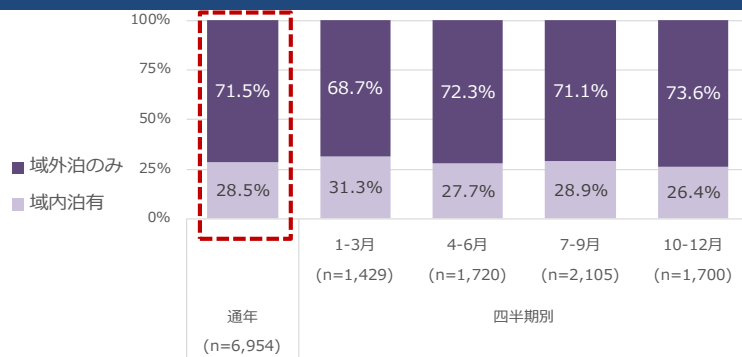
2.2 調査・分析の結果

2.2.2 旅程分析

② 12市町村内での宿泊割合

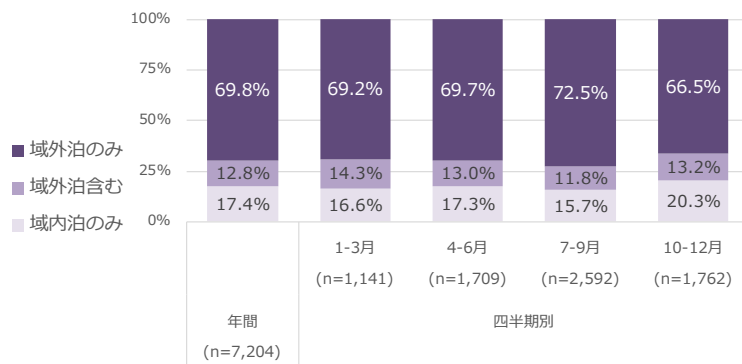
- 宿泊を伴う旅程（1泊・2泊以上）のうち、対象エリア内に宿泊をした訪問者は30%前後であり、通年でその傾向は大きく変わらない
- 2泊以上の旅程での訪問者についても同様の傾向であり、宿泊を伴う旅程の12市町村訪問者の多くが域外で宿泊していることがわかる

旅程（域内宿泊有無）別 来訪者数・構成比（四半期別）：1泊旅行者



泊数区分	通年	四半期別			
		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
域内泊有	1,981	448	477	608	448
域外泊のみ	4,973	982	1,243	1,497	1,251
合計	6,954	1,429	1,720	2,105	1,700

旅程（域内宿泊有無）別 来訪者数・構成比（四半期別）：2泊以上旅行者



泊数区分	年間	四半期別			
		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
域内泊有	2,173	352	518	713	590
域内泊のみ	1,251	189	296	408	358
域外泊含む	922	163	222	305	232
域外泊のみ	5,032	789	1,192	1,879	1,172
合計	7,204	1,141	1,709	2,592	1,762

出所：「KDDI×コロプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

2.2 調査・分析の結果

2.2.2 旅程分析

③ 12市町村訪問者の宿泊地（域内・外を含む都道府県別×全体・四半期）

- 域外での宿泊場所は福島県内が最も多く、次いで宮城県、茨城県、岩手県の順となった
 - 上位4県で全体の50%以上を占め、四半期ごとに見ても大きな変動は見られない

宿泊都道府県別 宿泊人泊数・構成比（四半期別）

順位	宿泊都道府県	年間		季節別							
				1-3月		4-6月		7-9月		10-12月	
		n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
1	福島県	8,222	30.3%	1,414	31.3%	1,937	30.2%	2,840	29.9%	2,031	30.3%
2	宮城県	3,494	12.9%	570	12.6%	770	12.0%	1,288	13.6%	866	12.9%
3	茨城県	1,600	5.9%	313	6.9%	353	5.5%	544	5.7%	390	5.8%
4	岩手県	1,112	4.1%	114	2.5%	274	4.3%	501	5.3%	223	3.3%
5	千葉県	838	3.1%	160	3.5%	180	2.8%	269	2.8%	229	3.4%
6	山形県	660	2.4%	66	1.5%	194	3.0%	258	2.7%	142	2.1%
7	東京都	592	2.2%	128	2.8%	140	2.2%	174	1.8%	149	2.2%
8	青森県	588	2.2%	47	1.0%	161	2.5%	281	3.0%	99	1.5%
9	秋田県	554	2.0%	39	0.9%	121	1.9%	267	2.8%	127	1.9%
10	北海道	442	1.6%	91	2.0%	112	1.7%	163	1.7%	76	1.1%
11	新潟県	392	1.4%	54	1.2%	93	1.5%	155	1.6%	89	1.3%
12	栃木県	386	1.4%	48	1.1%	127	2.0%	126	1.3%	85	1.3%
13	埼玉県	362	1.3%	68	1.5%	87	1.4%	111	1.2%	96	1.4%
14	神奈川県	342	1.3%	66	1.5%	81	1.3%	116	1.2%	79	1.2%
15	静岡県	189	0.7%	38	0.8%	48	0.7%	44	0.5%	59	0.9%
16	愛知県	110	0.4%	32	0.7%	26	0.4%	26	0.3%	25	0.4%
17	群馬県	87	0.3%	17	0.4%	23	0.4%	25	0.3%	22	0.3%
18	長野県	75	0.3%	12	0.3%	18	0.3%	32	0.3%	14	0.2%
19	大阪府	49	0.2%	****	****	****	****	10	0.1%	****	****
20	滋賀県	44	0.2%	****	****	****	****	12	0.1%	****	****
-	その他	7,024	25.9%	1,220	27.0%	1,654	25.7%	2,259	23.8%	1,890	28.2%
-	合計	27,163	100.0%	4,523	100.0%	6,425	100.0%	9,503	100.0%	6,711	100.0%

出所：「KDDI×コプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

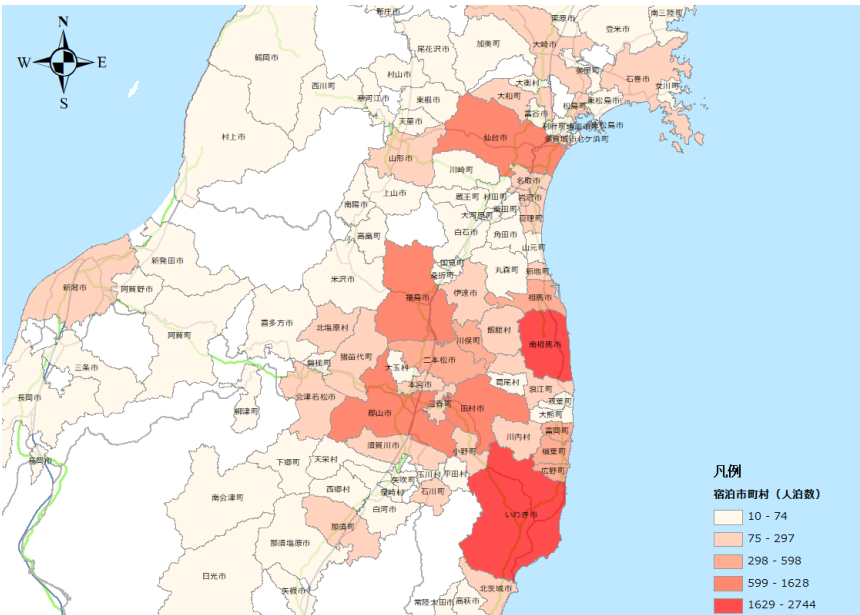
2.2 調査・分析の結果

2.2.2 旅程分析

③ 12市町村訪問者の宿泊地（域内・外を含む市町村別×全体・四半期）

- 市町村別では域内の南相馬市（10.1%）への宿泊率が最も高く、ついでいわき市（9.8%）、仙台市（6.0%）、田村市（5.0%）、福島市（4.5%）の順
- 居住地域別でも上位だったいわき市、仙台市、福島市、郡山市などが宿泊地でも上位となっている

宿泊市町村別 宿泊人泊数・構成比（全体・四半期別）



順位	市区町村名	都道府県名	年間		季節別							
			n	%	1-3月		4-6月		7-9月		10-12月	
					n	%	n	%	n	%	n	%
1	南相馬市	福島県	2,744	10.1%	507	11.2%	606	9.4%	868	9.1%	763	11.4%
2	いわき市	福島県	2,662	9.8%	531	11.7%	632	9.8%	848	8.9%	651	9.7%
3	仙台市	宮城県	1,628	6.0%	286	6.3%	360	5.6%	595	6.3%	387	5.8%
4	田村市	福島県	1,406	5.2%	192	4.2%	377	5.9%	489	5.1%	349	5.2%
5	福島市	福島県	1,217	4.5%	237	5.2%	275	4.3%	416	4.4%	289	4.3%
6	郡山市	福島県	1,183	4.4%	209	4.6%	269	4.2%	399	4.2%	306	4.6%
7	相馬市	福島県	598	2.2%	98	2.2%	132	2.1%	175	1.8%	194	2.9%
8	楢葉町	福島県	594	2.2%	119	2.6%	128	2.0%	195	2.1%	153	2.3%
9	広野町	福島県	487	1.8%	83	1.8%	107	1.7%	155	1.6%	142	2.1%
10	川俣町	福島県	472	1.7%	76	1.7%	139	2.2%	144	1.5%	113	1.7%
11	二本松市	福島県	461	1.7%	59	1.3%	103	1.6%	203	2.1%	96	1.4%
12	富岡町	福島県	446	1.6%	92	2.0%	102	1.6%	126	1.3%	127	1.9%
13	会津若松市	福島県	297	1.1%	25	0.6%	86	1.3%	116	1.2%	70	1.0%
14	三春町	福島県	209	0.8%	20	0.4%	69	1.1%	61	0.6%	58	0.9%
15	伊達市	福島県	204	0.8%	28	0.6%	35	0.5%	83	0.9%	58	0.9%
16	新潟市	新潟県	185	0.7%	28	0.6%	36	0.6%	78	0.8%	42	0.6%
17	水戸市	茨城県	177	0.7%	35	0.8%	50	0.8%	50	0.5%	41	0.6%
18	猪苗代町	福島県	173	0.6%	29	0.6%	28	0.4%	83	0.9%	33	0.5%
19	大崎市	宮城県	173	0.6%	20	0.4%	38	0.6%	67	0.7%	48	0.7%
20	石巻市	宮城県	172	0.6%	19	0.4%	43	0.7%	64	0.7%	45	0.7%
-	その他		11,675	43.0%	1,830	40.5%	2,809	43.7%	4,288	45.1%	2,748	40.9%
-	合計		27,163	100.0%	4,523	100.0%	6,425	100.0%	9,503	100.0%	6,711	100.0%

出所：「KDDI×コロプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

2.2 調査・分析の結果

2.2.2 旅程分析

③ 12市町村内での宿泊割合

- 10-12月は宿泊率が高く平均泊数も長い一方で、域内泊率は低い
- 福島県・宮城県発地者を除いて、宿泊率が50%を超える
- また福島県、東京都、栃木県、群馬県、埼玉県発地者は域内泊率が30%を超える
- 年代別では女性よりも男性の方が宿泊傾向が高い

四半期別 域内泊数分解分析（四半期別）

指標	年間	四半期別			
		4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
来訪者数	37,271	7,972	9,218	11,061	9,020
宿泊率	38.0%	32.2%	37.2%	42.5%	38.4%
平均泊数	1.92	1.76	1.87	2.02	1.94
域内泊率	24.5%	25.5%	24.4%	22.5%	26.8%
域内泊数	6,658	1,153	1,565	2,141	1,799

発地都道府県別 域内泊数分解分析（年間）

指標	福島県	青森県	秋田県	岩手県	山形県	宮城県	東京都	千葉県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	神奈川県
来訪者数	20,216	221	260	422	561	5,166	1,565	1,660	2,896	649	170	1,099	875
宿泊率	14.9%	92.0%	92.5%	88.2%	61.4%	37.9%	83.1%	86.8%	60.4%	60.4%	74.8%	84.0%	87.6%
平均泊数	1.52	2.45	2.26	2.17	1.67	1.65	2.15	2.14	1.72	1.63	1.75	2.07	2.30
域内泊率	33.3%	8.4%	11.5%	10.5%	24.1%	21.6%	31.4%	17.7%	17.1%	45.0%	36.1%	36.1%	26.0%
域内泊数	1,529	42	62	85	139	696	878	545	515	286	80	691	460

性年代別 域内泊数分解分析（年間）

指標	男性					女性				
	15~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上	15~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上
来訪者数	3,586	3,906	5,013	4,874	5,024	2,389	2,674	3,234	2,886	3,686
宿泊率	41.1%	42.3%	43.3%	41.1%	35.1%	39.4%	36.3%	33.4%	32.2%	31.8%
平均泊数	2.10	1.94	1.95	1.87	1.80	1.93	2.00	1.90	1.86	1.84
域内泊率	27.9%	27.0%	23.9%	22.2%	20.5%	30.1%	27.5%	27.3%	22.7%	18.5%
域内泊数	865	865	1,007	833	653	547	535	560	393	399

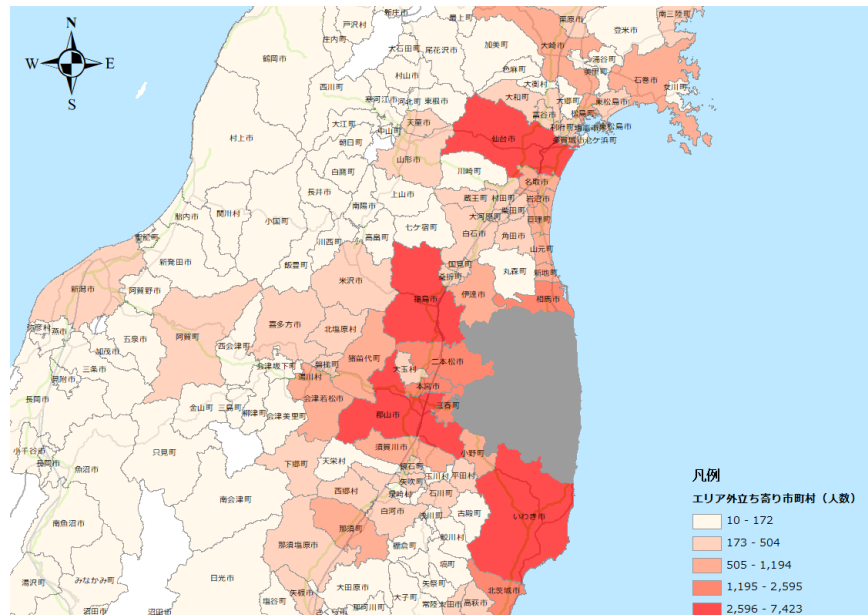
2.2 調査・分析の結果

2.2.3 前後訪問地分析

① 12市町村訪問者の域外立寄り区市町村（域内・外を含む市町村別×全体・四半期）

- 域外の他立寄り先区市町村でも、いわき市（全体の19.9%）、次いで郡山市（11.4%）、仙台市（10.8%）、福島市（10.1%）がそれぞれ通年で上位であり、四半期ごとの立寄り先の変更等といった変化も見られない

エリア外立寄り市町村別 立寄り者数・立寄り率（全体・四半期別）



順位	市区町村名	都道府県名	年間		季節別							
			n	%	1-3月		4-6月		7-9月		10-12月	
来訪者数			37,271	—	7,972	—	9,218	—	11,061	—	9,020	—
1	いわき市	福島県	7,423	19.9%	1,395	17.5%	1,769	19.2%	2,491	22.5%	1,769	19.6%
2	郡山市	福島県	4,232	11.4%	824	10.3%	1,025	11.1%	1,329	12.0%	1,055	11.7%
3	仙台市	宮城県	4,026	10.8%	696	8.7%	946	10.3%	1,362	12.3%	1,022	11.3%
4	福島市	福島県	3,780	10.1%	663	8.3%	950	10.3%	1,279	11.6%	888	9.8%
5	相馬市	福島県	2,595	7.0%	470	5.9%	655	7.1%	770	7.0%	699	7.7%
6	二本松市	福島県	2,086	5.6%	385	4.8%	507	5.5%	712	6.4%	482	5.3%
7	北茨城市	茨城県	2,026	5.4%	328	4.1%	488	5.3%	729	6.6%	482	5.3%
8	本宮市	福島県	1,575	4.2%	238	3.0%	400	4.3%	567	5.1%	370	4.1%
9	日立市	茨城県	1,461	3.9%	267	3.3%	360	3.9%	519	4.7%	315	3.5%
10	三春町	福島県	1,452	3.9%	252	3.2%	492	5.3%	404	3.7%	303	3.4%
11	笠間市	茨城県	1,440	3.9%	192	2.4%	368	4.0%	536	4.8%	344	3.8%
12	小野町	福島県	1,194	3.2%	192	2.4%	318	3.5%	455	4.1%	228	2.5%
13	伊達市	福島県	1,166	3.1%	200	2.5%	343	3.7%	350	3.2%	272	3.0%
14	名取市	宮城県	1,136	3.0%	195	2.5%	273	3.0%	354	3.2%	314	3.5%
15	水戸市	茨城県	968	2.6%	166	2.1%	229	2.5%	341	3.1%	233	2.6%
16	会津若松市	福島県	929	2.5%	92	1.2%	254	2.8%	359	3.2%	224	2.5%
17	巨理町	宮城県	919	2.5%	159	2.0%	201	2.2%	302	2.7%	258	2.9%
18	猪苗代町	福島県	897	2.4%	143	1.8%	193	2.1%	339	3.1%	222	2.5%
19	大崎市	宮城県	880	2.4%	133	1.7%	211	2.3%	328	3.0%	208	2.3%
20	岩沼市	宮城県	749	2.0%	161	2.0%	168	1.8%	210	1.9%	211	2.3%

出所：「KDDI×コロプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

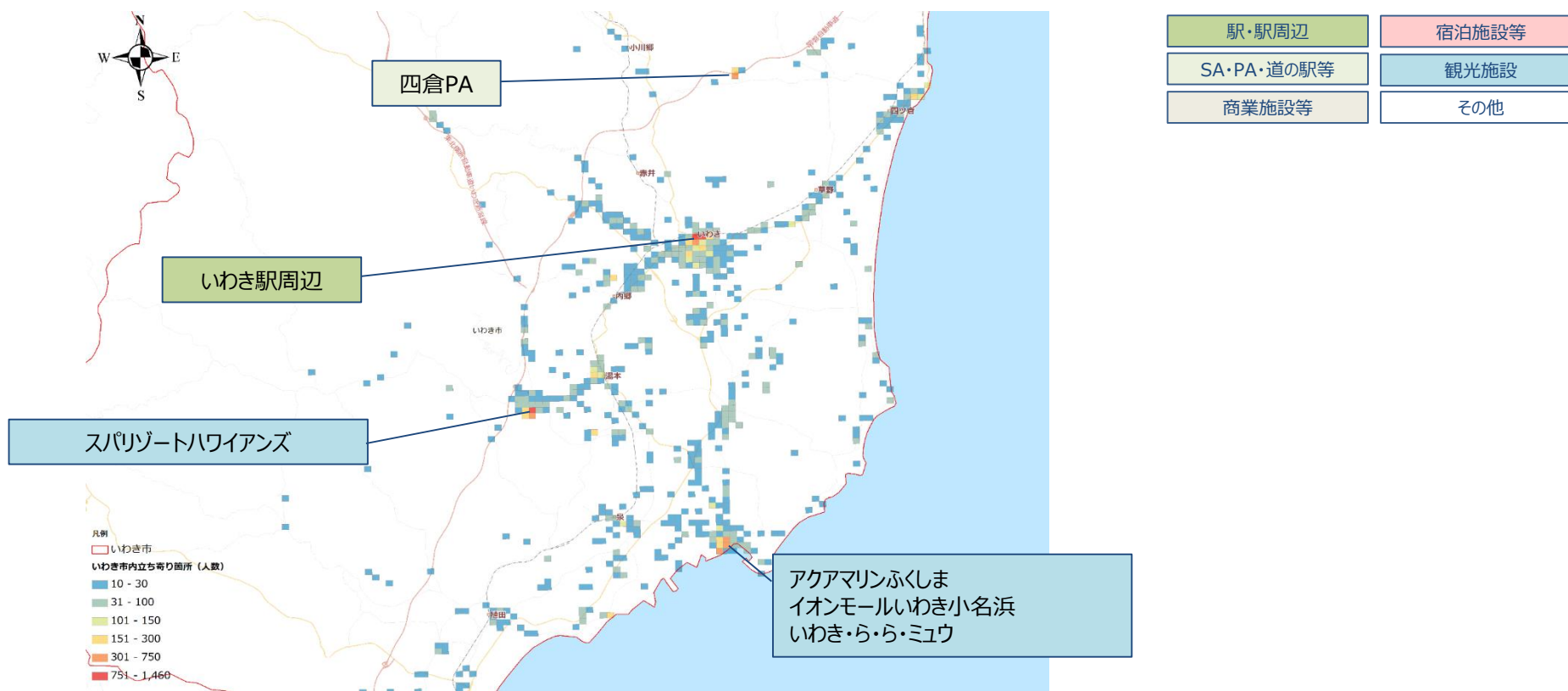
2.2 調査・分析の結果

2.2.3 前後訪問地分析

② 主要4都市における12市町村訪問時滞在スポット分析（いわき市）

- 下図は12市町村訪問旅程内での他市区町村での主要滞在スポットをヒートマップで可視化したもの（250m単位集計、15分以上滞在）
- JRいわき駅周辺、四倉PA等交通上の結節点での立寄り・滞在の他リゾート施設付近での滞在も確認される

いわき市内滞在箇所（250m四方単位）



出所：「KDDI×コロプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

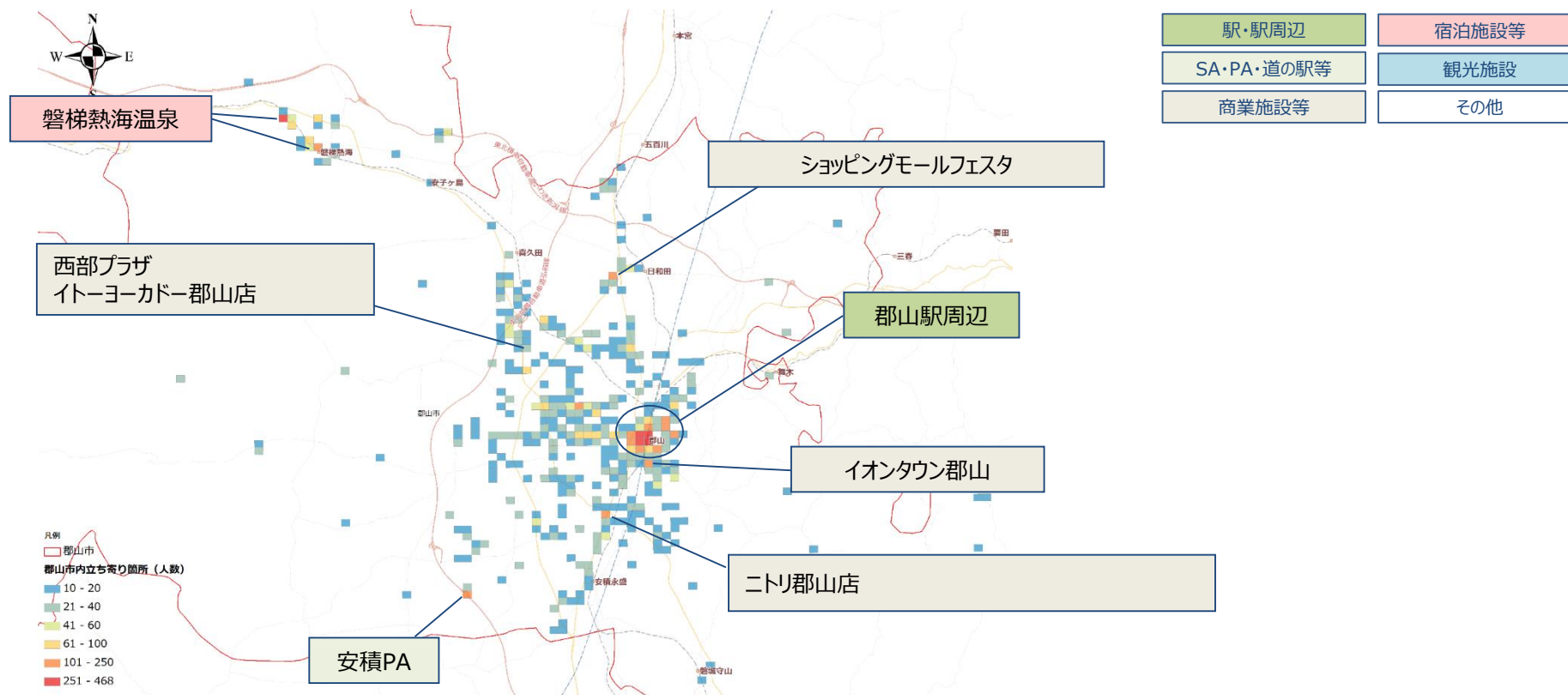
2.2 調査・分析の結果

2.2.3 前後訪問地分析

② 主要4都市における12市町村訪問時滞在スポット分析（郡山市）

- いわき市同様、交通アクセス拠点（駅・PA）、温泉・リゾート地への滞在が確認される
- またショッピングモール等商業施設への立寄り・滞在が多いのも特徴

郡山市内滞在箇所（250m四方単位）



出所：「KDDI×コロプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

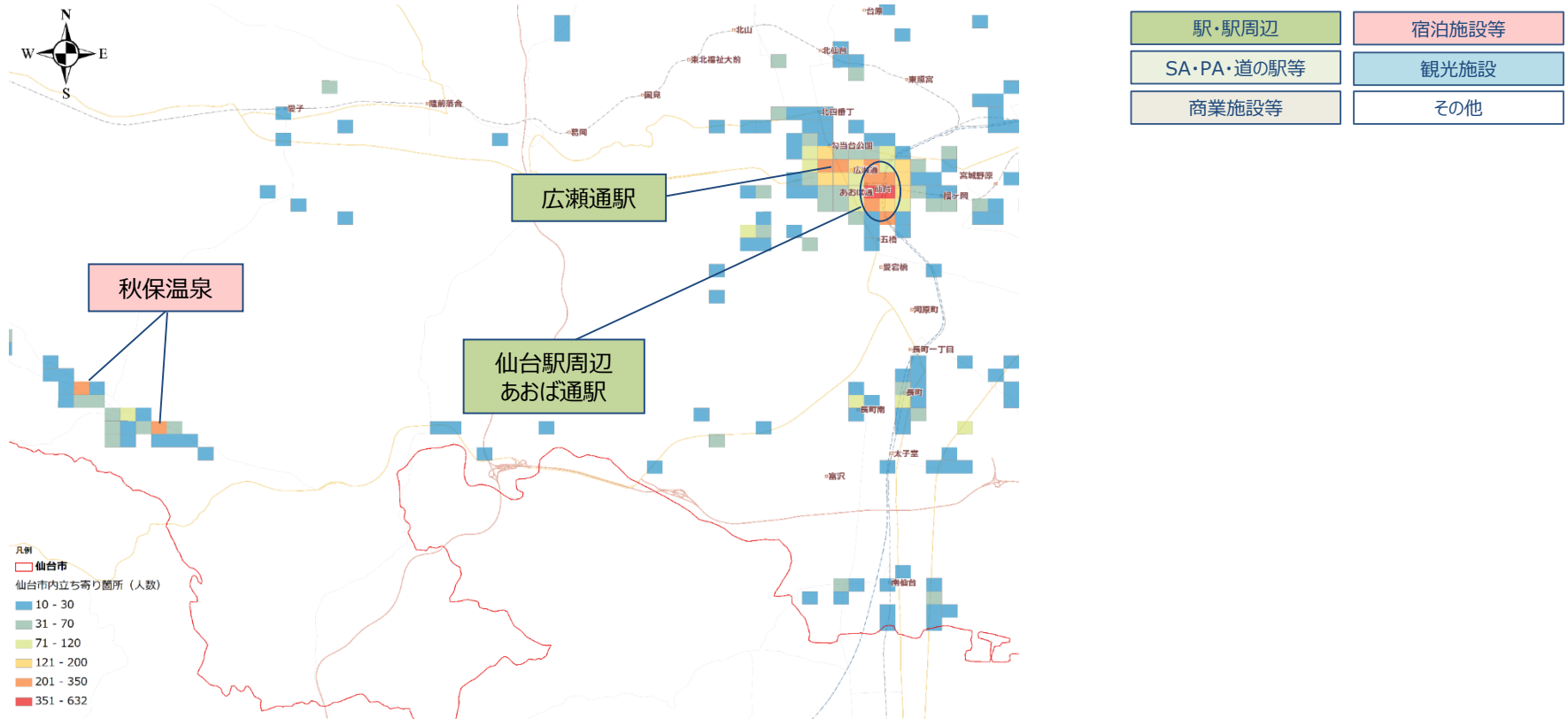
2.2 調査・分析の結果

2.2.3 前後訪問地分析

② 主要4都市における12市町村訪問時滞在スポット分析（仙台市）

- 仙台市でも同様に仙台駅周辺（交通アクセス拠点）、秋保温泉、及び商業地である広瀬通周辺等への立寄りも確認される

仙台市内滞在箇所（250m四方単位）



出所：「KDDI×コロプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

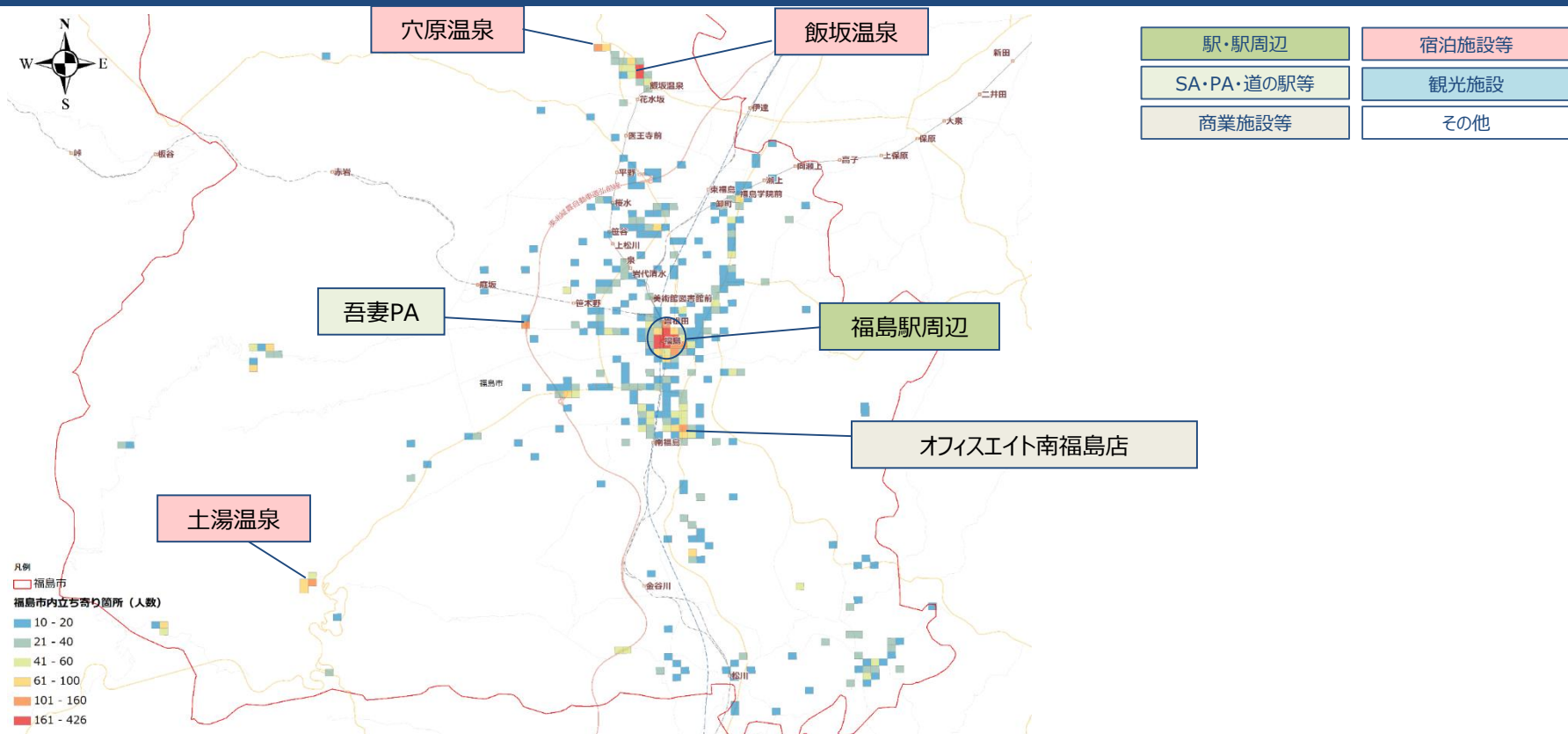
2.2 調査・分析の結果

2.2.3 前後訪問地分析

② 主要4都市における12市町村訪問時滞在スポット分析（福島市）

- 福島市内でも他3都市と類似する拠点での滞在が確認される

福島市内滞在箇所（250m四方単位）



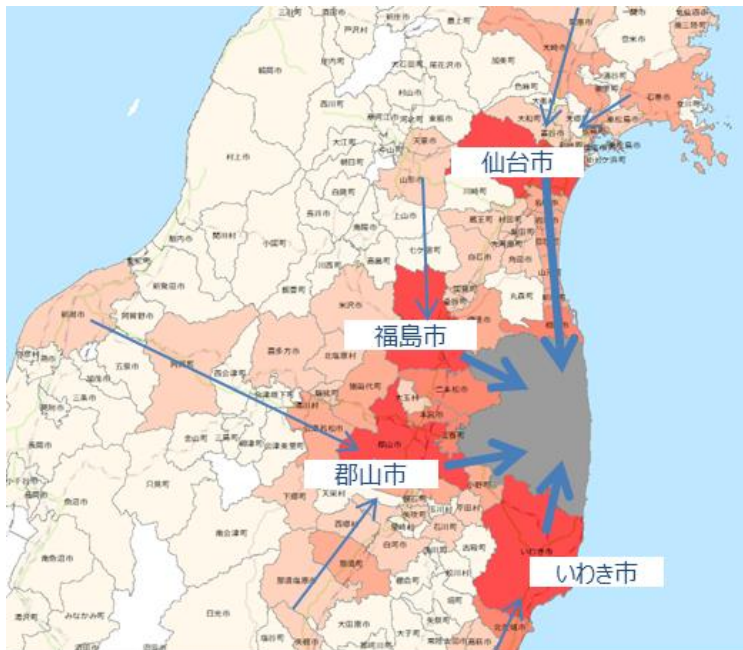
出所：「KDDI×コプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

2.2 調査・分析の結果

2.2.3 前後訪問地分析

② 主要4都市における12市町村訪問の分析

- 旅程分析の結果と合わせて、12市町村訪問時の特徴として以下の状況が示唆される
- 12市町村訪問上のポイントとなる都市は、「いわき市」、「仙台市」、「郡山市」および「福島市」であり、4都市の居住者・非居住者に関わらず、何らかの理由で4都市を経由し12市町村に訪問する
 - 上記4都市の居住者が12市町村へ訪問する：4都市計で訪問者全体の4割程度
 - 同12市町村訪問者の約1/4程度が上記4都市に宿泊する
 - 同12市町村訪問者の半数強が、訪問時旅程上で交通移動上の乗換えか、あるいは宿泊滞在等で上記4都市を経由している



	在住者の訪問	他県からの経由 (交通アクセス)	他県からの経由 (宿泊の滞在)
いわき市	全市町村中1位	全市町村中1位	全市町村中2位 (南相馬に次ぐ)
仙台市	全市町村中4位	全市町村中3位	全市町村中3位
郡山市	全市町村中2位	全市町村中2位	全市町村中6位
福島市	全市町村中3位	全市町村中4位	全市町村中5位

2.2 調査・分析の結果

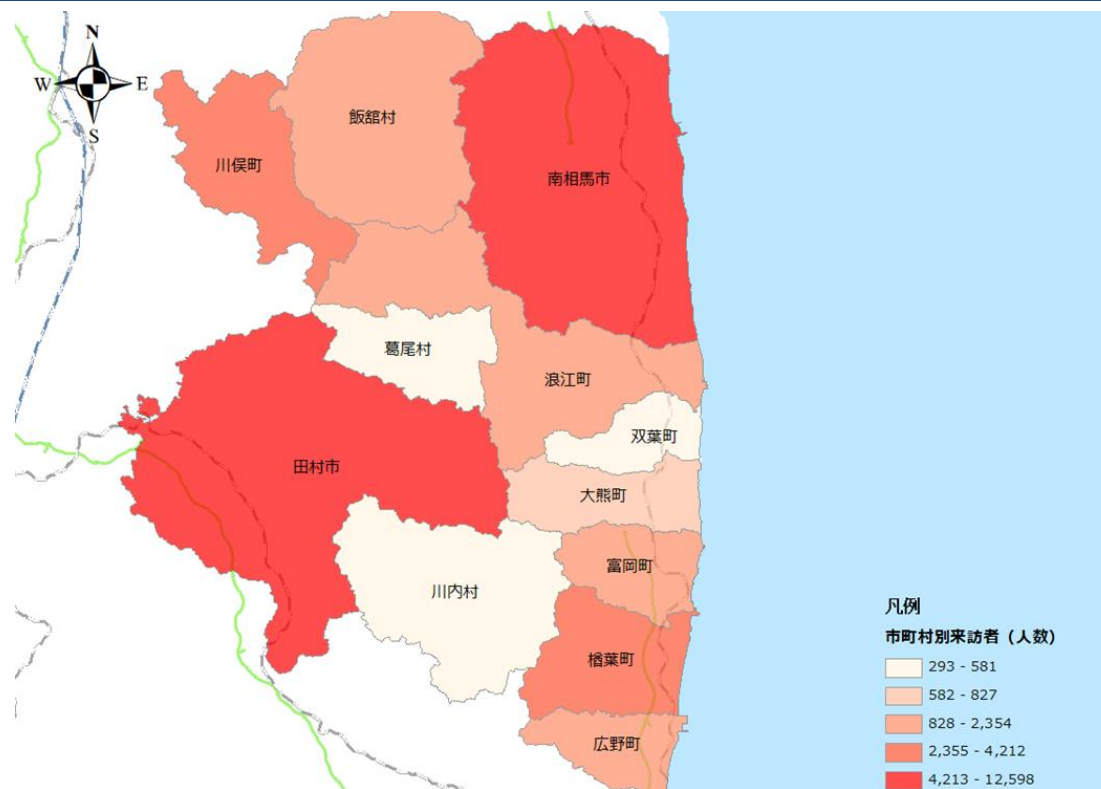
2.2.4 12市町村内における滞在地分析

① 12市町村別来訪者数

- 市町村別の滞在サンプル数を下図表に表したもの（1訪問者が複数市町村に重複して滞在した場合もそれぞれ1カウント）
- 南相馬市（全訪問者数の33.8%）、田村市（同33.3%）への来訪者が多く、ついで川俣町、楡葉町の順である

12市町村への訪問者数集計

	年間	
	n	%
調査対象サンプル	37,271	100.0%
飯館村	1,649	4.4%
大熊町	827	2.2%
葛尾村	293	0.8%
川内村	551	1.5%
川俣町	4,212	11.3%
田村市	12,425	33.3%
富岡町	2,320	6.2%
浪江町	1,726	4.6%
楡葉町	3,184	8.5%
広野町	2,354	6.3%
双葉町	581	1.6%
南相馬市	12,598	33.8%



出所：「KDDI×コロプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

2.2 調査・分析の結果

2.2.4 12市町村内における滞在地分析

② 12市町村別訪問者数（市町村別訪問者数×四半期）

- 四半期ごと訪問者数の変動が多いのは双葉町、田村市、浪江町、大熊町、葛尾村の順となった
- 全体・各市町村とも最も訪問者数の割合が高くなるのは7-9月の夏期であるが、年間通じた訪問者数の推移はそれぞれ異なる

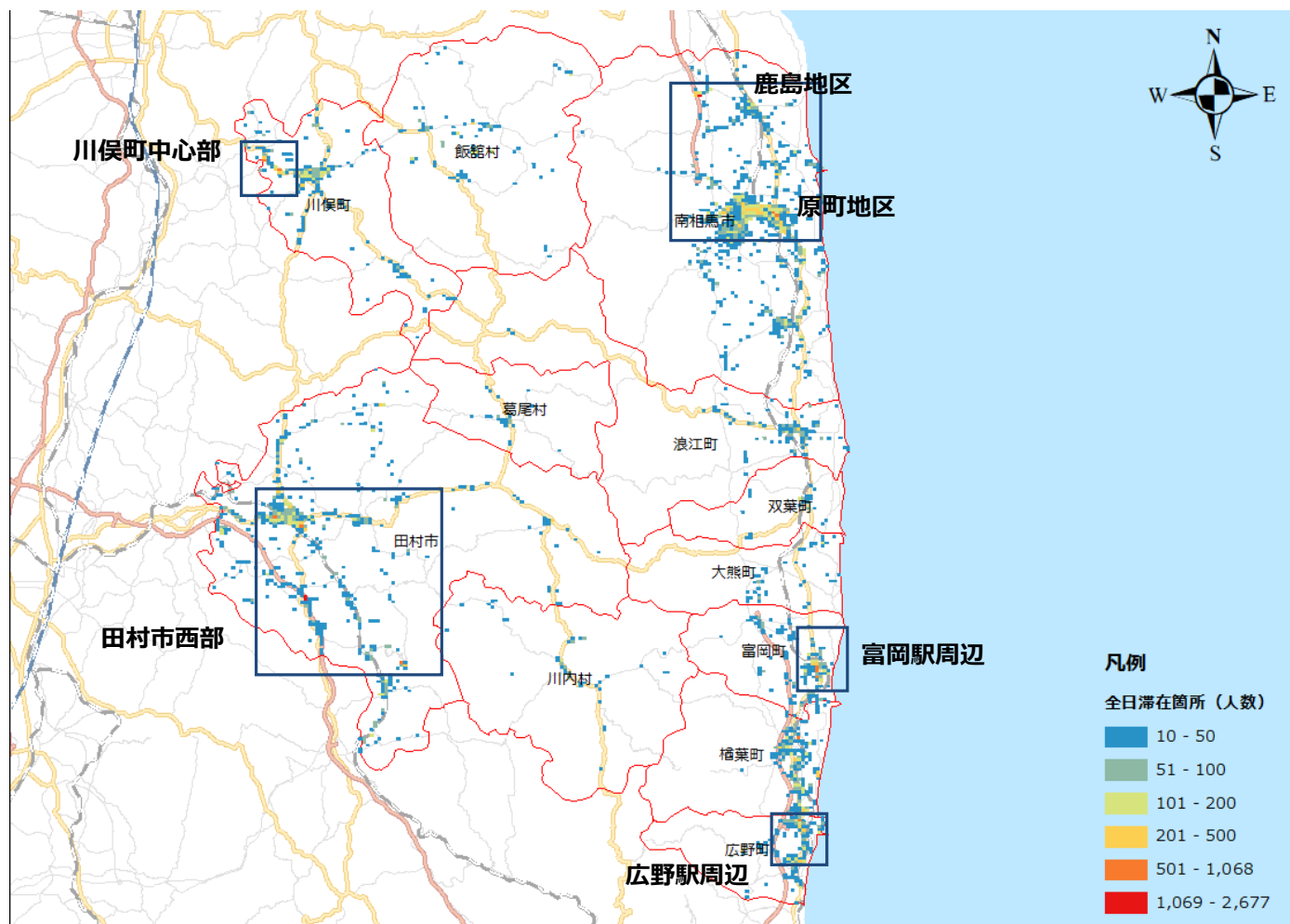
四半期別 12市町村別来訪者数・来訪率							四半期別 12市町村別訪問者割合									
	年間		四半期別													
	n	%	1-3月		4-6月		7-9月		10-12月							
			n	%	n	%	n	%	n	%						
調査対象サンプル	37,271	100.0%	7,972	100.0%	9,218	100.0%	11,061	100.0%	9,020	100.0%	調査対象サンプル	37,271	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
飯舘村	1,649	4.4%	365	4.6%	456	4.9%	476	4.3%	353	3.9%	飯舘村	1,649	22.1%	27.6%	28.9%	21.4%
大熊町	827	2.2%	153	1.9%	197	2.1%	241	2.2%	236	2.6%	大熊町	827	18.5%	23.8%	29.1%	28.6%
葛尾村	293	0.8%	57	0.7%	79	0.9%	87	0.8%	70	0.8%	葛尾村	293	19.4%	27.0%	29.8%	23.8%
川内村	551	1.5%	118	1.5%	142	1.5%	159	1.4%	132	1.5%	川内村	551	21.4%	25.8%	28.9%	24.0%
川俣町	4,212	11.3%	1,014	12.7%	1,104	12.0%	1,124	10.2%	970	10.8%	川俣町	4,212	24.1%	26.2%	26.7%	23.0%
田村市	12,425	33.3%	2,405	30.2%	3,159	34.3%	3,973	35.9%	2,888	32.0%	田村市	12,425	19.4%	25.4%	32.0%	23.2%
富岡町	2,320	6.2%	505	6.3%	539	5.9%	684	6.2%	593	6.6%	富岡町	2,320	21.8%	23.2%	29.5%	25.5%
浪江町	1,726	4.6%	341	4.3%	365	4.0%	530	4.8%	490	5.4%	浪江町	1,726	19.8%	21.2%	30.7%	28.4%
楢葉町	3,184	8.5%	715	9.0%	738	8.0%	960	8.7%	772	8.6%	楢葉町	3,184	22.4%	23.2%	30.2%	24.2%
広野町	2,354	6.3%	511	6.4%	587	6.4%	680	6.1%	576	6.4%	広野町	2,354	21.7%	25.0%	28.9%	24.5%
双葉町	581	1.6%	95	1.2%	151	1.6%	196	1.8%	139	1.5%	双葉町	581	16.4%	25.9%	33.7%	23.9%
南相馬市	12,598	33.8%	2,711	34.0%	3,017	32.7%	3,671	33.2%	3,200	35.5%	南相馬市	12,598	21.5%	23.9%	29.1%	25.4%

2.2 調査・分析の結果

2.2.4 12市町村内における滞在地点分析

③ 250mメッシュ単位での滞在拠点の抽出（全日での滞在サンプル数集計）

- 最も滞在の集積が見られるのは南相馬中部の原町地区、田村市西部地域、富岡駅周辺、広野駅周辺
- 各市町村の中心部その他、主要道（高速道路・国道）沿線での滞在も確認



出所：「KDDI×コロプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

2.2 調査・分析の結果

2.2.4 12市町村内における滞在地分析

③ 250mメッシュ単位での滞在拠点の抽出（市町村別全日と夜間の滞在サンプル数の比較）

- 各市町村別の全日滞在サンプル数と夜間滞在サンプル数、および夜間滞在サンプル数の占める割合を算出
 - 夜間滞在の割合が比較的高いのは広野町（23.4%）、富岡町（22.3%）、檜葉町（21.9%）および南相馬市（20.4%）
 - とくに南相馬市は夜間滞在外者総数でも12市町村で最も多く、全体の4割超が同市に滞在する
 - 逆に田村市や川俣町は昼間滞在総数がそれぞれ12市町村中2位と3位であるが、夜間滞在割合は平均よりも低い
 - 町域の大部分が帰宅困難区域あるいは避難指示解除準備区域に指定されている大熊町および双葉町はそれぞれ3-4%程度（原発関連従事者等の通信記録が残っていたためと思われる）

市町村別滞在サンプル数（全日・夜間）

市町村	滞在総数（全日）	滞在総数（夜間）	夜間滞在割合
飯舘村	2963	322	10.9%
大熊町	1034	29	2.8%
葛尾村	587	78	13.3%
川内村	1137	205	18.1%
川俣町	8996	1162	12.9%
田村市	25633	3590	14.0%
富岡町	6562	1466	22.3%
檜葉町	8068	1769	21.9%
浪江町	3331	422	12.7%
広野町	5965	1397	23.4%
双葉町	610	24	3.9%
南相馬市	36684	7483	20.4%
全体	101572	17948	17.7%



出所：「KDDI×コロプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

2.2 調査・分析の結果

2.2.4 12市町村内における滞在地分析

④ 12市町村を5エリアにわけ、それぞれの特徴を分析



2.2 調査・分析の結果

2.2.4 12市町村内における滞在地分析

④ 12市町村を5エリアにわけ、それぞれの特徴を分析（発地地域、都道府県別）

- 東北地域からの来訪が特に多いのは、「南相馬市・飯館村」と「田村市・川俣町」の2エリアであり、相対的に「双葉町・大熊町」エリアは少ない
 - 「南相馬市・飯館村」へは県内と宮城県からが多いが、「田村市・川俣町」へはほぼ2/3が福島県内からの訪問
- 逆に関東地域の割合が高いのは、「双葉町・大熊町」と「浪江町・葛尾村」エリアであり、「南相馬市・飯館村」と「田村市・川俣町」はやや割合が低い
 - 「双葉町・大熊町」、「浪江町・葛尾村」へは、茨城県、東京都、千葉県、埼玉県の順であり、「田村市・川俣町」エリアへの東京都からの訪問割合は他エリアに比べると低い
 - 「双葉町・大熊町」、「浪江町・葛尾村」および「富岡町・檜葉町・広野町・川内村」エリアは他2エリアに比べると発地域が分散傾向にあると言える

エリア別滞在サンプル数（発地地域）

順位	地域名	南相馬市・飯館村		双葉町・大熊町		浪江町・葛尾村		富岡町・檜葉町・ 広野町・川内村		田村市・川俣町	
		n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
1	東北	10,114	72.6%	735	54.8%	2,578	62.9%	3,641	64.6%	12,296	74.4%
2	関東	3,282	23.6%	481	35.9%	1,316	32.1%	1,704	30.2%	3,567	21.6%
3	中部	290	2.1%	52	3.9%	119	2.9%	165	2.9%	529	3.2%
4	近畿	90	0.6%	17	1.2%	37	0.9%	45	0.8%	62	0.4%
5	北海道	86	0.6%	50	3.7%	22	0.5%	49	0.9%	36	0.2%
6	九州・沖縄	32	0.2%	****	****	15	0.4%	18	0.3%	10	0.1%
7	中国	17	0.1%	****	****	****	****	****	****	20	0.1%
8	四国	14	0.1%			****	****	****	****	13	0.1%
-	合計	13,925	100.0%	1,340	100.0%	4,099	100.0%	5,635	100.0%	16,533	100.0%

エリア別滞在サンプル数（発地都道府県）

順位	都道府県名	南相馬市・飯館村		双葉町・大熊町		浪江町・葛尾村		富岡町・檜葉町・広 野町・川内村		田村市・川俣町	
		n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
	福島県	5,750	41.3%	442	33.0%	1,820	44.4%	2,785	49.4%	11,084	67.0%
	宮城県	3,629	26.1%	231	17.2%	617	15.1%	652	11.6%	702	4.2%
	茨城県	952	6.8%	149	11.1%	376	9.2%	573	10.2%	1,208	7.3%
	千葉県	670	4.8%	72	5.4%	207	5.1%	304	5.4%	660	4.0%
	東京都	632	4.5%	100	7.4%	297	7.2%	319	5.7%	571	3.5%
	埼玉県	394	2.8%	62	4.6%	162	3.9%	204	3.6%	470	2.8%
	神奈川県	342	2.5%	70	5.2%	150	3.6%	179	3.2%	291	1.8%
	岩手県	258	1.8%	26	1.9%	52	1.3%	83	1.5%	***	***
	栃木県	230	1.7%	25	1.9%	99	2.4%	94	1.7%	288	1.7%
	山形県	203	1.5%	****	***	***	***	***	***	315	1.9%
	北海道	***	***	50	3.7%	***	***	***	***	***	***
	新潟県	***	***	***	***	41	1.0%	63	1.1%	346	2.1%
-	その他	866	6.2%	114	8.5%	278	6.8%	378	6.7%	598	3.6%
-	合計	13,925	100.0%	1,340	100.0%	4,099	100.0%	5,635	100.0%	16,533	100.0%

出所：「KDDI×コロプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

2.2 調査・分析の結果

2.2.4 12市町村内における滞在地分析

④ 12市町村を5エリアに分け、それぞれの特徴を分析（発地市町村）

- 「富岡町・檜葉町・広野町・川内村」エリアには、いわき市、郡山市、仙台市、福島市4市からの流入が約半数、特にいわき市は1/3を占める
- 「南相馬市・飯舘村」、「双葉町・大熊町」エリアは1/3程度と、ややいわき市、郡山市、仙台市、福島市4市以外からの訪問割合は低い
- 「田村市・川俣町」エリアでは、上位8位（全体の6割超）までが周辺市町村からの訪問であり、地域との結びつきが強いといえる
 - 「南相馬市・飯舘村」エリアは宮城県各市町村との結びつきが強いといえる

エリア別滞在サンプル数（発地都道府県）

南相馬市・飯舘村					双葉町・大熊町					浪江町・葛尾村					富岡町・檜葉町・広野町・川内村					田村市・川俣町				
順位	市区町村名	都道府県	n	%	順位	市区町村名	都道府県	n	%	順位	市区町村名	都道府県	n	%	順位	市区町村名	都道府県	n	%	順位	市区町村名	都道府県	n	%
1	仙台市	宮城県	1,652	11.9%	1	いわき市	福島県	237	17.7%	1	いわき市	福島県	749	18.3%	1	いわき市	福島県	1,947	34.5%	1	郡山市	福島県	3,061	18.5%
2	福島市	福島県	1,484	10.7%	2	仙台市	宮城県	106	7.9%	2	郡山市	福島県	399	9.7%	2	郡山市	福島県	327	5.8%	2	福島市	福島県	2,406	14.6%
3	相馬市	福島県	1,462	10.5%	3	郡山市	福島県	56	4.2%	3	仙台市	宮城県	277	6.7%	3	仙台市	宮城県	276	4.9%	3	二本松市	福島県	1,108	6.7%
4	いわき市	福島県	947	6.8%	4	福島市	福島県	47	3.5%	4	福島市	福島県	253	6.2%	4	福島市	福島県	114	2.0%	4	いわき市	福島県	1,084	6.6%
5	郡山市	福島県	613	4.4%	5	横浜市	神奈川県	37	2.7%	5	須賀川市	福島県	79	1.9%	5	日立市	茨城県	96	1.7%	5	三春町	福島県	686	4.2%
6	伊達市	福島県	260	1.9%	6	日立市	茨城県	26	1.9%	6	日立市	茨城県	62	1.5%	6	北茨城市	茨城県	90	1.6%	6	小野町	福島県	506	3.1%
7	名取市	宮城県	251	1.8%	7	札幌市	北海道	22	1.6%	7	横浜市	神奈川県	61	1.5%	7	水戸市	茨城県	85	1.5%	7	伊達市	福島県	478	2.9%
8	新地町	福島県	218	1.6%	8	水戸市	茨城県	21	1.6%	8	水戸市	茨城県	60	1.5%	8	横浜市	神奈川県	67	1.2%	8	須賀川市	福島県	398	2.4%
9	二本松市	福島県	180	1.3%	9	ひたちなか市	茨城県	20	1.5%	9	北茨城市	茨城県	50	1.2%	9	須賀川市	福島県	54	1.0%	9	本宮市	福島県	372	2.2%
10	岩沼市	宮城県	175	1.3%	10	須賀川市	福島県	19	1.4%	10	二本松市	福島県	48	1.2%	10	ひたちなか市	茨城県	47	0.8%	10	仙台市	宮城県	312	1.9%
11	日立市	茨城県	175	1.3%	11	千葉市	千葉県	17	1.3%	11	ひたちなか市	茨城県	47	1.1%	11	松戸市	千葉県	46	0.8%	11	日立市	茨城県	202	1.2%
12	多賀城市	宮城県	169	1.2%	12	北茨城市	茨城県	16	1.2%	12	千葉市	千葉県	42	1.0%	12	千葉市	千葉県	44	0.8%	12	会津若松市	福島県	171	1.0%
13	須賀川市	福島県	152	1.1%	13	多賀城市	宮城県	15	1.1%	13	伊達市	福島県	42	1.0%	13	新潟市	宮城県	41	0.7%	13	新潟市	新潟県	171	1.0%
14	横浜市	神奈川県	139	1.0%	14	足立区	東京都	14	1.0%	14	本宮市	福島県	40	1.0%	14	名取市	宮城県	38	0.7%	14	横浜市	神奈川県	137	0.8%
15	亶理町	宮城県	134	1.0%	15	石巻市	宮城県	13	1.0%	15	名取市	宮城県	36	0.9%	15	二本松市	福島県	35	0.6%	15	水戸市	茨城県	134	0.8%
16	水戸市	茨城県	131	0.9%	16	名取市	宮城県	13	1.0%	16	多賀城市	宮城県	32	0.8%	16	相馬市	福島県	33	0.6%	16	大玉村	福島県	116	0.7%
17	塩竈市	宮城県	120	0.9%	17	柏崎市	新潟県	13	1.0%	17	大崎市	宮城県	31	0.8%	17	世田谷区	東京都	30	0.5%	17	山形市	山形県	101	0.6%
18	石巻市	宮城県	115	0.8%	18	江戸川区	東京都	12	0.9%	18	相馬市	福島県	30	0.7%	18	川崎市	神奈川県	30	0.5%	18	ひたちなか市	茨城県	94	0.6%
19	大崎市	宮城県	105	0.8%	19	会津若松市	福島県	11	0.8%	19	足立区	東京都	30	0.7%	19	会津若松市	福島県	29	0.5%	19	白河市	福島県	86	0.5%
20	柴田町	宮城県	104	0.8%	20	美浦村	茨城県	11	0.8%	20	三春町	福島県	30	0.7%	20	東海村	茨城県	28	0.5%	20	足立区	東京都	85	0.5%
その他			5,338	38.3%	その他			613	45.8%	その他			1,700	41.5%	その他			2,178	38.6%	その他			4,824	29.2%
合計			13,925	100.0%	合計			1,340	100.0%	合計			4,099	100.0%	合計			5,635	100.0%	合計			16,533	100.0%
4市が占める割合			4,696	33.7%	4市が占める割合			447	33.3%	4市が占める割合			1,677	40.9%	4市が占める割合			2,663	47.3%	4市が占める割合			6,864	41.5%
上位3市町村が占める割合			4,598	33.0%	上位3市町村が占める割合			400	29.8%	上位3市町村が占める割合			1,424	34.7%	上位3市町村が占める割合			2,550	45.2%	上位3市町村が占める割合			6,576	39.8%

出所：「KDDI×コロプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

2.2 調査・分析の結果

2.2.4 12市町村内における滞在地分析

④ 12市町村を5エリアにわけ、それぞれの特徴を分析（性年代別での比較）

- 性年代別にみると、「双葉町・大熊町」エリアへの15～29歳女性、および30～39歳女性層の割合が他エリアに比べて低いのが特徴
- 「双葉町・大熊町」では、40～49歳男性、50～59歳男性層の割合が多いのも特徴的である

		南相馬市・飯館村	双葉町・大熊町	浪江町・葛尾村	富岡町・楡葉町・広野町・川内村	田村市・川俣町	
来訪者数	合計	13,925	1,340	4,099	5,635	16,533	
	男性	8,603	984	2,758	3,798	9,146	
	女性	5,322	357	1,341	1,837	7,387	
	男	15～29歳	1,351	126	409	583	1,537
		30～39歳	1,471	153	420	627	1,677
		40～49歳	1,951	244	616	933	1,961
		50～59歳	1,921	240	654	857	1,864
		60歳以上	1,910	222	660	798	2,108
	女	15～29歳	881	40	174	268	1,213
		30～39歳	958	53	203	283	1,399
40～49歳		1,110	69	215	412	1,696	
50～59歳		1,068	81	314	360	1,364	
60歳以上		1,306	114	435	513	1,715	

【構成比】

		南相馬市・飯館村	双葉町・大熊町	浪江町・葛尾村	富岡町・楡葉町・広野町・川内村	田村市・川俣町	
構成比	合計	13,925	1,340	4,099	5,635	16,533	
	男性	61.8%	73.4%	67.3%	67.4%	55.3%	
	女性	38.2%	26.6%	32.7%	32.6%	44.7%	
	男	15～29歳	9.7%	9.4%	10.0%	10.3%	9.3%
		30～39歳	10.6%	11.4%	10.2%	11.1%	10.1%
		40～49歳	14.0%	18.2%	15.0%	16.6%	11.9%
		50～59歳	13.8%	17.9%	16.0%	15.2%	11.3%
		60歳以上	13.7%	16.5%	16.1%	14.2%	12.7%
	女	15～29歳	6.3%	3.0%	4.2%	4.8%	7.3%
		30～39歳	6.9%	3.9%	5.0%	5.0%	8.5%
40～49歳		8.0%	5.2%	5.2%	7.3%	10.3%	
50～59歳		7.7%	6.1%	7.7%	6.4%	8.2%	
60歳以上		9.4%	8.5%	10.6%	9.1%	10.4%	

出所：「KDDI×コロプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

2.2 調査・分析の結果

2.2.4 12市町村内における滞在地分析

④ 12市町村を5エリアにわけ、それぞれの特徴を分析（四半期ごとの比較）

- 四半期ごとの比較では、5エリアで大きな傾向の差異は見られなかった（「双葉町・大熊町」エリアにおいて1-3月期の訪問割合が他エリアに比べて4ポイントほど低い程度）

	年間	四半期別							
		1-3月		4-6月		7-9月		10-12月	
	n	n	%	n	%	n	%	n	%
調査対象サンプル	37,271	7,972	100.0%	9,218	100.0%	11,061	100.0%	9,020	100.0%
南相馬市・飯館村	13,925	3,010	21.6%	3,382	24.3%	4,047	29.1%	3,487	25.0%
双葉町・大熊町	1,340	239	17.8%	332	24.7%	414	30.9%	356	26.5%
浪江町・葛尾村	4,099	861	21.0%	938	22.9%	1,223	29.8%	1,077	26.3%
富岡町・楡葉町・広野町・川内村	5,635	1,255	22.3%	1,362	24.2%	1,649	29.3%	1,370	24.3%
田村市・川俣町	16,533	3,401	20.6%	4,237	25.6%	5,058	30.6%	3,837	23.2%

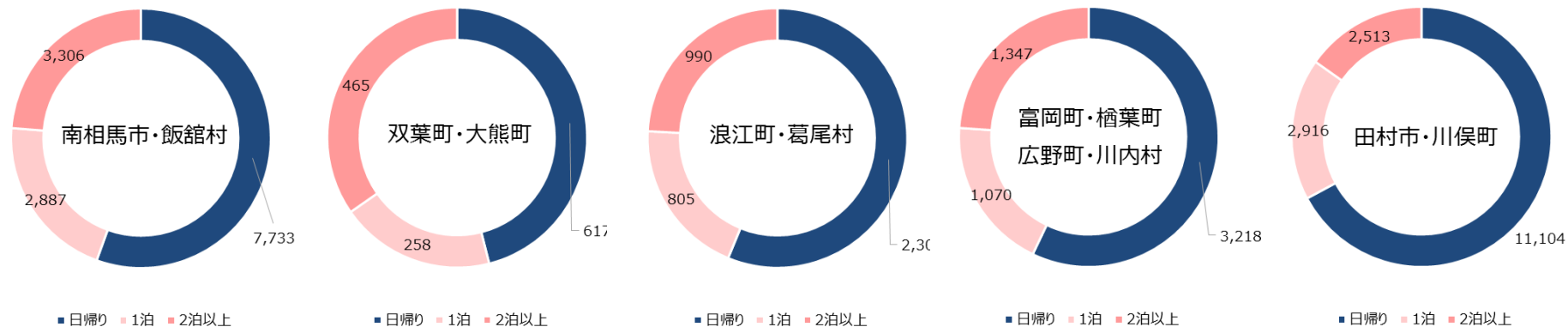
2.2 調査・分析の結果

2.2.4 12市町村内における滞在地分析

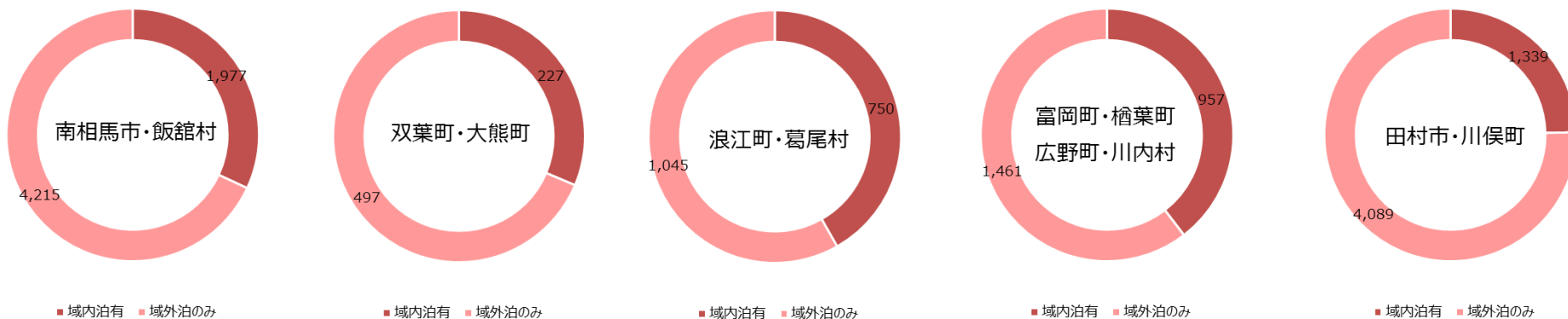
④ 12市町村を5エリアにわけ、それぞれの特徴を分析（旅程ごとの比較）

- 「田村市・川俣町」エリアでの日帰り割合が高いこと、「双葉町・大熊町」エリアでは2泊以上の割合が高いことが特徴（他エリアはほぼ同じ）
- 12市町村内での宿泊割合でも、「田村市・川俣町」エリアが低く、「浪江町・葛尾村」「富岡町・楡葉町・広野町・川内村」エリアではやや高い

5エリア別 旅程（日帰り・1泊・2泊以上）



5エリア別 旅程（日帰り・域内泊有り・域外泊のみ）



出所：「KDDI×コロプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

2.2 調査・分析の結果

2.2.5 12市町村内における流入分析

④ 12市町村別滞在時間帯分析

- 12市町村の滞在時間のピークタイムは日中の6-9時間程度（午前8-9時から午後3-4時にかけて滞在サンプル数が最も多い）
- 市町村によって流入時間帯に差異があり、比較的早い時間に流入ピークを迎える（飯舘村・大熊町・葛尾村・富岡町・浪江町・広野町）とや遅い時間に流入ピークを迎える（川俣町・田村町・檜葉町・南相馬市）とに分かれる

12市町村別 時間帯別滞在量 時間帯別流入出

市町村名	来訪者数	時間帯																								ピークタイム			
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	時間	時刻		
1 飯舘村	1,649								IN								Out											7時間	7
2 大熊町	827								IN								Out											6時間	6
3 葛尾村	293								IN							Out												7時間	7
4 川内村	551										IN					Out												7時間	7
5 川俣町	4,212											IN				Out												6時間	6
6 田村市	12,425											IN				Out												7時間	7
7 富岡町	2,320								IN								Out											9時間	9
8 浪江町	1,726								IN								Out											6時間	6
9 檜葉町	3,184											IN				Out												8時間	8
10 広野町	2,354								IN								Out											9時間	9
11 双葉町	581								IN								Out											6時間	6
12 南相馬市	12,598											IN					Out											8時間	8

- 最多滞在量時間
- 最多滞在量時間の70%以上の滞在量（ピークタイム）
- 最多滞在量時間の30%以上の滞在量
- IN 最多流入時間
- Out 最多流出時間
- ★ 最多流入／流出時間

出所：「KDDI×コプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

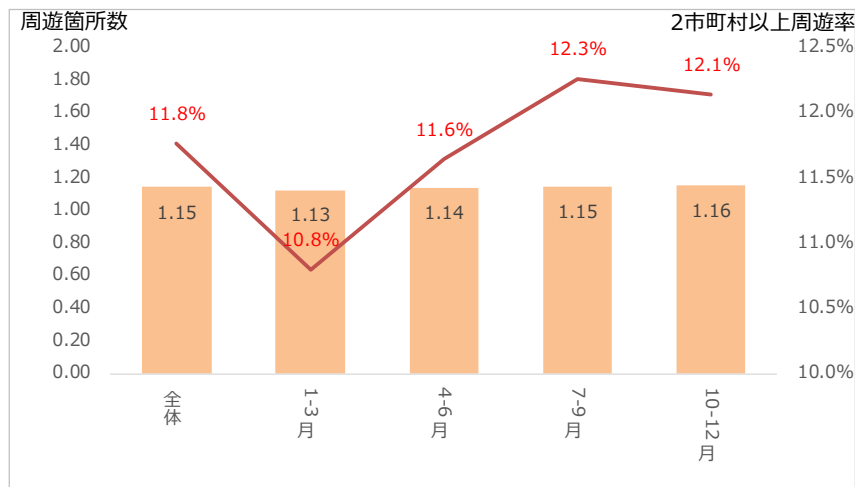
2.2 調査・分析の結果

2.2.6 周遊分析

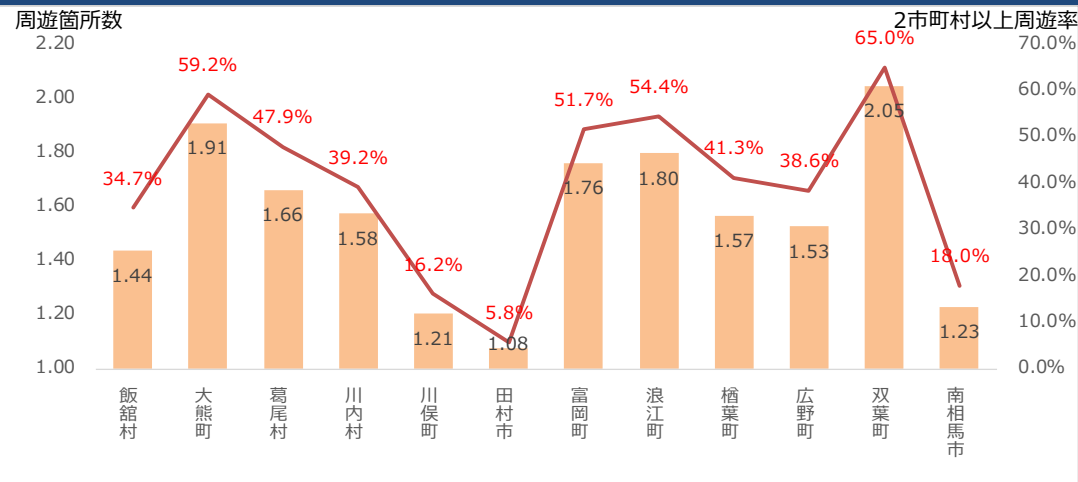
① 12市町村間での周遊・平均移動市町村数

- 平均周遊箇所数は1.15箇所、2市町村以上来訪率は11.8%程度であり、12市町村内を横断しての周遊傾向はあまり見られない
- 周遊箇所数、周遊率から以下の12市町村を以下3グループに分類
 - ① ほぼ自市町村内での滞在・周遊：川俣市、田村市、南相馬市
 - ② 周遊率が半数以上、周遊箇所数も2市町村前後：大熊町、双葉町、浪江町、富岡町
 - ③ 上記の中間（半数以下が2市町村周遊）：飯舘村、葛尾村、川内村、楡葉町、広野町
- ①グループについては、中通り地域（福島市・郡山市・二本松市等）に近く、12市町村外との周遊の中で立寄り・滞在の可能性のある川俣町・田村市と、12市町村の中心的な自治体である南相馬市とで滞在・周遊内容が異なることが考えられる
- また②グループについては、復興・原発関連作業や一時滞在等で立寄り、一定時間後に隣接市町村へ移動する必要がある、と推察

周遊箇所数・2市町村以上周遊率（12市町村・四半期別）



周遊箇所数・2市町村以上周遊率（市町村別）



出所：「KDDI×コロプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

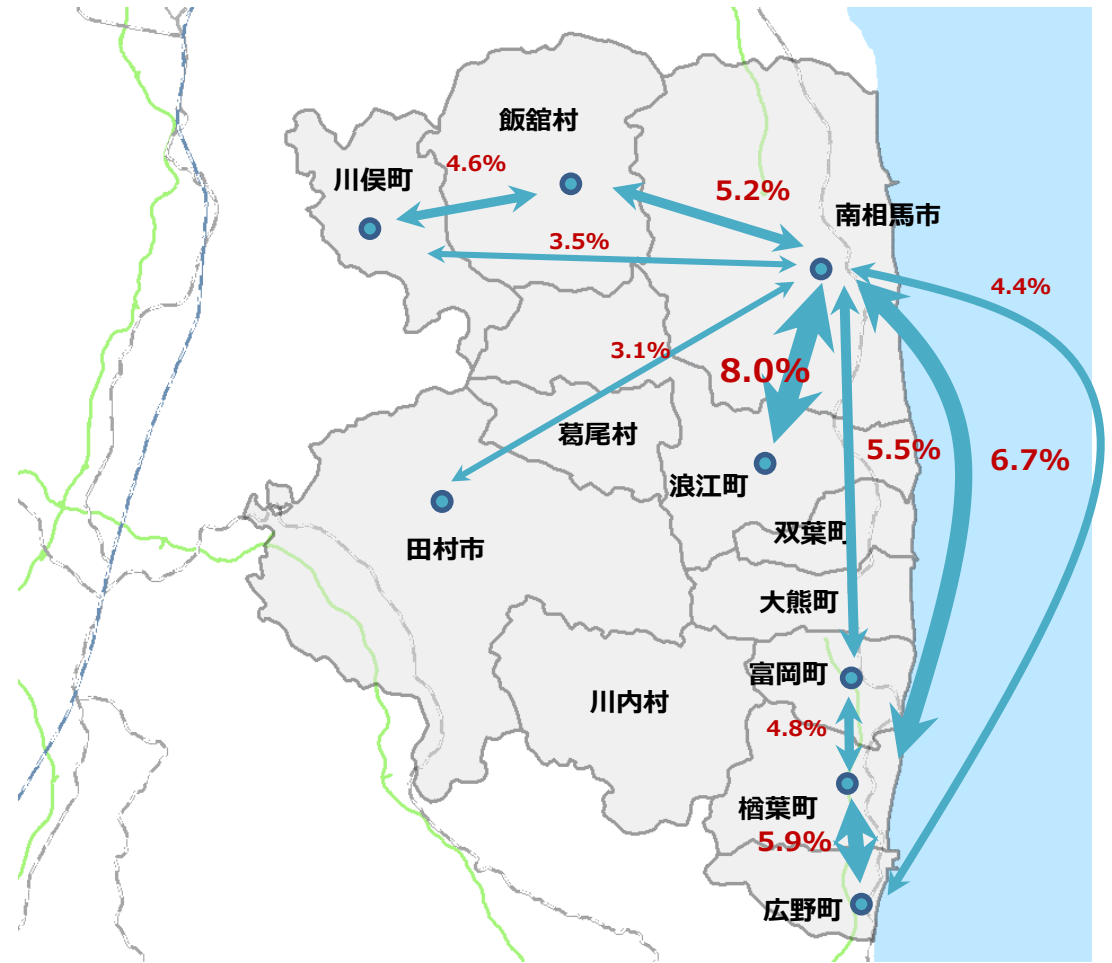
2.2 調査・分析の結果

2.2.6 周遊分析

② 周遊分析（12市町村間）

- 南相馬市への滞在者のうち、他市町村への周遊率は18%程度だが、移動量を見ると、南相馬市が12市町村エリア内周遊のハブ拠点となっていることが分かる
- なお、福島・郡山等中通り地区からのアクセスは川俣・飯館・南相馬市であることが想定される

順位	周遊ルート	全体
		4,388
1	南相馬市 ⇄ 浪江町	8.0%
2	南相馬市 ⇄ 楡葉町	6.7%
3	広野町 ⇄ 楡葉町	5.9%
4	南相馬市 ⇄ 富岡町	5.5%
5	南相馬市 ⇄ 飯館村	5.2%
6	楡葉町 ⇄ 富岡町	4.8%
7	川俣町 ⇄ 飯館村	4.6%
8	南相馬市 ⇄ 広野町	4.4%
9	南相馬市 ⇄ 川俣町	3.5%
10	田村市 ⇄ 南相馬市	3.1%



2.2 調査・分析の結果

2.2.6 周遊分析

② 周遊分析（12市町村間）

- 各市町村とも、南相馬市との周遊が多い傾向
- 川内村、葛尾村は田村市と、大熊町は富岡町との周遊が多い傾向

12市町村間周遊サマリ

NO	市町村名	来訪者数	周遊先市町村名											
			田村市	南相馬市	川俣町	広野町	檜葉町	富岡町	川内村	大熊町	双葉町	浪江町	葛尾村	飯館村
1	田村市	12,425		1.6%	0.8%	0.4%	0.7%	0.8%	1.0%	0.3%	0.2%	0.6%	0.7%	0.2%
2	南相馬市	12,598	1.6%		2.1%	2.4%	3.6%	3.2%	0.2%	1.3%	1.2%	4.3%	0.2%	2.6%
3	川俣町	4,212	2.5%	6.3%		0.3%	0.6%	0.9%	****	0.3%	0.3%	2.9%	0.3%	6.4%
4	広野町	2,354	2.3%	13.0%	0.5%		17.5%	9.2%	0.5%	4.0%	2.5%	3.3%	****	****
5	檜葉町	3,184	2.7%	14.4%	0.8%	12.9%		14.0%	1.0%	3.6%	2.9%	4.4%	****	0.3%
6	富岡町	2,320	4.5%	17.3%	1.6%	9.4%	19.2%		2.0%	8.5%	4.1%	8.9%	0.5%	0.9%
7	川内村	551	22.3%	4.3%	****	2.3%	6.0%	8.5%		2.8%	****	4.1%	2.1%	****
8	大熊町	827	4.9%	20.1%	1.4%	11.4%	14.0%	23.7%	1.9%		8.2%	7.4%	****	1.3%
9	双葉町	581	4.1%	25.9%	2.1%	10.3%	16.1%	16.3%	****	11.6%		15.9%	****	2.7%
10	浪江町	1,726	4.0%	31.3%	7.1%	4.4%	8.1%	12.0%	1.3%	3.6%	5.4%		1.5%	2.0%
11	葛尾村	293	29.9%	9.5%	4.9%	****	****	4.3%	4.0%	****	****	8.8%		****
12	飯館村	1,649	1.6%	19.5%	16.4%	****	0.6%	1.2%	****	0.7%	0.9%	2.1%	****	

周遊先順位

1位 2位 3位

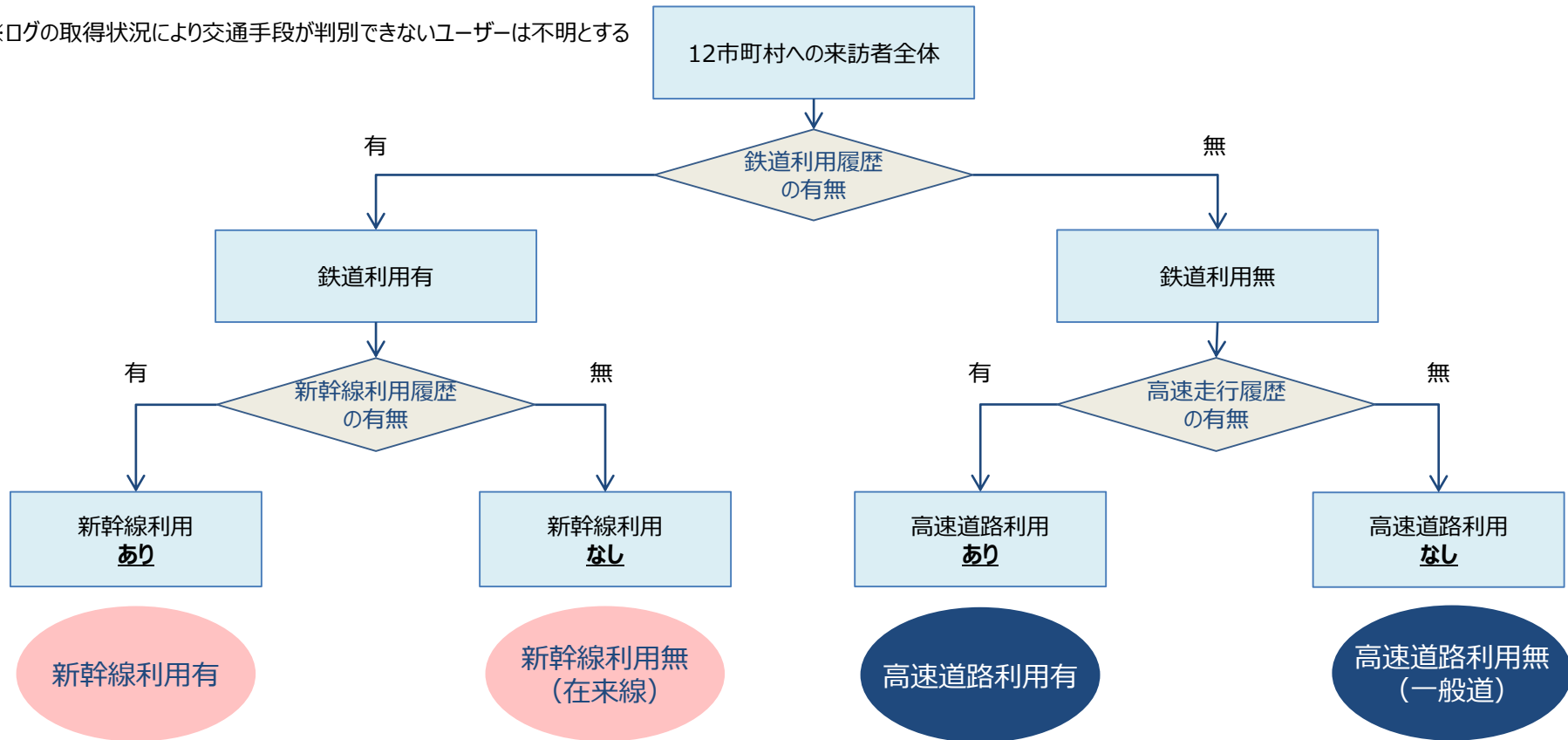
2.2 調査・分析の結果

2.2.7 交通手段分析

① 交通手段の判定について

- 本調査では、サンプルデータ取得時の移動速度・加速度等及びマップマッチング処理結果から交通手段を判別
- エリア来訪者サンプル全体を対象に以下条件分岐にもとづき、代表交通手段を判定

※ログの取得状況により交通手段が判別できないユーザーは不明とする



2.2 調査・分析の結果

2.2.7 交通手段分析

② 全体構成比、四半期別

- 来訪交通手段は「高速道路利用有（44.5%）」が最も多く、ついで「高速道路利用無（38.4%）」と来訪者全体の8割強を占め、鉄道利用は全体の15%程度
- 四半期別でも車両での移動（高速道路利用の有無含む）傾向は変わらないが、1-3月期は「高速道路利用有」の割合が他時期に比べて高い傾向

交通手段別来訪者数・構成比（四半期別）

no	経路名	方面	年間		四半期別							
					1-3月		4-6月		7-9月		10-12月	
			n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
1	新幹線利用有	鉄道	613	1.6%	110	1.4%	145	1.6%	170	1.5%	188	2.1%
2	新幹線利用無（在来線）	鉄道	5,191	13.9%	1,226	15.4%	1,223	13.3%	1,491	13.5%	1,251	13.9%
3	高速道路利用有	車両等	16,599	44.5%	3,172	39.8%	4,091	44.4%	5,340	48.3%	3,996	44.3%
4	高速道路利用無	車両等	14,312	38.4%	3,310	41.5%	3,611	39.2%	3,918	35.4%	3,473	38.5%
	不明		556	1.5%	154	1.9%	148	1.6%	141	1.3%	112	1.2%
	合計		37,271	100.0%	7,972	100.0%	9,218	100.0%	11,061	100.0%	9,020	100.0%

2.2 調査・分析の結果

2.2.7 交通手段分析

② 旅程別交通手段

- 日帰り旅程者に比べ、宿泊を伴い、またその泊数が多いほど、「高速道路利用有」の割合が高まる傾向
- また、域内泊有の訪問者は、域内泊無に比べて「新幹線利用有」や「高速道路利用無」の割合が高い傾向

旅程別 交通手段別来訪者数・構成比（年間）

no	経路名	経路タイプ	全体		旅程別									
					日帰り		1泊		2泊以上		旅程（宿泊者）			
			n	%	n	%	n	%	n	%	n	%		
1	新幹線利用有	鉄道	613	1.6%	166	0.7%	181	2.6%	266	3.7%	276	6.7%	171	1.7%
2	新幹線利用無（在来線）	鉄道	5,191	13.9%	3,545	15.3%	857	12.3%	790	11.0%	468	11.3%	1,179	11.8%
3	高速道路利用有	車両等	16,599	44.5%	7,311	31.6%	4,286	61.6%	5,002	69.4%	2,372	57.1%	6,916	69.1%
4	高速道路利用無	車両等	14,312	38.4%	11,611	50.2%	1,587	22.8%	1,114	15.5%	1,004	24.2%	1,697	17.0%
	不明		556	1.5%	480	2.1%	44	0.6%	32	0.4%	33	0.8%	43	0.4%
	合計		37,271	100.0%	23,113	100.0%	6,954	100.0%	7,204	100.0%	4,153	100.0%	10,005	100.0%

2.2 調査・分析の結果

2.2.7 交通手段分析

③ 居住地域別（地方）

- いずれの地域においても「高速道路利用有」が最も多い
- 母数は少ないが、近畿からの訪問者が在来線利用割合が23.6%と比較的高い（ついで北海道の19.7%）のも特徴

発地地域別 交通手段別来訪者数・構成比（年間）

no	経路名	経路タイプ	全体		発地別（地域）															
					北海道		東北		関東		中部		近畿		中国		四国		九州・沖縄	
			n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
1	新幹線利用有	鉄道	613	1.6%	****	****	84	0.3%	449	5.0%	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****
2	新幹線利用無（在来線）	鉄道	5,191	13.9%	39	19.7%	4,011	14.9%	977	11.0%	96	9.9%	48	23.6%	****	****	****	****	****	****
3	高速道路利用有	車両等	16,599	44.5%	123	62.1%	8,956	33.4%	6,601	74.1%	730	75.2%	111	54.6%	22	48.8%	18	62.6%	37	57.6%
4	高速道路利用無	車両等	14,312	38.4%	29	14.4%	13,324	49.6%	824	9.2%	93	9.6%	22	10.7%	****	****	****	****	11	17.5%
	不明		556	1.5%	****	****	471	1.8%	63	0.7%	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****
	合計		37,271	100.0%	199	100.0%	26,847	100.0%	8,914	100.0%	971	100.0%	204	100.0%	46	100.0%	29	100.0%	64	100.0%

2.2 調査・分析の結果

2.2.7 交通手段分析

③ 居住地域別（都道府県別）

- 東北地域内においては福島県を除いて、「高速道路利用有」が最も多く、「新幹線利用有」は0.3%に留まる
- 関東地域からのアクセスも千葉・茨城・栃木・群馬・埼玉県で「高速道路利用有」が最も多い
- 東京都・神奈川県はやや高速道路利用者の割合が下がり、「新幹線利用有」あるいは在来線利用の割合が他県と比べて高い傾向を示す

発地都道府県別（東北地域）交通手段別来訪者数・構成比（年間）

no	経路名	経路タイプ	全体		発地別（東北）											
					青森県		秋田県		岩手県		山形県		宮城県		福島県	
			n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
1	新幹線利用有	鉄道	84	0.3%	11	4.9%****	****	****	****	****	****	****	17	0.3%	21	0.1%
2	新幹線利用無（在来線）	鉄道	4,011	14.9%****	****	****	****	****	21	5.0%	46	8.1%	505	9.8%	3,423	16.9%
3	高速道路利用有	車両等	8,956	33.4%	184	83.5%	218	83.6%	349	82.7%	438	78.0%	3,151	61.0%	4,616	22.8%
4	高速道路利用無	車両等	13,324	49.6%	18	8.1%	29	11.2%	29	6.9%	65	11.5%	1,409	27.3%	11,774	58.2%
	不明		471	1.8%****	****	****	****	****	****	****	****	83	1.6%	382	1.9%	
	合計		26,847	100.0%	221	100.0%	260	100.0%	422	100.0%	561	100.0%	5,166	100.0%	20,216	100.0%

発地都道府県別（関東地域）交通手段別来訪者数・構成比（年間）

no	経路名	経路タイプ	全体		発地別（関東）													
					千葉県		茨城県		栃木県		群馬県		埼玉県		東京都		神奈川県	
			n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%		
1	新幹線利用有	鉄道	449	5.0%****	****	****	****	****	****	****	****	****	91	8.3%	210	13.4%	81	9.3%
2	新幹線利用無（在来線）	鉄道	977	11.0%****	140	8.4%	244	8.4%	38	5.8%	15	8.9%	116	10.5%	280	17.9%	145	16.5%
3	高速道路利用有	車両等	6,601	74.1%	1,367	82.4%	2,287	79.0%	497	76.6%	125	73.5%	797	72.6%	956	61.1%	572	65.3%
4	高速道路利用無	車両等	824	9.2%	107	6.5%	324	11.2%	94	14.6%	20	11.6%****	8.3%****	****	****	****	****	
	不明		63	0.7%****	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****	
	合計		8,914	100.0%	1,660	100.0%	2,896	100.0%	649	100.0%	170	100.0%	1,099	100.0%	1,565	100.0%	875	100.0%

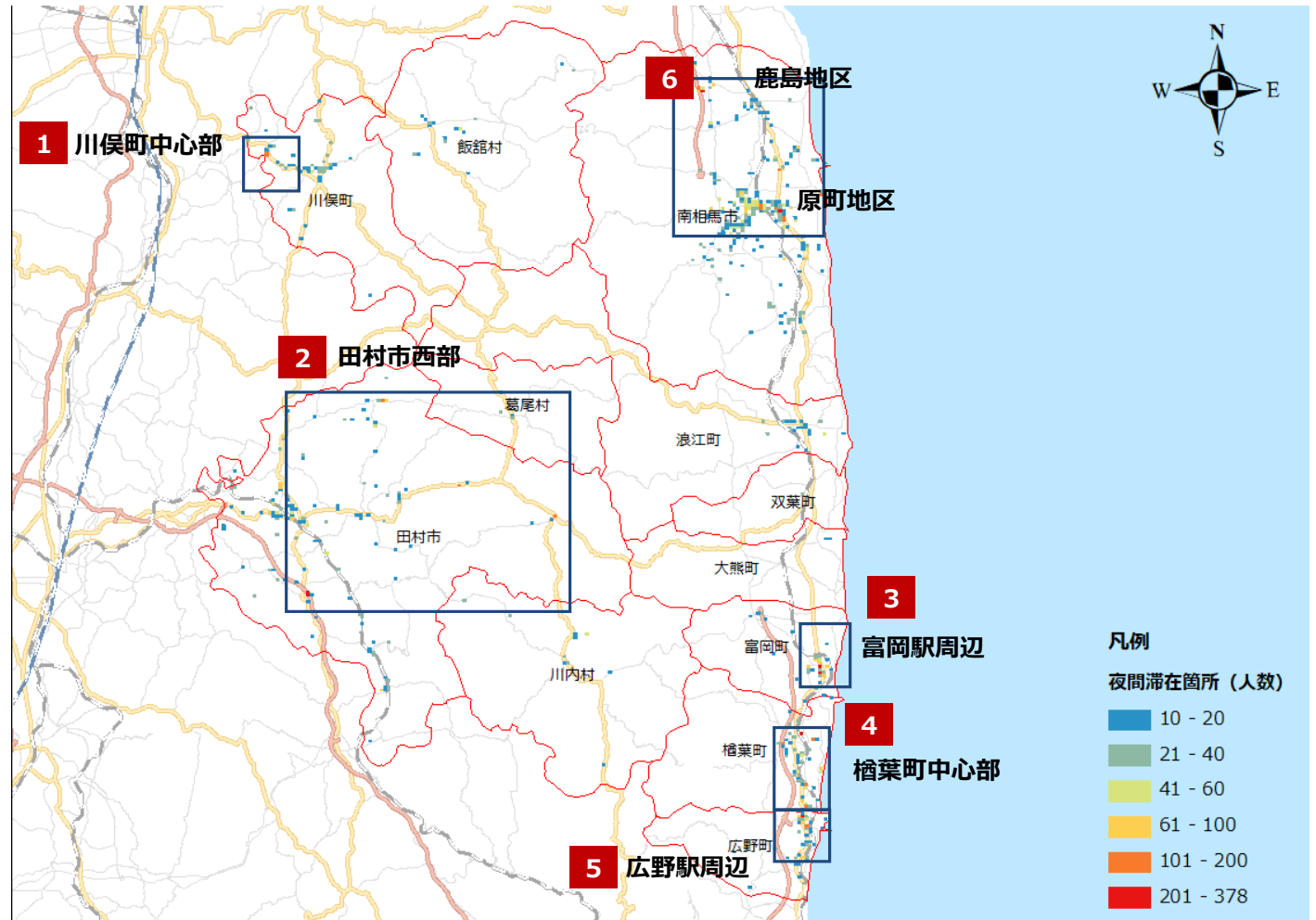
出所：「KDDI×コプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

2.2 調査・分析の結果

2.2.8 宿泊地分析

① 250mメッシュ単位での滞在拠点の抽出（夜間での滞在サンプル数集計）

- 夜間時間帯（午後10時-翌8時59分）での滞在頻度の高い場所を抽出し、そのメッシュ内に存在する宿泊施設などを確認
- 右図1～5までのエリアにおいて、滞在の多い箇所を次ページ以降に拡大して確認する



出所：「KDDI×コロプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

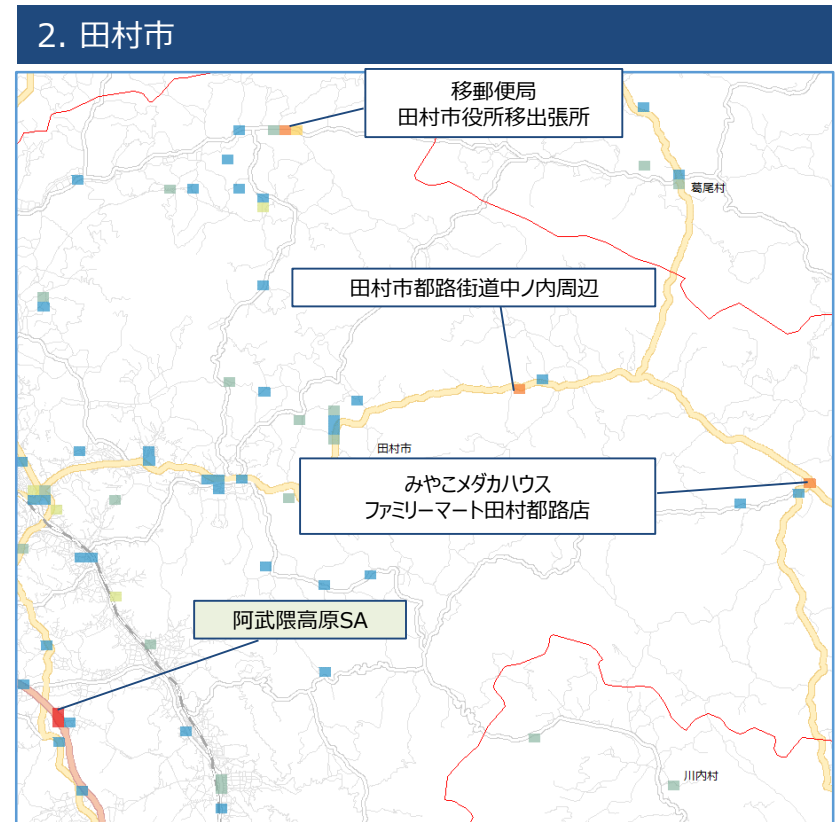
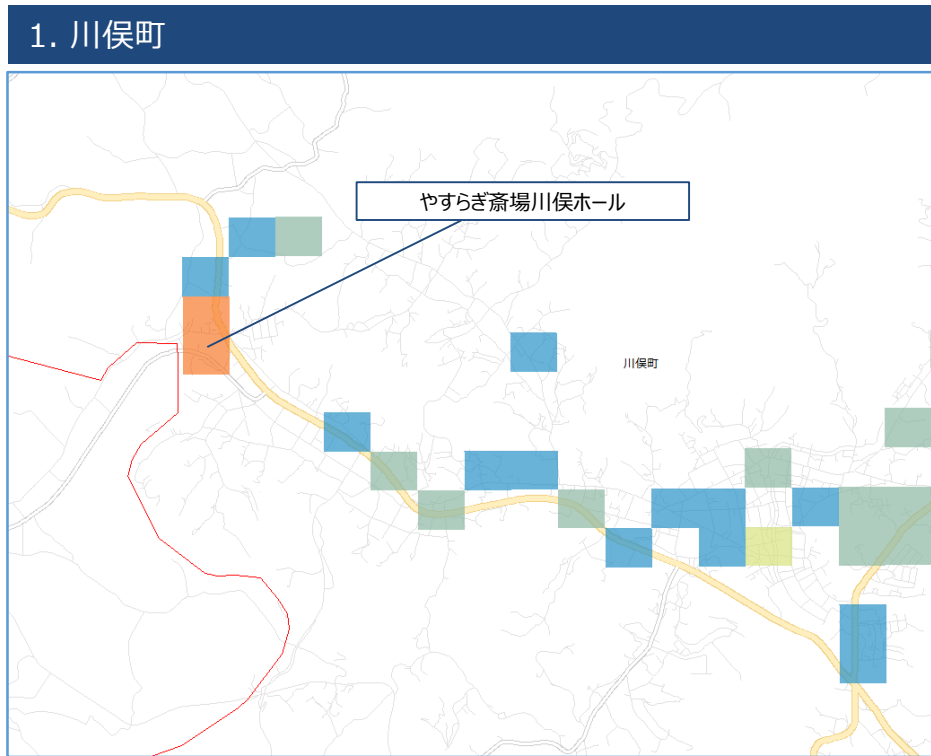
2.2 調査・分析の結果

2.2.8 宿泊地分析

① 250mメッシュ単位での滞在拠点の抽出（夜間での滞在サンプル数集計）

■ 川俣町中心部付近、及び田村市東部における拡大図と周辺施設名称は、下図のとおり

駅・駅周辺	宿泊施設等
SA・PA・道の駅等	観光施設
商業施設等	その他



出所：「KDDI×コロプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

2.2 調査・分析の結果

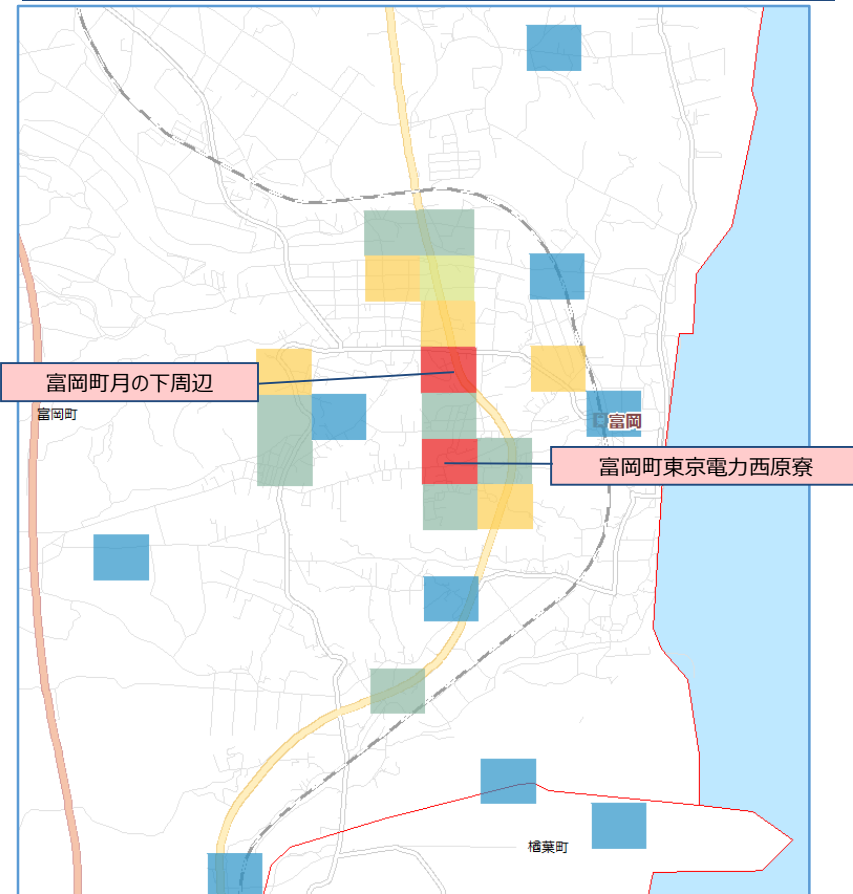
2.2.8 宿泊地分析

① 250mメッシュ単位での滞在拠点の抽出（夜間での滞在サンプル数集計）

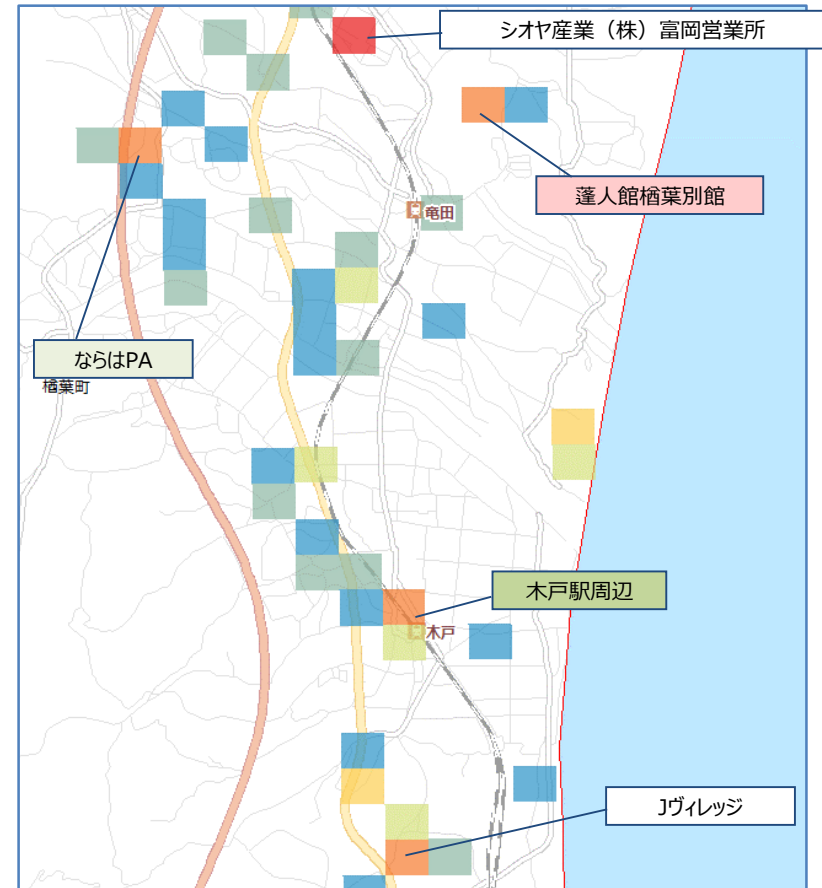
■ 富岡町中心部付近、及び榑葉町における拡大図と周辺施設名称は下図のとおり

駅・駅周辺	宿泊施設等
SA・PA・道の駅等	観光施設
商業施設等	その他

3. 富岡町



4. 榑葉町



出所：「KDDI×コプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

2.2 調査・分析の結果

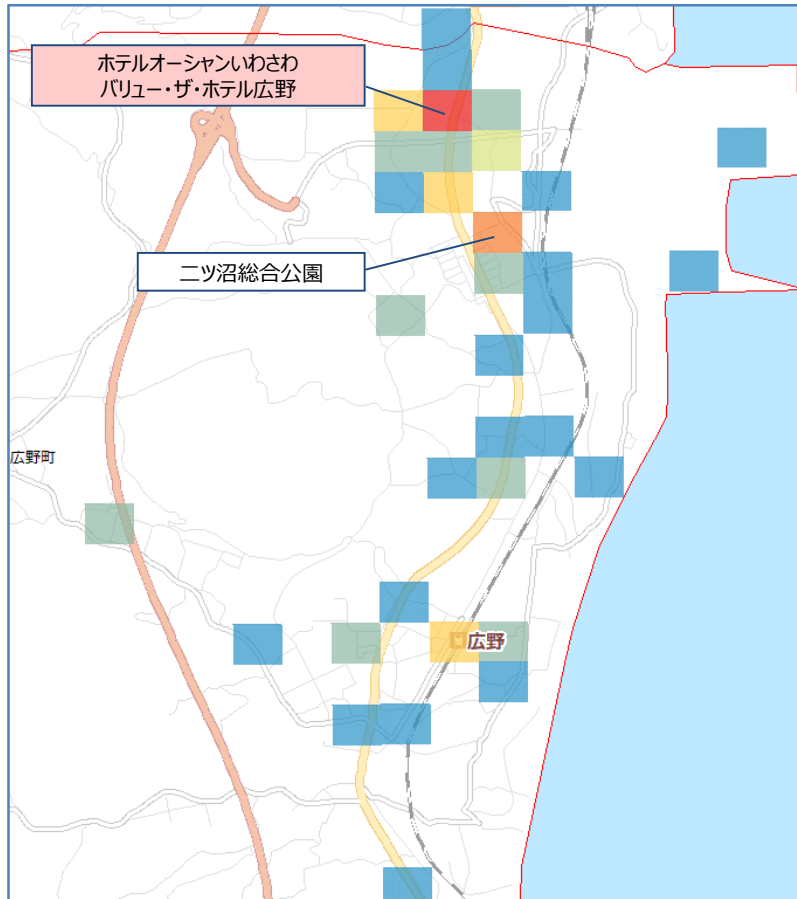
2.2.8 宿泊地分析

① 250mメッシュ単位での滞在拠点の抽出（夜間での滞在サンプル数集計）

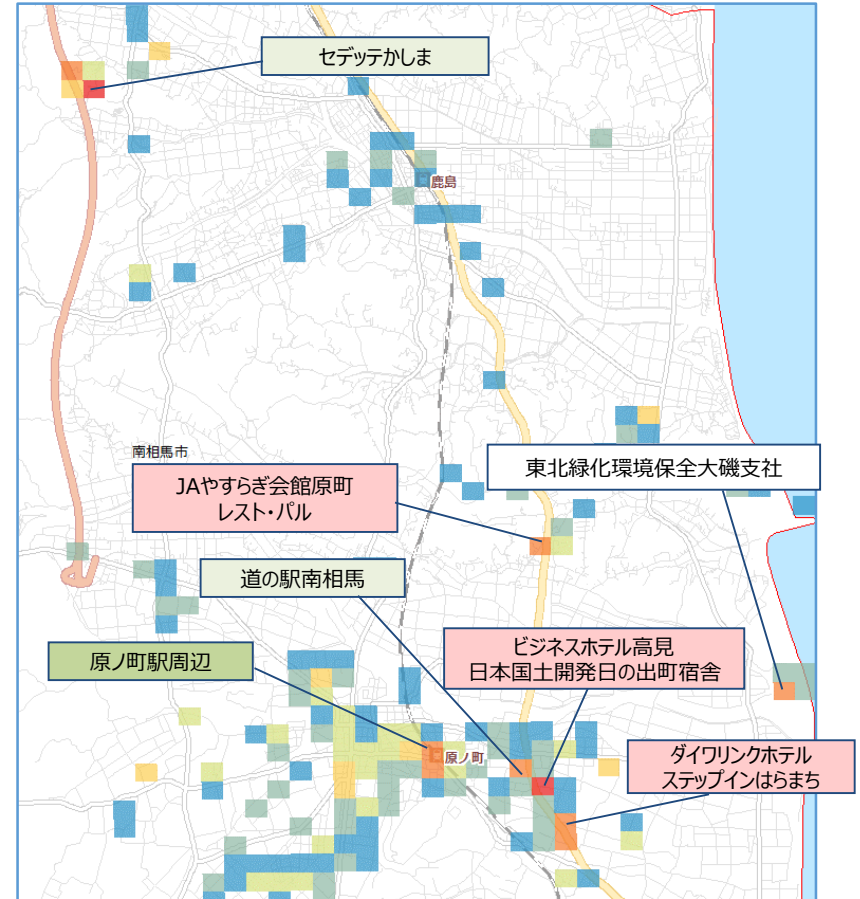
駅・駅周辺	宿泊施設等
SA・PA・道の駅等	観光施設
商業施設等	その他

■ 広野町、及び南相馬市における拡大図と周辺施設名称は、下図のとおり

5. 広野町



6. 南相馬市



出所：「KDDI×コロプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

2.2 調査・分析の結果

2.2.9 立寄りスポット分析

① 250mメッシュ単位での滞在拠点の抽出及び想定される立寄りスポット施設

■ 全体を通じて最も滞在サンプル数が多かったのは相馬市の商業施設「セデッテかしま」であり（全訪問者の7.2%）、ついで阿武隈高原SA（上り・下り各4.5%程度）であった

- 施設分類別には、商業施設、道の駅・SA、宿泊施設、常磐線駅周辺（南相馬市原ノ町駅）等が訪問滞在サンプル数上位に並ぶ
- また夜間時間帯の滞在では上位30拠点中11箇所が南相馬市であり、同市中心地の広範囲に渡っての滞在が認められる

滞在サンプル数が多かった拠点及び拠点内主要施設（全日）

総合ランキング	市町村名	来訪者数	メッシュ内施設	施設分類
1	南相馬市	2,677	セデッテかしま	商業施設
2	田村市	1,760	阿武隈高原SA	道の駅・SA
3	田村市	1,669	阿武隈高原SA	道の駅・SA
4	田村市	1,068	リオン・ドール船引店	商業施設
5	南相馬市	765	道の駅南相馬、ビジネスホテル高見、日本国土開発日の出町宿舎	宿泊施設近隣
6	田村市	744	あぶま洞・星の村天文台	観光施設
7	富岡町	717	東京電力（株）西原寮、西原集会所	宿泊施設近隣
8	富岡町	652	月の下交差点、ホテル芳門、東京電力富岡荘、さくらモールとみおか	宿泊施設近隣
9	富岡町	631	ホテルオーシャンいわさわ、パリュウ・ザ・ホテル広野	宿泊施設近隣
10	川俣町	568	やすらぎ斎場川俣ホール	その他
11	南相馬市	564	道の駅南相馬、ビジネスホテル高見、日本国土開発日の出町宿舎	宿泊施設近隣
12	川俣町	564	シルクピア（道の駅川俣内物産館）こころ（JA新ふくしま直売所）周辺	道の駅・SA
13	田村市	560	ふねひきパーク	商業施設
14	富岡町	556	月の下交差点、ホテル芳門、東京電力富岡荘、さくらモールとみおか	宿泊施設近隣
15	檜葉町	522	シオヤ産業（株）富岡営業所	その他
16	川俣町	456	シルクピア（道の駅川俣内物産館）こころ（JA新ふくしま直売所）周辺	道の駅・SA
17	檜葉町	451	Jヴィレッジ	スポーツ・公園施設
18	南相馬市	416	東北緑化環境保全（株）大磯支社	その他
19	田村市	416	ヤマダ電機テックランド船引店、ヨークベニマルメガステージ田村店	商業施設
20	南相馬市	412	セデッテかしま	道の駅・SA
21	浪江町	406	浪江町役場	行政機関等施設
22	檜葉町	393	天神岬スポーツ公園	スポーツ・公園施設
23	南相馬市	386	セデッテかしま	道の駅・SA
24	飯館村	382	いいたて村の道の駅まで館	道の駅・SA
25	南相馬市	369	サンブラザセレクト原町店、ツルハドラッグ原町店	商業施設
26	南相馬市	361	原ノ町駅周辺	駅周辺
27	南相馬市	359	イオンスーパーセンター南相馬店	商業施設
28	南相馬市	331	原ノ町駅周辺	駅周辺
29	南相馬市	301	イオンスーパーセンター南相馬店	商業施設
30	田村市	299	みやこメタカハウス、ファミリーマート田村都路店	商業施設
31	広野町	297	二ツ沼総合公園	スポーツ・公園施設

滞在サンプル数が多かった拠点及び拠点内主要施設（夜間）

総合ランキング	市町村名	来訪者数	エリア内に含まれる主要施設等	施設分類
1	広野町	378	ホテルオーシャンいわさわ、パリュウ・ザ・ホテル広野	宿泊施設近隣
2	南相馬市	367	セデッテかしま	商業施設
3	富岡町	308	東京電力（株）西原寮、西原集会所	宿泊施設近隣
4	富岡町	301	月の下交差点、ホテル芳門	宿泊施設近隣
5	田村市	285	阿武隈高原SA	道の駅・SA
6	南相馬市	246	ビジネスホテル高見、日本国土開発日の出町宿舎	宿泊施設近隣
7	檜葉町	238	シオヤ産業（株）富岡営業所	その他
8	田村市	230	阿武隈高原SA	道の駅・SA
9	南相馬市	178	道の駅南相馬	道の駅・SA
10	南相馬市	160	東北緑化環境保全（株）大磯支社	その他
11	南相馬市	150	Honda Cars原町北原店、タイワリンクホテル	宿泊施設近隣
12	川俣町	149	やすらぎ斎場川俣ホール	その他
13	田村市	147	みやこメタカハウス、ファミリーマート田村都路店	商業施設
14	川俣町	144	富岡街道、散歩内	その他
15	南相馬市	135	セデッテかしま	商業施設
16	南相馬市	133	やすらぎ会館原町、ビジネスホテルレスト・パル	宿泊施設近隣
17	檜葉町	128	ならはPA	道の駅・SA
18	田村市	124	都路街道、中ノ内	その他
19	南相馬市	123	原ノ町駅	駅周辺
20	南相馬市	116	原ノ町駅、小野田病院	駅周辺
21	檜葉町	116	Jヴィレッジ	スポーツ・公園施設
22	檜葉町	113	遠人館 檜葉別館	宿泊施設近隣
23	広野町	107	二ツ沼総合公園	スポーツ・公園施設
24	田村市	103	移動郵便局、田村市役所出張所	その他
25	檜葉町	102	パリュウ・ザ・ホテル檜葉木戸駅前	宿泊施設近隣
26	南相馬市	102	サンブラザセレクト原町店、ツルハドラッグ原町店	商業施設
27	檜葉町	99	天神岬スポーツ公園	スポーツ・公園施設
28	田村市	98	長法寺、ふくだや薬局、伊豆商店	その他
29	富岡町	97	東京電力（株）富岡独身寮、NTT上ノ町アパート	宿泊施設近隣
30	南相馬市	95	セデッテかしま	商業施設
31	富岡町	91	さくらモールとみおか	商業施設

※滞在サンプル数（のべ数）であり、訪問者数による上位ランキングではない

出所：「KDDI×コロプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

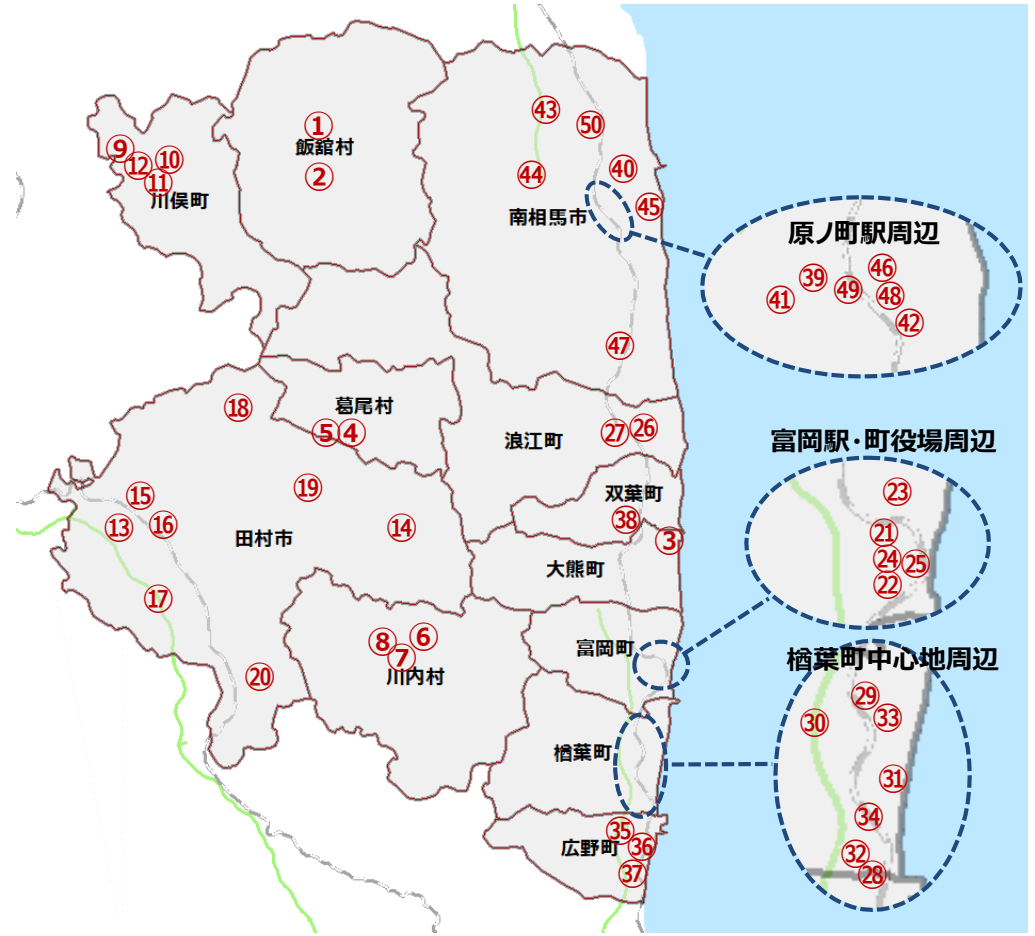
2.2 調査・分析の結果

2.2.9 立寄りスポット分析

② スポット拠点間での周遊分析（対象スポット）

■ 各市町村での立寄り頻度の高いスポット、公的施設等が含まれるスポットとを下表のように抽出した

観光スポット名	内包する主要施設	市町村名
1 しいたて村の道の駅までい館	しいたて村の道の駅までい館	飯籠村
2 飯籠村役場周辺	飯籠村役場 飯籠村立飯籠中学校	飯籠村
3 福島第一原子力発電所	福島第一原子力発電所	大熊町
4 葛尾村役場周辺	葛尾村役場 JA福島さくら葛尾支店	葛尾村
5 せせらぎ荘周辺	せせらぎ荘 地域福祉センターみどり荘	葛尾村
6 いわなの郷	いわなの郷	川内村
7 かわうち湯	かわうち湯	川内村
8 上川内郵便局周辺	上川内郵便局 小松屋旅館等	川内村
9 やすらぎ斎場川俣ホール周辺	やすらぎ斎場川俣ホール周辺	川俣町
10 リ・ファンズ川俣店等商業地域	リ・ファンズ川俣店等商業地域	川俣町
11 川俣町体育館	川俣町体育館	川俣町
12 道の駅川俣物産館周辺	道の駅川俣物産館 ころら等商業施設周辺	川俣町
13 ふねひきパーク	ふねひきパーク	田村市
14 みやこメダカハウス周辺	みやこメダカハウス ファミリーマート田村都路店	田村市
15 ヤマダ電機テックランド船引店周辺	ヤマダ電機テックランド船引店 ヨークベニマルメカステージ田村店	田村市
16 リオン・ドール船引店	リオン・ドール船引店	田村市
17 阿武隈高原SA	阿武隈高原SA	田村市
18 移動郵便局周辺	移動郵便局 田村市役所移出張所	田村市
19 田村市都路街道中ノ内周辺	田村市都路街道中ノ内周辺	田村市
20 あぶくま湖周辺	あぶくま湖 星の村天文台	田村市
21 富岡町東京電力廃炉資料館周辺	富岡町東京電力廃炉資料館周辺	富岡町
22 富岡町東京電力西原寮等施設	富岡町東京電力西原寮等施設	富岡町
23 富岡町総合スポーツセンター周辺	富岡町総合スポーツセンター周辺	富岡町
24 富岡町月の下周辺	富岡町月の下周辺	富岡町
25 富岡駅周辺	富岡駅周辺	富岡町
26 浪江町役場	浪江町役場	浪江町
27 浪江駅前	浪江駅前	浪江町
28 Jヴィレッジ	Jヴィレッジ	楡葉町
29 シオヤ産業（株）富岡営業所	シオヤ産業（株）富岡営業所	楡葉町
30 ならはPA	ならはPA	楡葉町
31 天神岬スポーツ公園	天神岬スポーツ公園	楡葉町
32 道の駅ならは	道の駅ならは	楡葉町
33 蓮人館楡葉別館	蓮人館楡葉別館	楡葉町
34 木戸駅周辺	木戸駅周辺	楡葉町
35 ホテルオーシャンいいわさわ周辺	ホテルオーシャンいいわさわ バリユー・ザ・ホテル広野	広野町
36 ニツ沼総合公園	ニツ沼総合公園	広野町
37 広野駅周辺	広野駅 ひろのてらす 広野町役場	広野町
38 双葉中学校周辺	双葉中学校周辺	双葉町
39 南相馬市役所周辺	南相馬市役所 復興庁南相馬出張所 銘座館	南相馬市
40 JAやすらぎ会館原町周辺	JAやすらぎ会館原町 レスト・パル等宿泊施設	南相馬市
41 南相馬ジャスコモール	南相馬ジャスコモール	南相馬市
42 ダイワリンクホテル周辺	ダイワリンクホテル ステップインはらまち	南相馬市
43 セデッテかしま	セデッテかしま	南相馬市
44 新田川はらまちユツサ	新田川はらまちユツサ	南相馬市
45 東北緑化環境保全大磯支社	東北緑化環境保全大磯支社	南相馬市
46 南相馬市原町運動公園	南相馬市原町運動公園	南相馬市
47 小高駅周辺	小高駅周辺	南相馬市
48 道の駅南相馬	道の駅南相馬	南相馬市
49 原ノ町駅周辺	原ノ町駅周辺	南相馬市
50 鹿島駅周辺	鹿島駅周辺	南相馬市



出所：「KDDI×コロプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

2.2 調査・分析の結果

2.2.9 立寄りスポット分析

③ スポット拠点間での周遊分析（対象スポット）

■ 「セデッテかしま」の来訪者数が最も多く、次いで「阿武隈高原SA」、「道の駅川俣内物産館周辺」と続く

順位	観光スポット名	市町村名	来訪者数
1	セデッテかしま	南相馬市	3,055
2	阿武隈高原SA	田村市	3,035
3	道の駅川俣内物産館周辺	川俣町	1,400
4	原ノ町駅周辺	南相馬市	1,231
5	あぶくま洞周辺	田村市	991
6	リオン・ドール船引店	田村市	985
7	道の駅南相馬	南相馬市	902
8	南相馬ジャスモール	南相馬市	690
9	富岡町月の下周辺	富岡町	572
10	ふねひきパーク	田村市	564
11	天神岬スポーツ公園	檜葉町	422
12	ヤマダ電機テックランド船引店周辺	田村市	405
13	ニツ沼総合公園	広野町	399
14	鹿島駅周辺	南相馬市	396
15	いいいて村の道の駅までい館	飯館村	372
16	ダイワリンクホテル周辺	南相馬市	325
17	Jヴィレッジ	檜葉町	319
18	浪江町役場	浪江町	318
19	南相馬市役所周辺	南相馬市	311
20	広野駅周辺	広野町	291
21	富岡町東京電力廃炉資料館周辺	富岡町	284
22	ならはPA	檜葉町	272
23	小高駅周辺	南相馬市	268
24	富岡駅周辺	富岡町	223
25	福島第一原子力発電所	大熊町	179
26	リ・ファンズ川俣店等商業地域	川俣町	175
27	南相馬市原町運動公園	南相馬市	175
28	ホテルオーシャンいわさわ周辺	広野町	172
29	飯館村役場周辺	飯館村	171
30	道の駅ならは	檜葉町	158

順位	観光スポット名	市町村名	来訪者数
31	富岡町東京電力西原寮等施設	富岡町	152
32	双葉中学校周辺	双葉町	140
33	JAやすらぎ会館原町周辺	南相馬市	138
34	上川内郵便局周辺	川内村	125
35	かわうちの湯	川内村	125
36	やすらぎ斎場川俣ホール周辺	川俣町	108
37	浪江駅前	浪江町	105
38	富岡町総合スポーツセンター周辺	富岡町	100
39	川俣町体育館	川俣町	98
40	木戸駅周辺	檜葉町	80
41	葛尾村役場周辺	葛尾村	63
42	シオヤ産業（株）富岡営業所	檜葉町	62
43	みやこメダカハウス周辺	田村市	59
44	せせらぎ荘周辺	葛尾村	49
45	移郵便局周辺	田村市	47
46	東北緑化環境保全大磯支社	南相馬市	46
47	新田川はらまちユツサ	南相馬市	41
48	いわなの郷	川内村	35
49	蓬人館檜葉別館	檜葉町	26
50	田村市都路街道中ノ内周辺	田村市	14

出所：「KDDI×コロプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

2.2 調査・分析の結果

2.2.9 立寄りスポット分析

④ スポット拠点間での周遊分析（対象スポット）

- 商業施設や道の駅・SA等では1時間程度の滞在時間となっている
- 原ノ町駅周辺や小高駅、富岡駅周辺等では、滞在時間が3時間程度と比較的長い

観光スポット名	来訪者数	全体	
		滞在	滞留
1 いいたて村の道の駅までい館	372	0:38	0:42
2 飯館村役場周辺	171	2:01	2:40
3 福島第一原子力発電所	179	3:43	4:52
4 葛尾村役場周辺	63	2:50	3:23
5 せせらぎ荘周辺	49	2:02	2:30
6 いわなの郷	35	1:40	1:59
7 かわうち湯	125	1:26	1:49
8 上川内郵便局周辺	125	2:45	3:15
9 やすらぎ斎場川俣ホール周辺	108	2:28	3:43
10 リ・ファンズ川俣店等商業地域	175	1:28	1:37
11 川俣町体育館	98	2:46	3:19
12 道の駅川俣内物産館周辺	1,400	0:48	0:57
13 ふねひきパーク	564	0:45	0:52
14 みやこメダカハウス周辺	59	2:20	2:30
15 ヤマダ電機テックランド船引店周辺	405	0:38	0:42
16 リオン・ドール船引店	985	0:43	0:47
17 阿武隈高原SA	3,035	0:38	0:45
18 移郵便局周辺	47	6:44	8:19
19 田村市都路街道中ノ内周辺	14	13:37	16:39
20 あぶくま洞周辺	991	0:47	0:60
21 富岡町東京電力廃炉資料館周辺	284	1:57	2:15
22 富岡町東京電力西原寮等施設	152	7:21	8:08
23 富岡町総合スポーツセンター周辺	100	2:19	3:23
24 富岡町月の下周辺	572	2:27	2:57
25 富岡駅周辺	223	3:13	3:33
26 浪江町役場	318	1:10	1:19
27 浪江駅前	105	1:06	1:16
28 Jヴィレッジ	319	3:25	4:42
29 シオヤ産業(株) 富岡営業所	62	5:43	6:32
30 ならはPA	272	0:58	1:06

観光スポット名	来訪者数	全体	
		滞在	滞留
31 天神岬スポーツ公園	422	2:01	2:33
32 道の駅ならは	158	1:30	2:02
33 蓬人館椿葉別館	26	28:42	29:45
34 木戸駅周辺	80	9:42	11:00
35 ホテルオーシャンいわさわ周辺	172	11:37	12:46
36 ニツ沼総合公園	399	2:03	2:41
37 広野駅周辺	291	1:35	1:51
38 双葉中学校周辺	140	1:08	1:28
39 南相馬市役所周辺	311	1:44	2:09
40 JAやすらぎ会館原町周辺	138	5:10	6:06
41 南相馬ジャスマール	690	0:50	1:11
42 ダイワリンクホテル周辺	325	2:47	3:15
43 セデツてかしま	3,055	0:42	0:56
44 新田川はらまちユツサ	41	1:13	1:19
45 東北緑化環境保全大磯支社	46	19:41	26:36
46 南相馬市原町運動公園	175	3:22	4:18
47 小高駅周辺	268	3:17	3:54
48 道の駅南相馬	902	1:43	2:06
49 原ノ町駅周辺	1,231	2:32	3:14
50 鹿島駅周辺	396	2:13	2:34

滞在時間

観光スポット内で
広範な移動をしていない時間



滞留時間

観光スポット内での
広範な移動も含む時間

【例】スキー場にて



出所：「KDDI×コプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

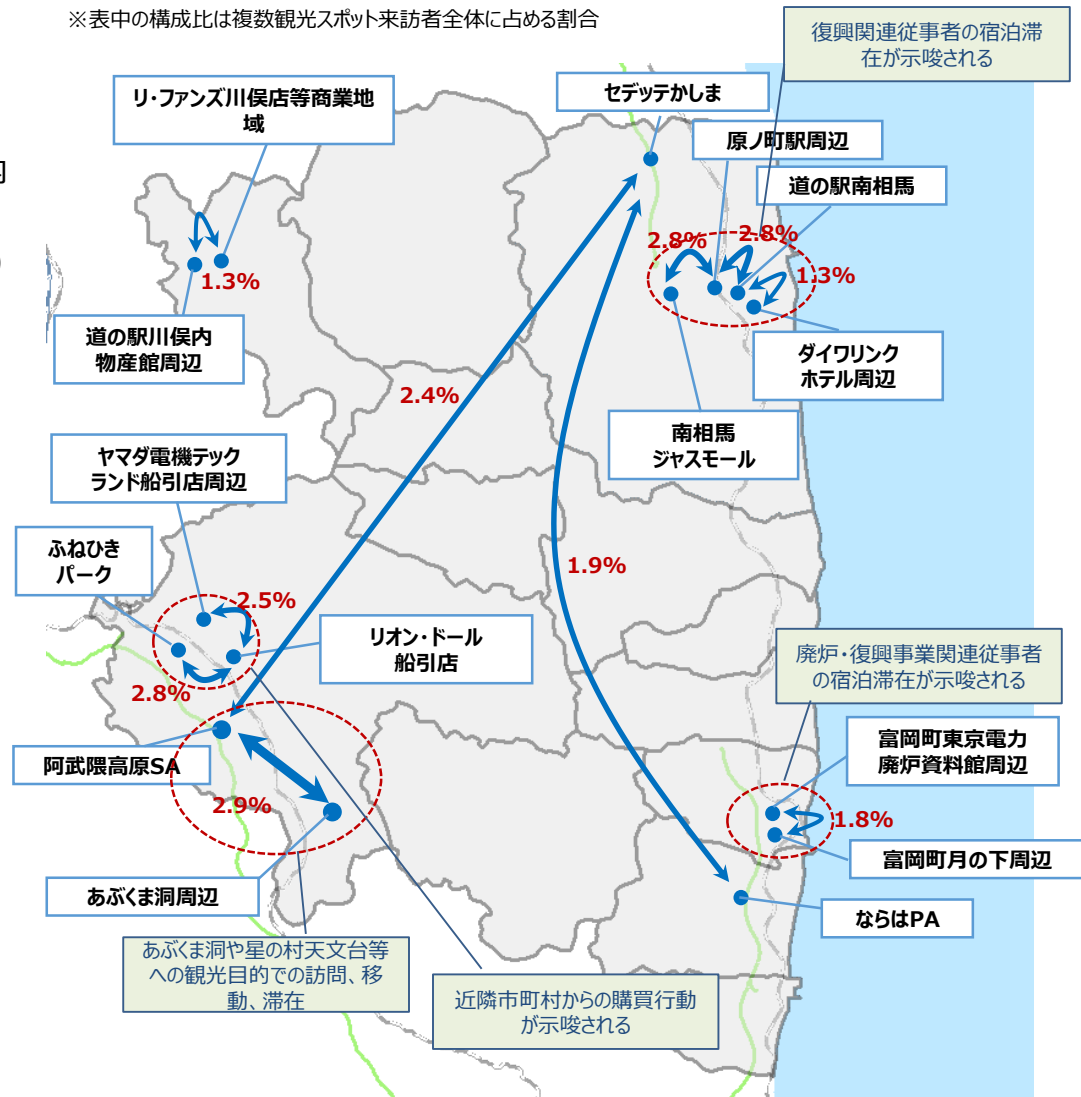
2.2 調査・分析の結果

2.2.9 立寄りスポット分析

⑤ スポット拠点間での周遊分析（対象スポット）

- 12市町村内での平均滞在時間は約7時間程度（日中）
- 12市町村訪問時の周遊市町村数は平均1.15程度とエリア内での回遊性は高くない
- 域内では、南相馬市が各市町村への移動拠点（日中・夜間）

※表中の構成比は複数観光スポット来訪者全体に占める割合



出所：「KDDI×コプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

3. 調査結果データのまとめ

3.1 調査結果データのまとめ

3.1.1 分析結果のまとめ

類推される状況の整理

		位置データ分析の結果	想定される状況
訪問者	居住地	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大多数が福島県内、近隣県からの訪問が3/4 ・ 首都圏からは15%程度、その他地域からは6%未満 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣以外から12市町村に直接乗り入れられる一次交通手段がない
	12市町村へのアクセス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車での訪問が全体の8割強、県内・近隣県及び12市町村へ直結する高速道が存在する県で特にその傾向が強い ・ 一都二県から鉄道利用の割合が比較的多いが、新幹線ではよりも在来線経由が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ エリア内に空港・新幹線等の交通拠点がなく、エリア外（仙台市・福島市・郡山市・いわき市）の交通拠点からの、あるいは首都圏等からのバスや乗用車等が主要なアクセス手段となっている可能性
	訪問時期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 首都圏・中部は夏期、北海道は春期に訪問割合が増加（西日本からは季節に関係なく訪問者少ない） ・ 性年代での訪問時期の差異はあまり見られず ・ 1-2月は年間でも最も訪問が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関東：夏期の研修旅行（スポーツ関連、合宿）、登山（安達太良山）、避暑等
	性年代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女比が6:4、年代別では40代以上が多く（最多は60代）、20代・30代の訪問割合が低い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修施設等を除き、比較的若年世代を対象とした観光資源が少ない
域内周遊	周遊・滞在	<p>域内各市町村を横断した移動はあまりない 12市町村周遊の拠点は南相馬市であり、富岡以南や浪江へ、あるいは飯館から西側への周遊が多い</p>	
	域内交通		<ul style="list-style-type: none"> ・ 常磐線が富岡-浪江間で不通（バス代行運行） ・ 域内各市町村を周遊できる手段（路線バス等）が一部のみ、上記域外の交通拠点とのバス路線が中心 ・ バス情報や交通手段に関する情報は自治体や交通事業者によりバラバラ
	主要観光資源	<p>あぶくま洞（田村市）が主要な観光資源 相双地域10市町村側では、特に滞在の多い観光施設がない 道の駅やサービスエリア等での滞在が多い 市役所・役場、体育館・スポーツ施設等での滞在が多い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7月末開催「相馬野馬追」が最大のイベント ・ 「あぶくま洞」を除く知名度の高い観光資源の不在 ・ 震災以前は夏期の海水浴等が主要な観光資源であったが、現在は低迷
	宿泊施設	<p>夜間時間帯での滞在・宿泊は市街地中心部や主要動沿線に集中</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12市町村内に外資系ホテルや全国展開するホテルチェーン等がほぼ無い ・ 南相馬市原町地区にビジネスホテル等が集積、湾岸に研修施設等も散在（復興作業目的での滞在中）
域外滞在		<ul style="list-style-type: none"> ・ いわき市、仙台市、郡山市、福島市4市が前後の立寄り、宿泊が多い ・ 立寄り地点を見ると、駅周辺の滞在の他、リゾート・温泉エリアへの滞在も見られ、12市町村への訪問と一体となった観光目的での訪問の可能性を示唆する 	

3.2 調査・分析の結果に関する考察

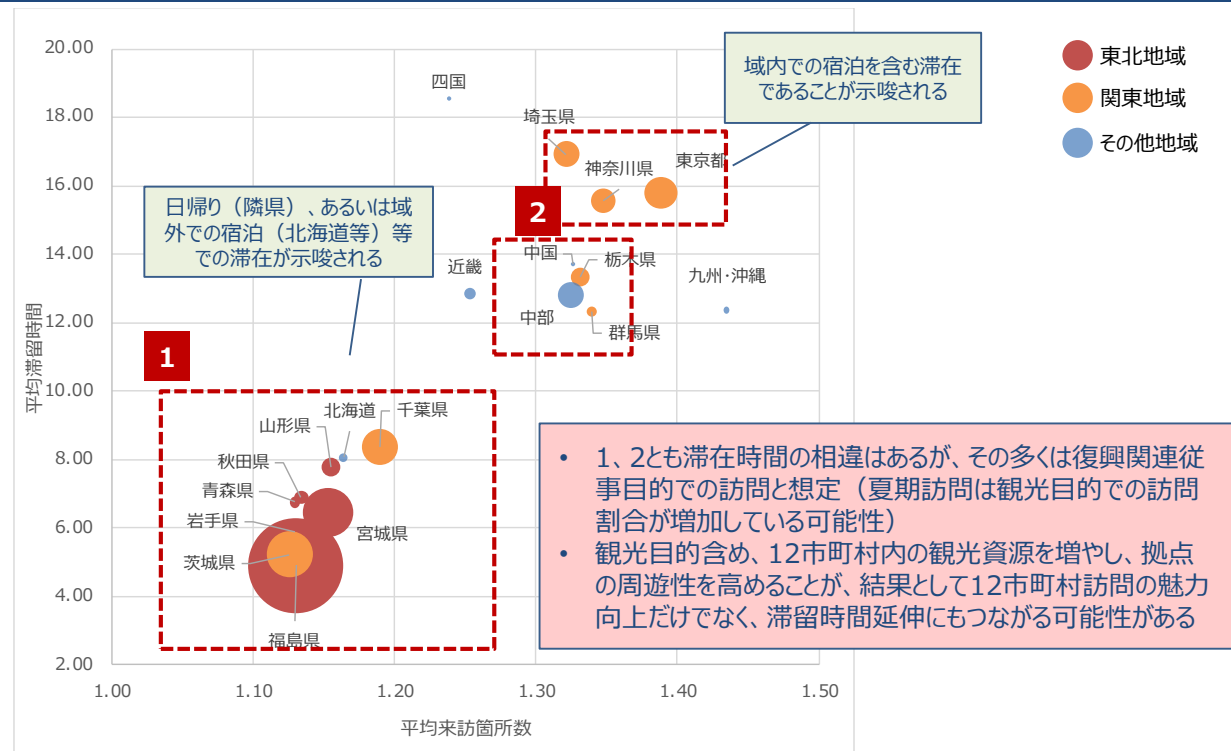
3.2.1 来訪者に関する考察

① 来訪者の居住地における来訪箇所数と滞留時間との関係

- 平均滞留時間、平均来訪箇所数が他地域に比べて低いグループとして、東北各県、茨城県、千葉県
- 東京都、神奈川県、埼玉県は平均滞留時間が長い傾向となり、滞在タイプが福島県及び隣県と非隣都県とで大きく異なる結果となった

平均滞留時間×平均来訪箇所数（発地別） ※円の大きさは来訪者数を表す

	来訪者数	平均来訪箇所数	平均滞留時間 (h:mm)	
東北	青森県	107	1.13	6:45
	秋田県	163	1.13	6:53
	岩手県	221	1.13	5:52
	山形県	306	1.15	7:46
	宮城県	2,255	1.15	6:28
	福島県	8,130	1.13	4:55
関東	千葉県	1,125	1.19	8:23
	茨城県	1,878	1.13	5:14
	栃木県	302	1.33	13:21
	群馬県	109	1.34	12:20
	埼玉県	625	1.32	16:56
	東京都	972	1.39	15:48
	神奈川県	532	1.35	15:35
北海道	65	1.16	8:04	
中部	616	1.32	12:49	
近畿	115	1.25	12:51	
中国	26	1.33	13:43	
四国	17	1.24	18:34	
九州・沖縄	39	1.43	12:22	



- 1、2とも滞在時間の相違はあるが、その多くは復興関連従事目的での訪問と想定（夏期訪問は観光目的での訪問割合が増加している可能性）
- 観光目的を含め、12市町村内の観光資源を増やし、拠点の周遊性を高めることが、結果として12市町村訪問の魅力向上だけでなく、滞留時間延伸にもつながる可能性がある

※集計対象者：指定した50観光スポットへ1箇所以上来訪したユーザー

※平均来訪箇所数 = 指定した50施設の平均来訪箇所数 ※平均滞留時間 = 対象エリア内に入った時間と出た時間の差分

出所：「KDDI×コロプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

3.2 調査・分析の結果に関する考察

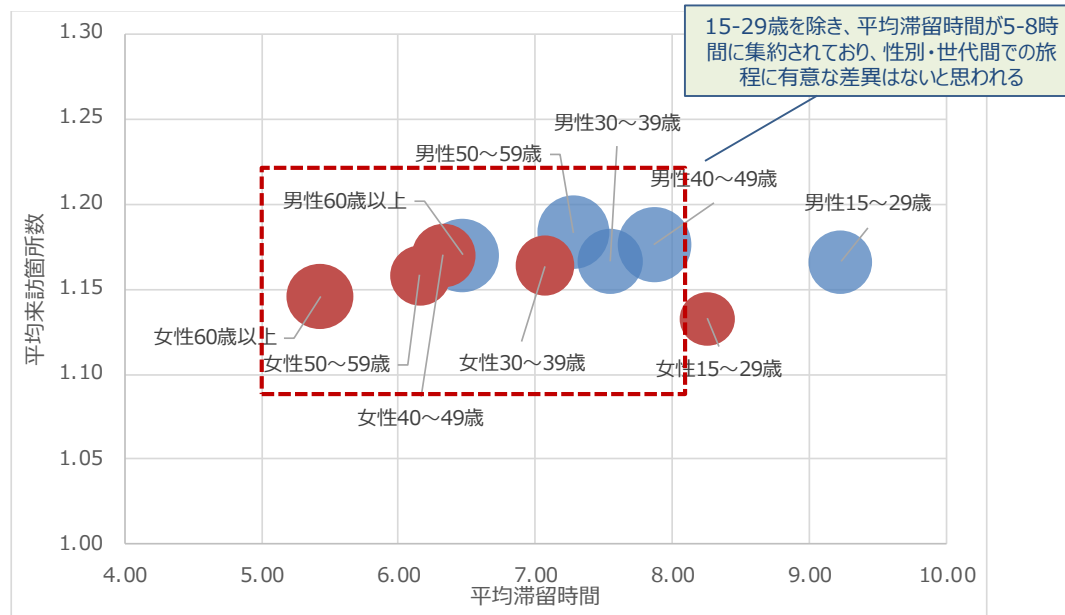
3.2.1 来訪者に関する考察

② 来訪者の性年代別における平均来訪箇所数と滞在時間との関係

- 平均来訪箇所数には大きな差異は見られないが、男性よりも女性のほうが平均して滞在時間が1時間程度短い結果となった
- 男女とも総じて年代が高くなるほど滞在時間が短くなり、15-29歳の男女はそれぞれ滞在時間が同性では最も長い

平均滞在時間×平均来訪箇所数（性年代別） ※円の大きさは来訪者数を表す

	来訪者数	平均来訪箇所数	平均滞在時間 (h:mm)	
全体	17,605	1.17	6:59	
男性	10,067	1.17	7:22	
女性	7,538	1.16	6:19	
男性	15~29歳	1,659	1.17	9:14
	30~39歳	1,747	1.17	7:33
	40~49歳	2,276	1.18	7:52
	50~59歳	2,172	1.18	7:17
	60歳以上	2,214	1.17	6:28
	女性	15~29歳	1,187	1.13
30~39歳		1,434	1.16	7:04
40~49歳		1,648	1.17	6:20
50~59歳		1,477	1.16	6:09
60歳以上		1,792	1.15	5:26



※集計対象者：指定した50観光スポットへ1箇所以上来訪したユーザー

※平均来訪箇所数 = 指定した50施設の平均来訪箇所数 ※平均滞在時間 = 対象エリア内に入った時間と出た時間の差分

出所：「KDDI×コロプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

3.2 調査・分析の結果に関する考察

3.2.1 来訪者に関する考察

③ 訪問者の交通アクセスに関する特徴

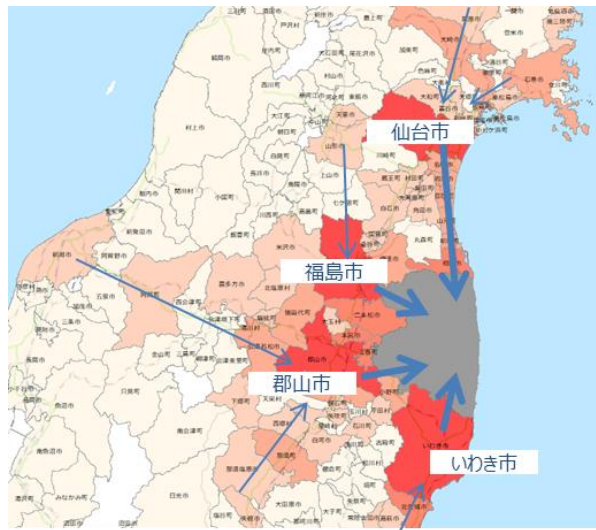
- 居住都道府県別の内訳は、福島県内からの訪問者が半数を超え、隣県である宮城、茨城県で7割超、一都三県を加えると8割超となる
- また12市町村への来訪前後の立寄り市町村は、**いわき市、郡山市、仙台市、福島市**の順、また**高速道路（常磐道・磐越道）、鉄道（新幹線・常磐線）**を経由したと思われるルートからの訪問傾向が確認される
 - 福島県内や近隣県（宮城・山形・新潟・茨城・栃木）からのアクセスは高速道路や主要道路等を経由しての訪問と推測される
 - 東京都、神奈川県、埼玉県からは近隣県に比べ鉄道割合が高く相双地域に、東北新幹線郡山駅、仙台駅、福島駅等から高速バス・常磐線等に乘換え訪問していると推測される
 - その他近畿圏からの訪問で在来線での割合が高いのも特徴（近隣エリアまでの空港・隣接鉄道駅を経由しての乗入れと推測）

訪問者居住都道府県

順位	都道府県名	年間	
		n	%
1	福島県	20,216	54.2%
2	宮城県	5,166	13.9%
3	茨城県	2,896	7.8%
4	千葉県	1,660	4.5%
5	東京都	1,565	4.2%
6	埼玉県	1,099	2.9%
7	神奈川県	875	2.3%
8	栃木県	649	1.7%
9	山形県	561	1.5%
10	新潟県	499	1.3%
-	その他	2,086	5.6%
-	合計	37,271	100.0%

近隣6県、一都三県で訪問者全体の95%以上を構成

12市町村への主なアクセス拠点



東北・関東地域からの乗入れ交通手段

no	経路名	全体		発地別（地域）									
		n	%	北海道		東北		関東		中部		近畿	
1	新幹線利用有	613	1.6%	****	****	84	0.3%	449	5.0%	****	****	****	****
2	新幹線利用無（在来線）	5,191	13.9%	39	19.7%	4,011	14.9%	977	11.0%	96	9.9%	48	23.6%
3	高速道路利用有	16,599	44.5%	123	62.1%	8,956	33.4%	6,601	74.1%	730	75.2%	111	54.6%
4	高速道路利用無	14,312	38.4%	29	14.4%	13,324	49.6%	824	9.2%	93	9.6%	22	10.7%
	不明	556	1.5%	****	****	471	1.8%	63	0.7%	****	****	****	****
	合計	37,271	100.0%	199	100.0%	26,847	100.0%	8,914	100.0%	971	100.0%	204	100.0%

no	経路名	全体		発地別（関東）													
		n	%	千葉県		茨城県		栃木県		群馬県		埼玉県		東京都		神奈川県	
1	新幹線利用有	449	5.0%	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****	
2	新幹線利用無（在来線）	977	11.0%	140	8.4%	244	8.4%	38	5.8%	15	8.9%	116	10.5%	280	17.9%	145	16.5%
3	高速道路利用有	6,601	74.1%	1,367	82.4%	2,287	79.0%	497	76.6%	125	73.5%	797	72.6%	956	61.1%	572	65.3%
4	高速道路利用無	824	9.2%	107	6.5%	324	11.2%	94	14.6%	20	11.6%	****	8.3%	****	****	****	****
	不明	63	0.7%	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****
	合計	8,914	100.0%	1,660	100.0%	2,896	100.0%	649	100.0%	170	100.0%	1,099	100.0%	1,565	100.0%	875	100.0%

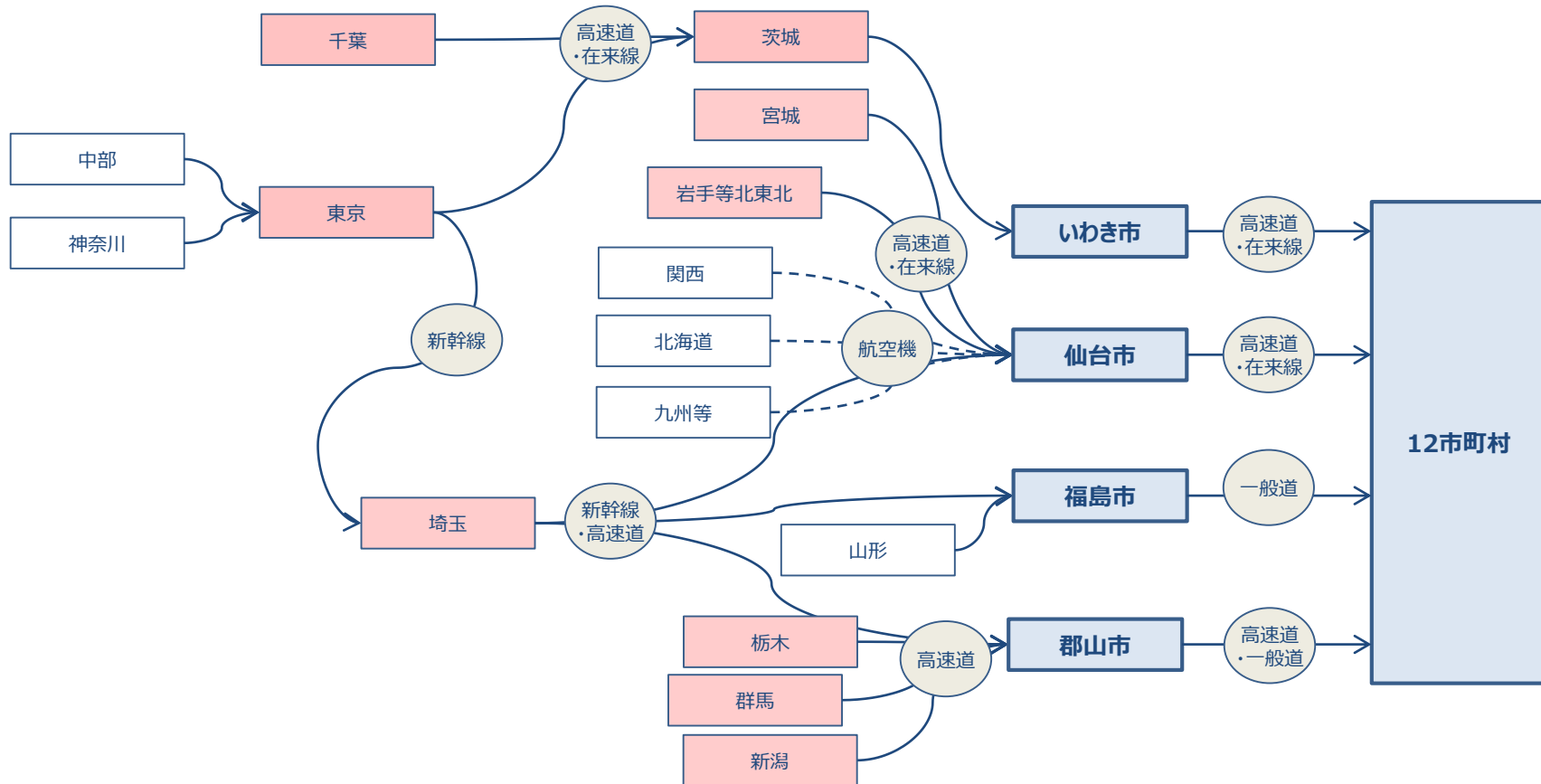
出所：「KDDI×コロプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

3.2 調査・分析の結果に関する考察

3.2.1 来訪者に関する考察

③ 訪問者の交通アクセスに関する特徴

- 居住地別の滞在分析結果をもとに、各地方・都道府県からの想定されるアクセス経路及び交通手段について下図のように整理した
 - 各都道府県・地方からのアクセスの多くは、いわき市・仙台市・郡山市・福島市4市を經由して12市町村とつながっていると想定される



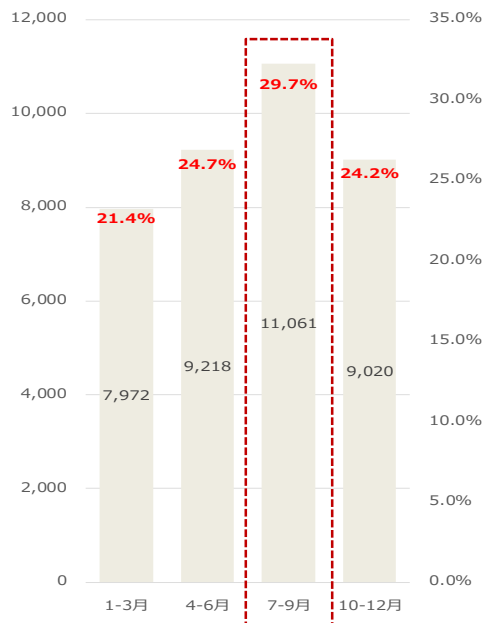
3.2 調査・分析の結果に関する考察

3.2.2 来訪時期に関する考察

① 訪問時期による特徴

- 全体では7-9月での訪問が全体の3割強程度と最も多く、逆に冬季期間での訪問は2割強程度と交流人口の季節性による変動が見られる
 - 関東や中部（参考値として九州地域）からは夏期期間の訪問割合が高く、北海道からは春期での訪問割合が高いのが特徴
 - 近畿以西では季節による大きな変動等は見られない
- 年間行事・イベントを確認すると、7月末に行われる相馬野馬追が12市町村最大のイベントであり、大手旅行会社の同地域への催行ツアー商品数も7月期に集中する

四半期ごと訪問者数



地域別四半期ごと訪問者数

順位	地域名	年間		四半期別							
		n	%	1-3月		4-6月		7-9月		10-12月	
1	東北	26,847	72.0%	6,230	78.1%	6,675	72.4%	7,394	66.8%	6,548	72.6%
2	関東	8,914	23.9%	1,442	18.1%	2,138	23.2%	3,223	29.1%	2,110	23.4%
3	中部	971	2.6%	180	2.3%	259	2.8%	299	2.7%	234	2.6%
4	近畿	204	0.5%	48	0.6%	48	0.5%	57	0.5%	50	0.6%
5	北海道	199	0.5%	44	0.6%	66	0.7%	45	0.4%	43	0.5%
6	九州・沖縄	64	0.2%	15	0.2%	13	0.1%	20	0.2%	16	0.2%
7	中国	46	0.1%	****	****	****	****	****	****	****	****
8	四国	29	0.1%	****	****	****	****	****	****	****	****
-	合計	37,271	100.0%	7,972	100.0%	9,218	100.0%	11,061	100.0%	9,020	100.0%

発地地域における年間訪問割合

発地地域	年間訪問割合			
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
東北	23.2%	24.9%	27.5%	24.4%
関東	16.2%	24.0%	36.2%	23.7%
中部	18.5%	26.6%	30.8%	24.1%
近畿	23.6%	23.8%	27.3%	24.8%
北海道	22.2%	33.4%	22.6%	21.9%
九州・沖縄	22.9%	21.2%	31.2%	24.7%
中国				
四国				

主な行事・イベント

期間	主な行事・イベント	旅行商品数*
4月-6月		15件
7月-9月	<ul style="list-style-type: none"> ● 相馬野馬追（7月） ● 川俣シャモ祭り（8月） 	23件（7-8月のみ）
10月-12月	<ul style="list-style-type: none"> ● 野馬追振興春季競馬大会（10月） ● 十日市祭（11月） 	0件
1月-3月	<ul style="list-style-type: none"> ● 東日本大震災発災日（3月11日） 	0件

*旅行検索サイト「トラベルコ」での3月15日時点掲載データをもとにみずほ情報総研にて集計



<https://www.nippon.com/ja/ncommon/contents/guide-to-japan/7191/7191.jpg>

出所：「KDDI×コプラ Location Trends」調査資料をもとにみずほ情報総研作成

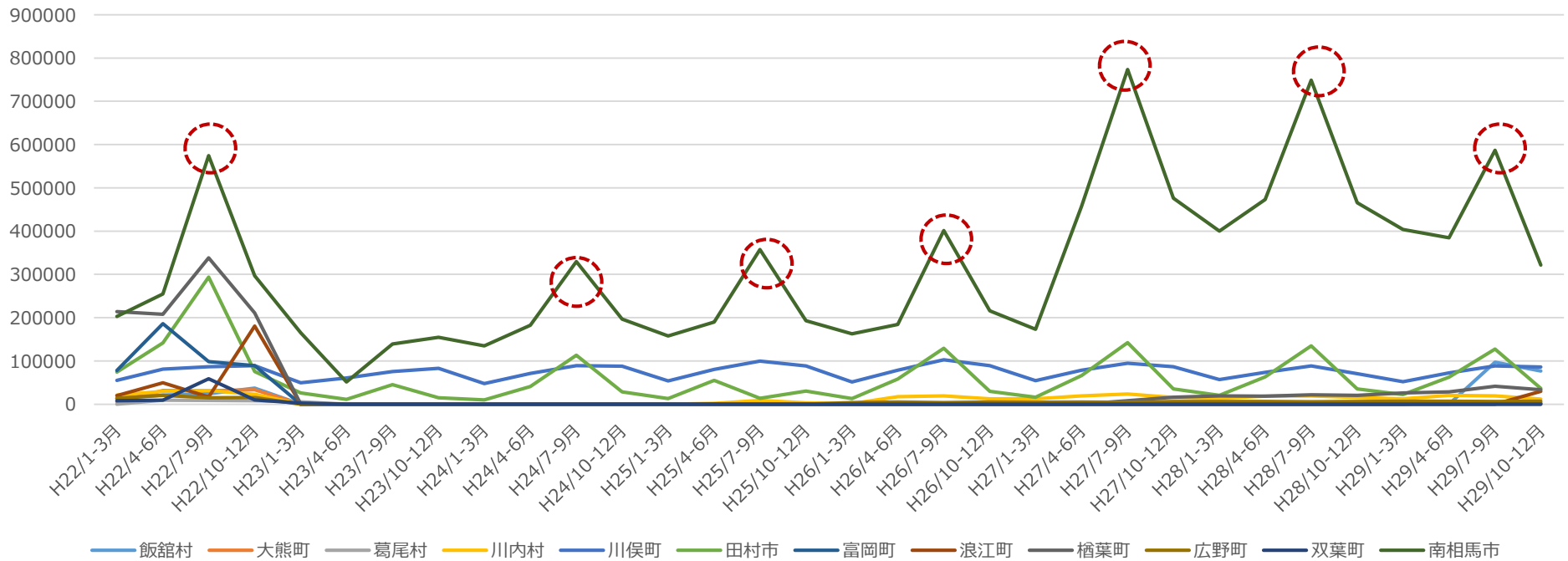
3.2 調査・分析の結果に関する考察

3.2.2 来訪時期に関する考察

② 福島県内入込状況調査における四半期ごと入込状況の確認

- 入込観光客数の状況からも、7-9月期での訪問客が特出して多いこと、逆に1-3月期での訪問が少ないことが分かる
 - 南相馬市、田村市ではその傾向が特に顕著であり、川俣町でなだらかながらもその傾向が確認できる

H22年以降の市町村別の四半期別観光入込客数の推移（絶対数）



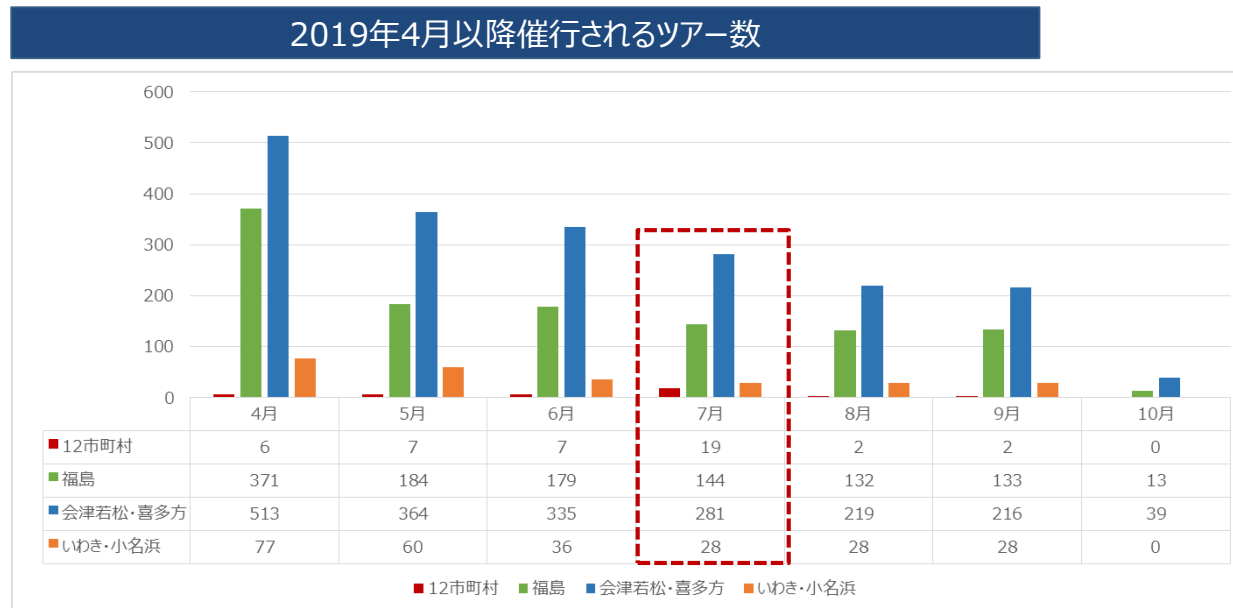
出所：福島県「福島県観光客入込状況平成29年分」等をもとにみずほ情報総研にて作成

3.2 調査・分析の結果に関する考察

3.2.2 来訪時期に関する考察

③ 訪問時期による特徴（12市町村及び福島県他圏域訪問旅行ツアー数の比較）

- ツアー旅行催行予定数から、7月が12市町村への訪問を含むツアーが多く、夏期間が同地域での観光シーズンであることが分かる
- ただし、県内他地域に比べると全体的に取扱ツアー数に大きな差があり、観光予定者の12市町村への訪問機会は多くない



出所：旅行検索サイト「トラベルコ」国内ツアー検索結果を元にみずほ情報総研にて作成

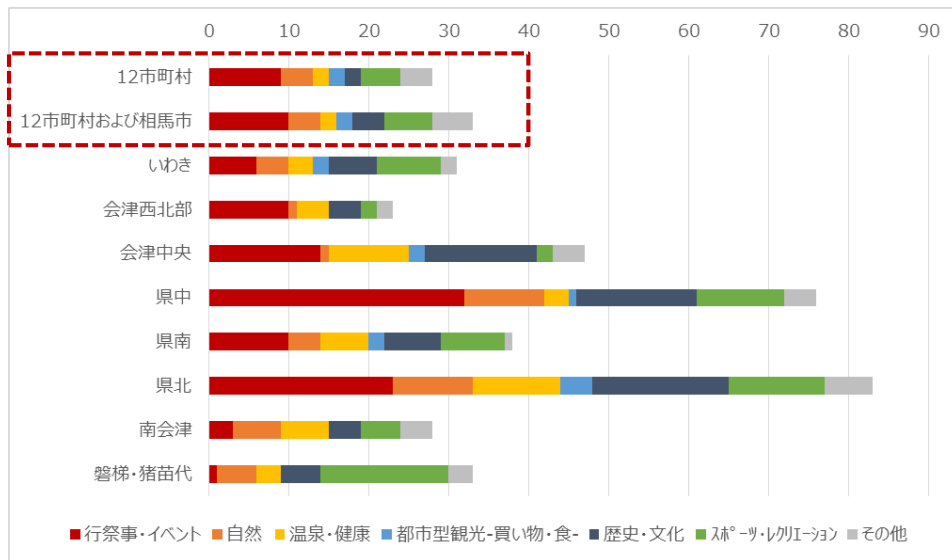
3.2 調査・分析の結果に関する考察

3.2.3 12市町村の滞在・周遊に関する考察

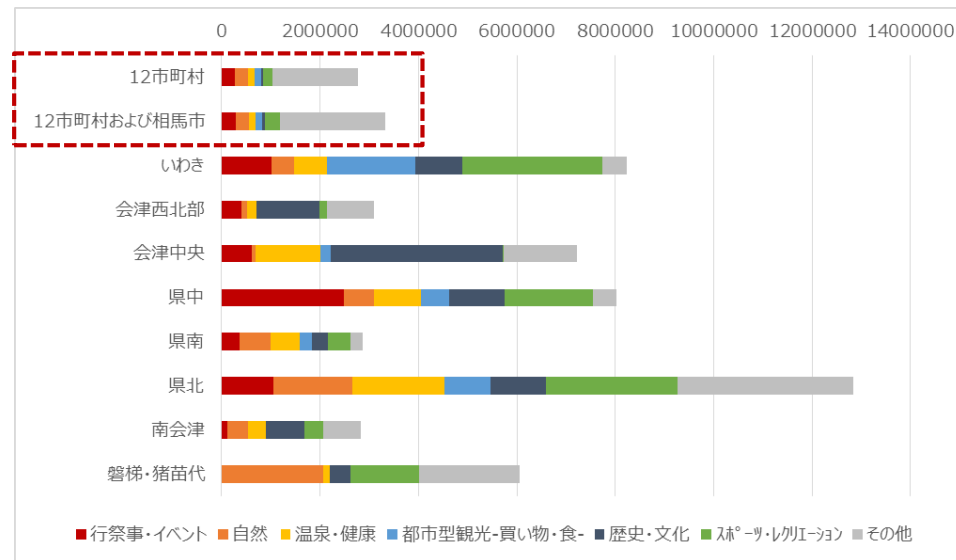
① 福島県内入込状況調査における県内他地域との比較

- 12市町村（及び相馬市）への入込状況は、いわき圏域に比べ拠点数に差異はないが、入込客数には2.5倍近い差異がある
- 他圏域に比べると道の駅や関連商業施設からなる「その他」が多く、「行祭事・イベント」や「歴史・文化」、「スポーツ・レクリエーション」等での入込客数が極端に少ないのが特徴である
- 位置データによる調査・分析でも明らかになったように、ビジネス目的・関連施設などへの滞在を除いた訪問者の滞在が多いスポットは、「あぶくま洞周辺（星の村天文台等を含む）」、その他道の駅（「セデツテকাশマ」や「道の駅かわうち」）等に絞られ、結果として観光目的での訪問者の割合が少ない、あるいは滞在時間が短い（12市町村だからこそ訪れる価値のある観光資源が少なく域外に出てしまう）といった結果に

福島県内の地域別入込状況の比較（拠点数）



福島県内の地域別入込状況の比較（入込客数）



出所：福島県「平成29年度観光入込状況」を元にみずほ情報総研にて作成

3.2 調査・分析の結果に関する考察

3.2.4 想定される12市町村訪問・交流人口の内容

想定される訪問目的・内容やその特徴の整理

- 想定される訪問目的を「ビジネス」と「観光」に大別し、それぞれの特徴と想定される交流人口の規模を<大・中・小>で整理
 - 旅程や滞在地等から、比較的長期（2泊以上6泊未満）滞在者の多くはビジネス目的での滞在だと想定される

	ビジネス等目的での訪問・滞在・交流		観光目的での訪問・滞在・交流	近隣市町村からの訪問
推測される規模	交流人口の一定割合を占める		少ない	最も多い
訪問時期	・ 季節に依存しない	・ 季節に依存しない	・ 季節に依存、7-9月期（祭りや夏期開催のイベント等との連動性高い）	・ 季節に依存しない
旅程	・ 数日間滞在することが多い	・ 日帰り、用件を済ますと居住地域に戻る	・ 数日間滞在が多い	・ 日帰りがほとんど
宿泊の有無	・ 12市町村内の宿泊施設（ホテル・寮など）	・ 宿泊しない	・ 宿泊する、ただし12市町村外（温泉・リゾート、都市部等）	・ 宿泊しない
域内の周遊	・ 宿泊施設と従事する施設間を中心に周遊（複数市町村にまたがる場合あり）	・ 従事する施設を中心に滞在、周遊はない		・ 道の駅・商業エリア、施設間のみ周遊
主な滞在エリア	・ 大熊町、双葉町、浪江町、広野町、富岡町、南相馬市	・ 大熊町、双葉町、浪江町、広野町、富岡町、南相馬市	・ 田村市、川俣町、南相馬市、楡葉町	・ 南相馬市、田村市、川俣町
主な発地都道府県	・ 首都圏、近隣県以外	・ 福島県内、福島隣接県、千葉県	・ 首都圏、近隣県	・ 近隣市町村（相馬市、郡山市、二本松市等）
想定される訪問・滞在目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市役所や町村役場、復興庁分局等の行政施設 ・ 発電所関連施設 ・ その他企業施設、工場など 		<ul style="list-style-type: none"> ・ あぶくま洞 ・ 天神岬スポーツ公園・J-ヴィレッジ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道の駅 ・ 商業施設

4. 重点施策の提案

4.1 交流人口拡大に向けた方向性の検討

4.1.1 12市町村が置かれている環境認識

次のフェーズへの準備（復興から交流人口拡大に向けたステップ）

- 福島県「観光入込状況」等からは、当時避難指示区域であった自治体を除き、12市町村の約半数で震災前の状況以上に回復している状況
- ただし国内に置ける観光客数の伸び、インバウンド訪問客数の推移に比べると、12市町村における伸びが弱いのは事実
- 一方で、今回の調査でも示唆されるように、交流人口の実態は、その大半が復興作業への従事等含めビジネス目的のものであり、生活環境の回復が一段落した時点で、その交流人口の消失の可能性がある
- 以降は、現在の環境・状況を認識しつつ、引き続き12市町村での交流人口を維持・拡大していくための環境整備に関わる提案をベースとする

【基本的な考え方】

			避難指示区域の解除	復興住民の生活環境の回復	交流人口拡大のための環境整備
交流人口の訪問の目的	ビジネス目的 (復興従事含む)	<ul style="list-style-type: none"> 復興作業への従事等、当面は引き続き訪問・滞在需要は継続 受入環境（宿泊・飲食・消費等）は整備 	回復の支援として交流	回復の支援として交流	一定規模の交流の維持
	観光など目的	<ul style="list-style-type: none"> 時期的な変化はあるものの、研修等も含めて非常に少ない需要 新たに需要を喚起するための取組みが不可欠 	-	徐々に回復	積極的に受入れ

以降はこの段階にあることを前提に提案するもの

4.1 交流人口拡大に向けた方向性の検討

4.1.2 12市町村交流人口拡大に向けた基本的な方向性（案）

観光目的等の訪問意欲向上、訪問地としての認知向上に向けた提案

- 今回の調査では、訪問者の滞在・周遊と強くリンクする観光資源が少ないこと、滞在拠点、滞在時間が少なかったこと、及び首都圏等からの訪問が少なかったことを受け、訪問・滞在する魅力づくり、環境整備、および認知度向上といった観点から以下提案した

1. 12市町村独自のテーマ・魅力を持った商品造成

- ① **12市町村オリジナルのテーマに沿った既存観光資源の再整理、あるいは新規観光資源の開発**
 - ホープツーリズム（震災遺構・原発対応関連）
 - スポーツツーリズム：J-ヴァレッジ、みちのく潮風トレイル、ツール・ド・かつらおといった施設やイベントとの連動
 - イノベーション・コースト関連：ドローン、ロボット等実証実験環境等
 - 伝統・文化：相馬野馬追に関連する武芸や工芸、相馬文化
 - 既存観光資源を観光拠点とした周遊商品：あぶくま洞、ムシムシランド
- ② **12市町村で完結しないより広域での商品開発**
 - いわき、仙台、郡山、福島等の4都市との連携
 - 他復興地域（名取・石巻・三陸）等との連携、歴史的な関係のある水戸等との連携

2. 域内外での交通利便性の向上、受入環境整備

- ③ **1次交通拠点を經由しての12市町村内への乗入れ、周遊環境の整備**
 - 交通拠点であるいわき、仙台、郡山、福島等への一次交通、二次交通・域内交通拠点（原ノ町駅周辺等）それぞれをシームレスにつなげるしくみ：12市町村版MaaS
 - 市街地間だけでなく、山間部との交通アクセス手段の補完：ライドシェアリング等
 - ビジネス客以外の利用を想定した宿泊施設の整備：民泊、農家民宿施設等の整備
- ④ **交通アクセスや宿泊・他滞在に関わる情報・データの統合、オープンデータ化**
 - 訪問者・訪問予定者の域内周遊を支援する情報提供

3. 未訪問層への認知拡大、訪問意欲喚起のための情報発信

- ⑤ **ターゲットを絞った情報発信戦略の検討、商品開発**
 - 首都圏をターゲットとした情報発信戦略：「来てもらう」をテーマとした情報発信、特に夏期訪問客の拡大（相馬野馬追や夏のイベント等との連携）
 - 若年層をターゲットとした販促戦略：1-④「伝統・文化」等テーマに連動したターゲット層向けPRの実施
- ⑥ **「知ってもらう」から、弱い関わりを持ってもらうためのしくみ**
 - 近隣県以外では（首都圏を含め）、訪問地としての12市町村への認知が低いことが問題、12市町村の復興状況、観光、産業、伝統に関する情報発信
 - 動画配信だけでなく、VR/XR等による現地訪問の仮想体験や、ホープツーリズムの追体験等による学習も

4.2 交流人口拡大に向けたテーマ別実施イメージ例

4.2.1 12市町村ならではのテーマを持った商品造成

- 震災を経て以前あったと思われる旅行商品群（自然等をテーマとした）が形成不可能に。新たなテーマの設定のもとに商品造成を図る
- 今あるのは伝統（武士・野馬追）、震災（原発・復興関連）、スポーツ、体験・研修
- 一大観光地のように巨大な商品は造れない、むしろ細かいテーマを設定し、発地から直接送客できる手段（高速バス等）、滞在手段（民泊等）の開発・組合せによる商品造成をはかる

ホープツーリズム

Real Fukushima

20件の口コミ | 1位：南相馬市の観光スポット18軒中

ツアー、観光ツアー

- Real Fukushimaでは、主にインバウンド向けに原発関連施設への訪問ツアー等を実施
- 福島県観光物産交流協会では、原発関連施設への訪問だけでなく、農村体験やスポーツ交流、水産、里山体験等多岐にわたるテーマでのモニターツアー等を開始

ふくしま 浜通り・あぶくま
発見の体感モニターツアー
参加者募集

平成30年度復興旅行事業
ふくしまの暮らしと文化を体験できる4つのルート・全10コース

A 農村体験と郷土料理
B スポーツ&アブクマファンティアと地域交流
C 福島の海の魅力と浜通りの今
D 結でつながり丁寧に暮らす里山の体験

宿泊滞在型 交流体験の旅へ出かけませんか？

- J-ヴィレッジが震災復興のシンボルとなっているが、葛尾村では公道サイクリングの聖地となっており、年二回「ツール・ド・かつらお」が開催されている
- こうしたスポーツと関連イベント、滞在をキーとした商品開発



スポーツツーリズム

- 福島観光物産交流協会では、福島ロボットテストフィールドやエネルギー環境フィールド施設見学などを組合せたツアーを開始
- 見学だけでなく、ドローン飛行への参加、体験等の他、DX等テーマとしてビジネスマッチング機会等を提供

民間ではドローン実証だけでなく、パイロット育成イベント等を実施しており、そのフィールド提供等も

PROパイロット 技能認定会



インバウンド 関連



- 鎌倉開府以前から続く野馬追を維持する伝統文化に触れる、あるいは体験するだけでなく、近隣の武家文化・歴史に関連する地域等とも連携して、広域な歴史体験など
- 祭事開催時期だけでなく、祭りを支える技術・産業や伝統文化等にふれるツアー等

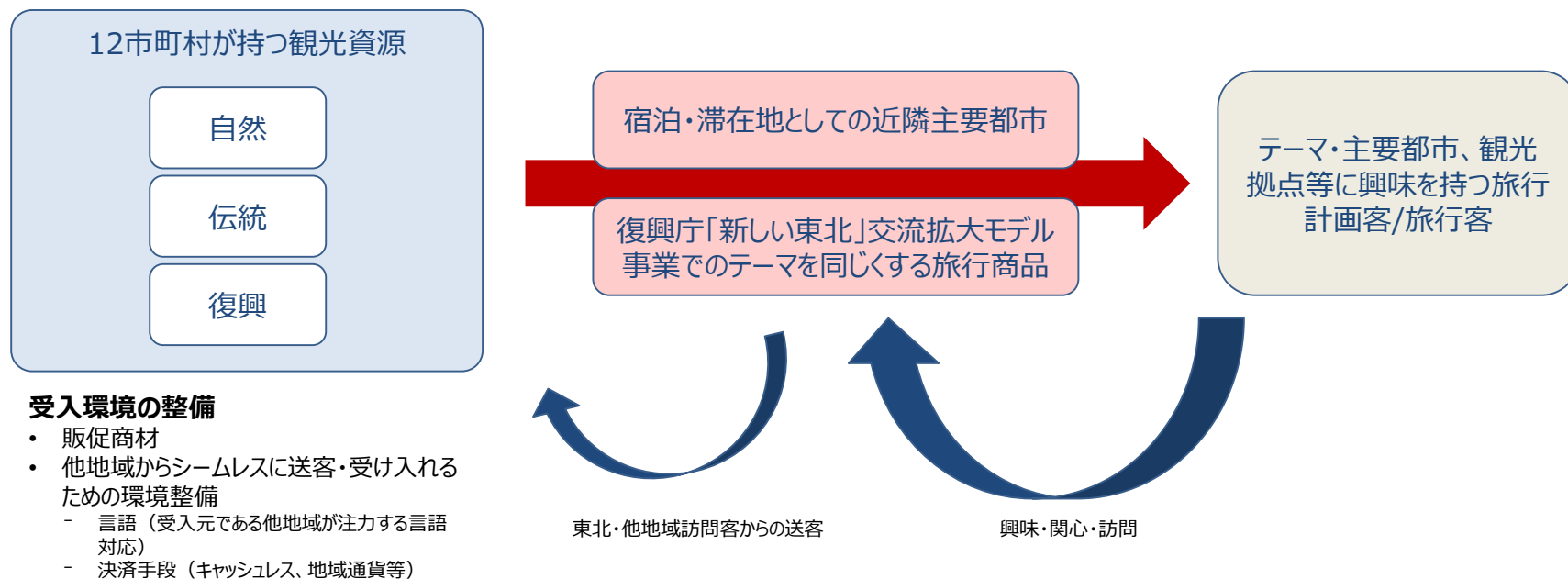


伝統・文化

4.2 交流人口拡大に向けたテーマ別実施イメージ例

4.2.2 12市町村で完結しない、より広域での商品開発

- 本事業では、12市町村への訪問の前後で、いわき市、仙台市、郡山市、福島市の4市との立寄り、滞在・宿泊が一定数存在することを確認しており、4市を拠点に観光等で訪れる旅行者に対して、日帰り、立寄り先としての12市町村をアピールする
- 復興庁「新しい東北」交流拡大モデル事業では、東北への外国人旅行者の誘客を促進するための新しいビジネスモデルの立ち上げを通じ、東北地方での観光振興の支援を行っている。12市町村では、津波被災地域や原発事故による風評被害の大きい地域での取り組みとなる地域型の事業を展開しているが、東北各地域単位で行っている「広域型」事業との連携によって、より多くの東北訪問旅行者層とのチャネル構築、誘客を図る



4.2 交流人口拡大に向けたテーマ別実施イメージ例

4.2.2 12市町村で完結しない、より広域での商品開発

ご参考：ダイヤモンドルートジャパン

ダイヤモンドルートの策定



福島単県での国別施策に着手したが、その後テーマ別施策に拡大。ターゲット国選定、テーマ選定など、費用対効果を考慮したマーケティング施策を実行している。福島単県の強みは少なかった為、単県で施策推進する一方で、近隣の茨城県、栃木県と広域周遊プロモーションで提携、共に協力し「ダイヤモンドルートジャパン」を設立。



栃木県
日光東照宮



茨城県
ひたち海浜公園



福島県
会津スキーエリア

東京に一極集中している訪日外国人を、福島に呼び込みたいと着想。

世界遺産“日光”のある栃木県、“花の名所”を持つ茨城県は共に東京からの日帰客が多く、宿泊客が少ないという同じ課題を抱えていたが、元々、ベトナムチャーター便が茨城県と東京をからめるルート観光を実施しており、タッグ

を組めば宿泊を伴う周遊型の観光商品を提供できるのではないかと考え、「ダイヤモンドルートジャパン」と命名し、3県で協力。

名前の由来は…

- ①東京を起点としたダイヤモンド型の導線となる。
- ②ベトナムではゴールドよりダイヤモンドに価値がある。

4.2 交流人口拡大に向けたテーマ別実施イメージ例

4.2.2 12市町村で完結しない、より広域での商品開発

参考：復興庁「新しい東北」交流拡大モデル採択事業から連携可能なテーマを保有する事業（抜粋）

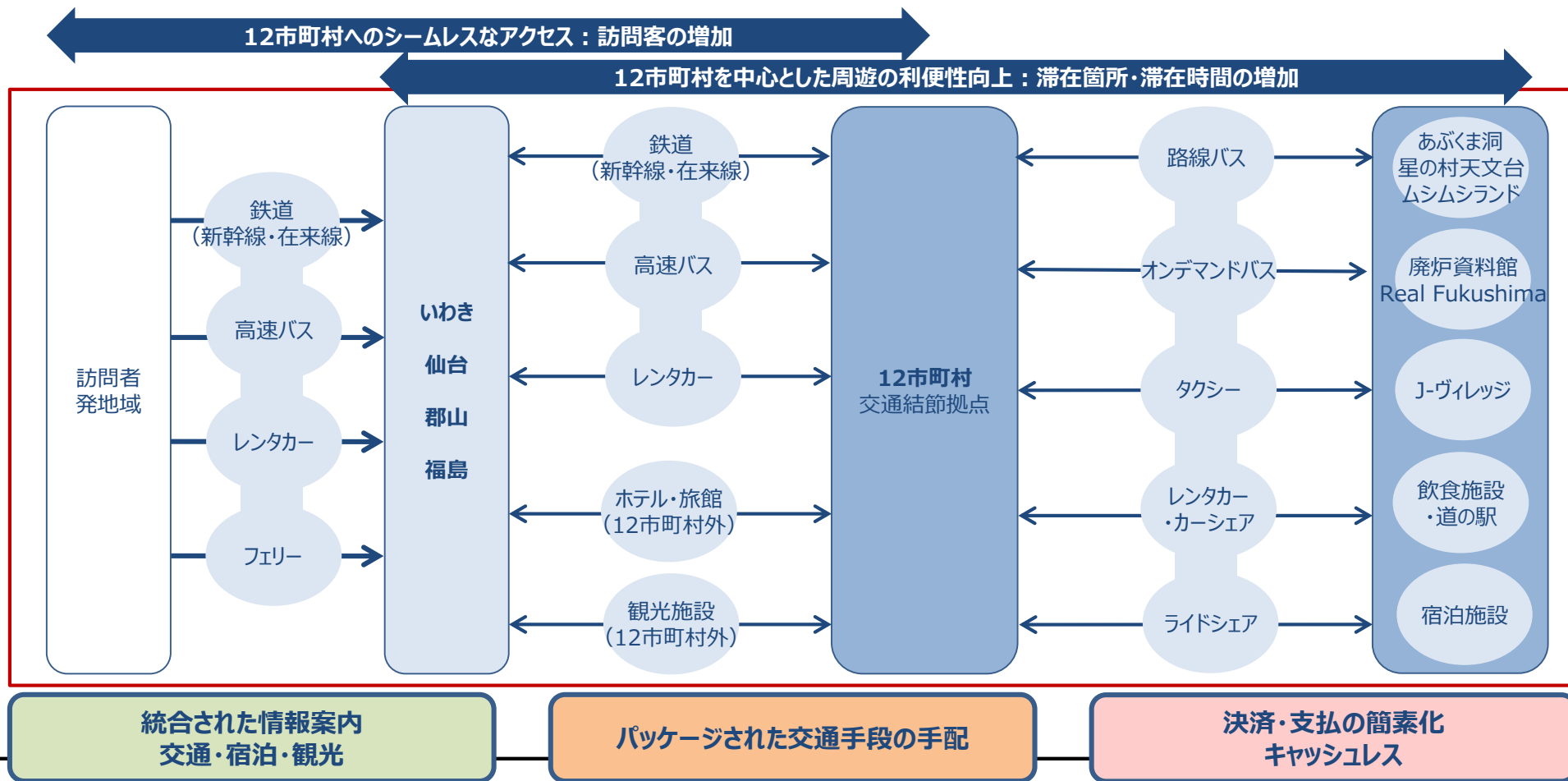
実施年度	実施主体	事業名（個別明細）	実施内容分類	実施内容	ターゲット	含まれる内容
2018年度	株式会社JTB	東北エデュケーションプロジェクト	交流人口拡大	東南アジアの旅行代理店・教育機関や東北の大学等と連携して、東北への留学生の増加等も含め、教育を目的とする東北の外国人交流人口拡大を進める。	インバウンド（FIT） インドネシア/マレーシア/オーストラリア等	自然景観、文化（伝統、歴史等）、再生エネルギー事業
2018年度	株式会社KADOKAWA	Date(伊達) Otaku Experience	交流人口拡大	伊達氏を江戸時代の「東日本最大級の貴族」と捉え直した商品造成・販売等を行い、海外のオタク層や「オタク・ブチセブ」を取り込む。	インバウンド（FIT） 中国/台湾/香港等	文化（伝統技術、侍、茶道）、グルメ（和牛、日本酒、海鮮）
2017年度	株式会社NTTドコモ	「武士道/TOHOKU SAMURAI SPIRITS」サムライ魂の聖地ブランド化	交流人口拡大	欧米市場で人気のある「武士道/SAMURAI」を体感できるプログラムを東北の各地で造成・販売し、ターゲットを明確化したPRを行うことで、欧米市場における東北の認知度向上や販路形成を図る。	インバウンド（FIT） イギリス/ドイツ/スペイン	文化（侍）
2017年度	株式会社JTB	東北における訪日外国人の周遊観光促進に向けたバス路線の活用	交流人口拡大	高速バスを活用して、魅力的な周遊ルートを通る価格訴求型のランドパッケージを造成・販売。あわせて一般路線バスの乗継情報を形態電話で提供し、主にFITを対象に二次交通の改善モデルを構築	インバウンド（FIT） タイ/マレーシア/シンガポール/インドネシア等	自然景観、文化（伝統、歴史等）
2017年度	株式会社近畿日本ツーリスト	東北TOMODACHIプロジェクト－東北を個人旅行（FIT）の聖地に－	交流人口拡大	民泊（ホームステイ）等の「特別な体験プログラム」を組み込んだ個人向け旅行商品の企画造成及び販売を行い、バス及びタクシー等の二次交通と組み合わせた商品の提供を行う。	インバウンド（FIT） タイ/インドネシア等	宿泊施設（民泊/ホームステイ）
2017年度	株式会社パソナ	中国・台湾・アメリカ向け訪日教育プログラムの展開	交流人口拡大	「訪日教育プログラム」の造成・販売等を通じて、新日・知日人材の増加を図るとともに、参加者による情報発信や再訪問等を促進し、長期的・継続的な交流人口の拡大に繋げる。	インバウンド（FIT） 中国/台湾/アメリカ等	文化（伝統技術、歴史）、被災地独自の素材（復興に取り組む人々の人間性等）
2017年度	株式会社ダイヤモンド・ビッグ社	海外富裕層向け高品質な東北の旅行商品流通モデル	交流人口拡大	英語圏の富裕層に特化したコンテンツ開発・商品造成・販売サポートや、国内外の旅行会社と東北のサプライヤーを繋ぐBtoBマッチングサイトの作成により、商品造成の際に必要な情報を提供し、東北の商品が売れる仕組みを作る。	インバウンド（FIT） アメリカ/カナダ/シンガポール等 （英語圏の富裕層）	スポーツ（サイクリング）等
2016年度	株式会社福島民報社	冬の東北「樹氷」；TOHOKU SNOW MONSTER」ブランド化・商品販売事業	交流人口拡大	東北地域の観光閑散期である冬季に「樹氷」にスポットをあて、新たな冬の東北のブランドを活かした旅行商品造成。	インバウンド 台湾/中国/タイ/オーストラリア等	自然景観（樹氷）
2016年度	株式会社仙台放送	東北在住の留学生と作る「Go!Go!Tohoku!!!」ブランド	交流人口拡大	東北在住の留学生を組織し、SNSや動画配信を活用した東北の情報発信。さらに、留学生が持つ外国人消費者目線をいかして旅行商品を造成。造成した旅行商品は独自ブランドとして海外旅行会社のネットワークで販売。	インバウンド（FIT） 中国/台湾/インドネシア/バトナム/タイ等	人材（東北在住の留学生）、自然景観（奥の細道、温泉）、グルメ（果物）、文化（祭り）等
2016年度	株式会社ダイヤモンド・ビッグ	「東北と海外をつなぐ」訪日旅行者のための旅行商品造成・販売モデル	交流人口拡大	東北各地の旅行代理店と連携し、地域の魅力に特化した外国人向けの着地型旅行商品の造成をサポート。市場別や消費者別に、旅行者のニーズに沿って着地型旅行商品を造成。海外の旅行会社やOTAと地域の旅行代理店をマッチングし、地域と外国人旅行者市場をつなぐ流通の仕組みを構築	インバウンド タイ/台湾/欧米/シンガポール等	文化（祭、歴史）、自然景観（松島）
2016年度	株式会社NTTドコモ	「宿泊×自転車シェア」東北のグリーンサイクリング	交流人口拡大	東北の宿泊施設や観光施設等と連携し、自転車シェアリングサービスを展開。自転車の利用料金等で維持費を賄い、持続可能なサービスの展開を目指す。	観光客、宿泊客	観光施設、宿泊施設
2017年度	【福島県】大堀相馬焼 松永 繁	伝統工芸の継承課題を3D・VR・AIで解決するオープンプログラム	交流人口拡大	東日本大震災の影響で、業元や職人の減少が加速する大堀相馬焼について、職人たちが受け継いできた技能を3D、VR、AIなどのITで継承し、若い人たちが伝統産業の新しい担い手として未来を拓く可能性についてアイデアソンとハッカソンを実施。	伝統産業の再生に関心が高い層	文化（大堀相馬焼）

4.2 交流人口拡大に向けたテーマ別実施イメージ例

4.2.3 域内外（とくに域内における）での交通利便性の向上、受入環境整備

地方観光型MaaSの整備・導入

- 居住地から12市町村へ、あるいは交通拠点となる4都市から12市町村内の周遊施設・交通利用の負荷を軽減
- 急速に高齢化が進み、生活・サービスインフラを維持するための資源（ヒト・モノ・カネ）最適化のためのしくみとしても重要



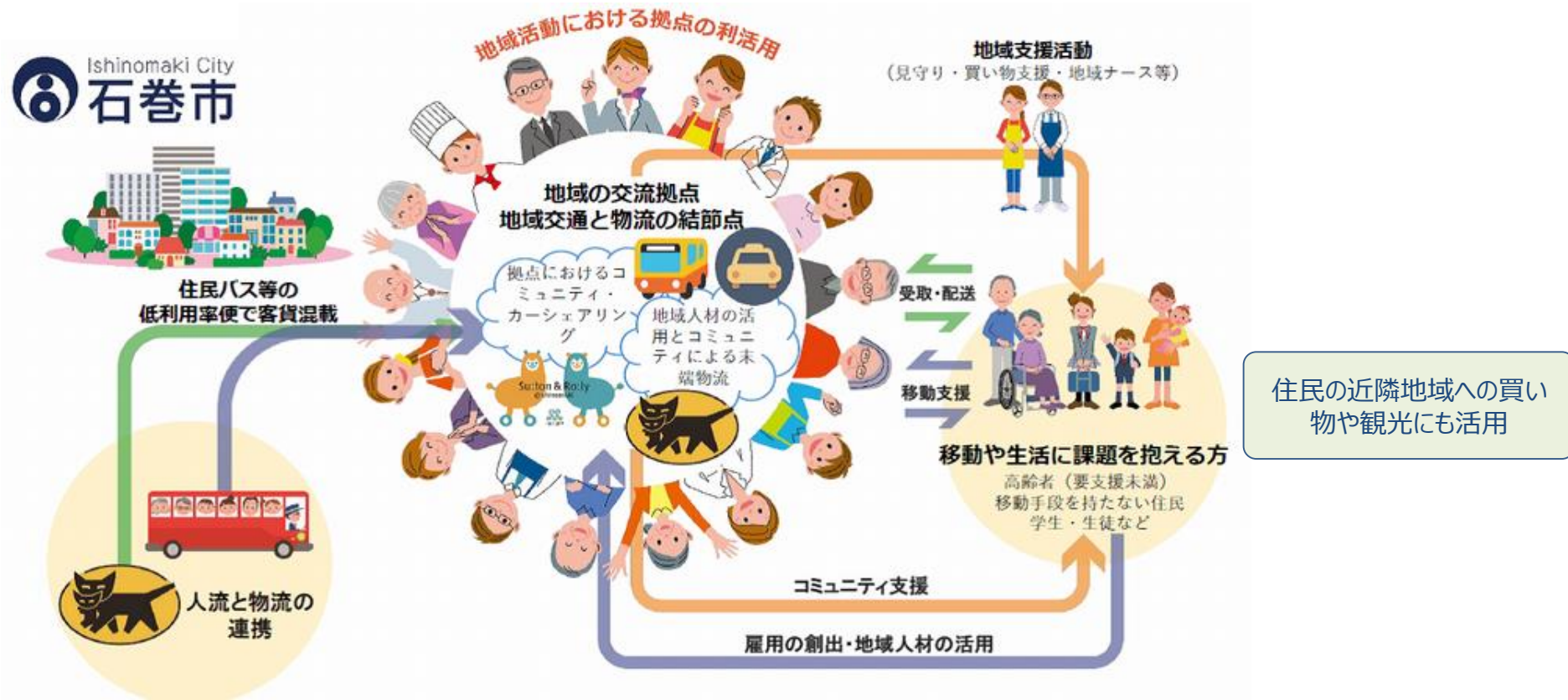
4.2 交流人口拡大に向けたテーマ別実施イメージ例

4.2.3 域内外（とくに域内における）での交通利便性の向上、受入環境整備

ご参考：石巻市地域交通プラットフォーム実証事業

カーシェアリングや貨客混載を組み込んだ地域交通情報プラットフォームによる地域交通の最適化実証

- 過疎地域における移動需要（ヒト・モノ）に対して、既存公共交通（バス・タクシー・トラック）に加えて、ライドシェアリングも含めた新たなプラットフォームの構築と運用を目指し、情報・手配までのプラットフォームを実証したもの
- 観光だけでなく、地域住民の足や不足する人材・資源の最適化の解決手段にも



4.2 交流人口拡大に向けたテーマ別実施イメージ例

4.2.4 交通アクセスや宿泊・他滞在に関わる情報・データの統合、オープンデータ化

訪問者の意図に対応した情報提供を行うことが重要

- 12市町村あるいは相双地域に観光目的等での訪問を検討する、あるいは同エリアに対してより多くの情報を得たいと考えた場合の情報プラットフォームともいべきタッチポイントが見当たらない
- 都市部からの交通拠点、域内での交通アクセスに関する情報、宿泊、ツアー情報等を含め、12市町村に訪問、滞在するために必要な情報がワンストップで提供される必要がある



<http://sosobureau.yumesoso.jp/>

- 相双地方振興局「相双ビューロー」が相双地域の総合的な地域情報ウェブサイトだが、住民向けと観光者向けコンテンツが混在

交通アクセス
(乗換・手配含む)

交通アクセス
(域内移動の案内・手配)

交通アクセス
(宿泊)

アクティビティ・ツアー等

- ・ 訪問・交流に必要な情報を整備すること
- ・ これらの情報に容易にアクセスできること

情報へのアクセスだけでなく、4.2.3項での提案のように、興味から訪問へのアクションを促すしくみ

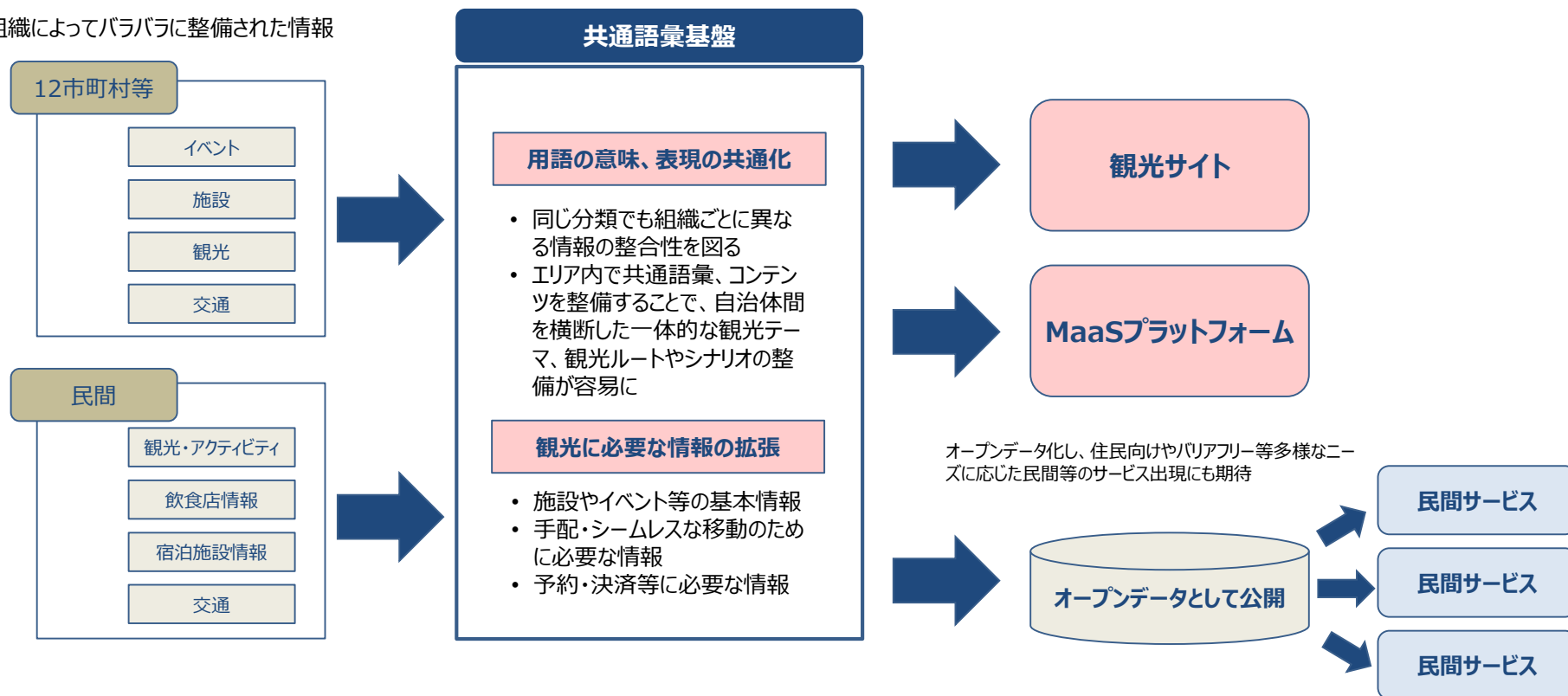
4.2 交流人口拡大に向けたテーマ別実施イメージ例

4.2.4 交通アクセスや宿泊・他滞在に関わる情報・データの統合、オープンデータ化

12市町村に散在する観光・交通・生活情報の共通語彙基盤による整備、オープンデータ化

- 共通語彙基盤を活用し、12市町村内にある観光をテーマとした情報の意味、表現の共通化を図る
- 整合性が確保された情報コンテンツを活用した、あらたな観光案内やMaaSプラットフォームを整備、あるいはオープンデータ化
- 必要な情報へのアクセス効率、テーマに即した情報提供や手配等のワンストップ化により、訪問者の興味喚起や訪問行動を支援

組織によってバラバラに整備された情報



4.2 交流人口拡大に向けたテーマ別実施イメージ例

4.2.5 ターゲット層への効果的な情報発信戦略の検討、実施

想定される現在の訪問状況と展開可能性

- 12市町村への交流が期待されるターゲット層に対して、「福島」「東北」「復興」というテーマだけではない12市町村ならではの魅力あるテーマを、最適なタイミングで情報提供し、提案していく必要がある

	現在の訪問状況	マーケティング展開の方向性
首都圏（東京都・神奈川・埼玉）等からの訪問者	<ul style="list-style-type: none">・観光目的での訪問者はかなり少ない（全体では15%程度）・夏期での訪問が比較的多い・自動車が主だが鉄道利用（在来線）も比較的多い	<ul style="list-style-type: none">・日帰りだけでなく滞在型訪問の提案も（ダイヤモンドルート同様、東北・福島周遊の中の立寄り地のひとつとしての提案）・12市町村への交通アクセスも含めた情報提供、商品開発・観光訪問先としての認知度アップ（あぶくま洞、野馬追、ムシムシランド等夏期をターゲットとしたPR）
福島県内（隣接市町村）からの訪問者	<ul style="list-style-type: none">・近接する市町村から田村市や川俣町、南相馬市内の商業エリア、道の駅等への訪問・隣接する郡山市や福島市、二本松市、相馬市等と含めてそれぞれ経済的なつながりがあり、日常の購買行動先として訪問している可能性がある	<ul style="list-style-type: none">・隣接地域との交流の実態について、さらなる調査が必要だと思われるが、道の駅や地域イベント開催等による需要喚起や、レジャーや学習・体験等購買やビジネス活動以外の訪問・滞在を活性化することで関係性を強化していく
インバウンド旅行者	<ul style="list-style-type: none">・（位置データからの分析ではないが）、「Fukushima Disaster Area Tour」等被災の実態を知りたいという訪問需要層の存在がうかがえる	<ul style="list-style-type: none">・クチコミを中心に復興状況等を知る、フクシマの今を知る、といったツアーがSNS等で高い評価を受けており、そうしたクチコミ、インフルエンサーの滞在を促し、12市町村の魅力について情報発信してもらう・今回は国内在住者についての調査となったため、インバウンドに絞った実態調査が必要

4.2 交流人口拡大に向けたテーマ別実施イメージ例

4.2.5 ターゲット層への効果的な情報発信戦略の検討、実施

近隣圏以外のエリア（首都圏等）に対する12市町村・福島への訪問需要喚起アプローチ

- 旅客運送力や商品造成・販促力を持つ航空会社や旅行代理店等を通じた地域の魅力発信を実施する
- 以下の事例は、国内エアライン2社による東北・福島への興味喚起と飛行機やツアーの案内特設サイトであるが、「観光地としての魅力発信+交通手段+宿泊」をパッケージした情報発信を行うことも一案



魅力ある東北「まち・ひと・しごと」づくりを応援します。

ANAグループは東日本大震災以降、航空とその周辺事業やボランティア活動を通じて、被災地である東北を支援してきました。

これからも、東北の方々の気持ちに寄り添い、東北を訪れる方を増やし、東北の産品を紹介し、東北の現実の姿を語ることによって、東北がさらに力強く夢んでいくことを応援していきます。



全日空では福島県・会津若松市とそれぞれ協定を締結、復興支援活動を実施

- ・ 福島復興をテーマとした特別塗装機の福島空港就航
- ・ 関西の大学との交流、モニターツアーの実施
- ・ 福島県農産物等の商品化・販促支援



国内線
ファーストクラス機内食

機内誌

機内ビデオ

オプションツアー

JALマイレージバンクの
おトク情報

日本航空では「JAL新・JAPANプロジェクト」の一環として2017年8月に福島を取り上げた

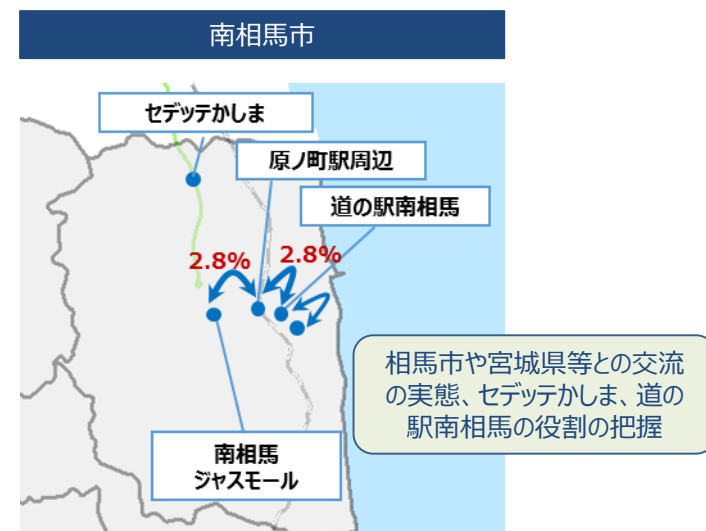
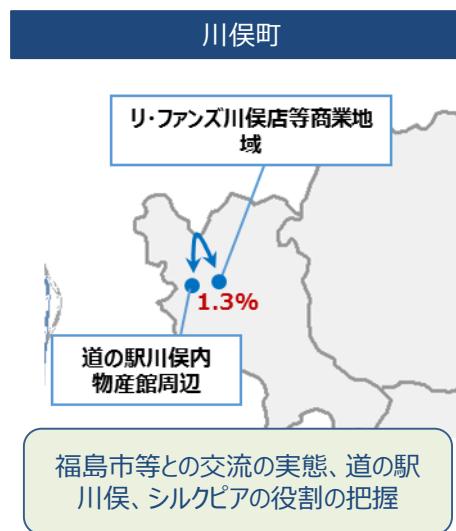
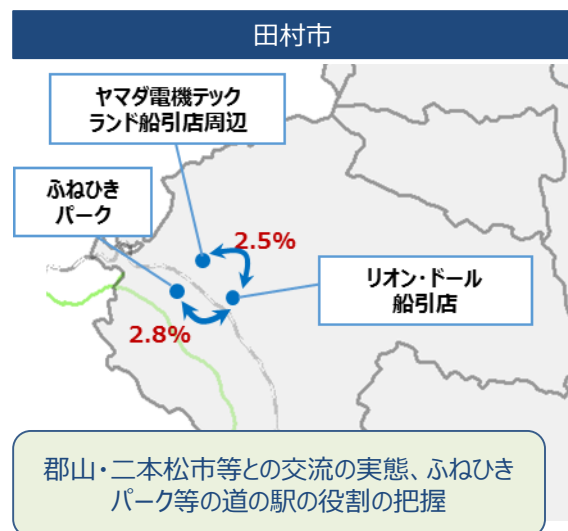
- ・ 福島県農産物を採用した郷土料理をアレンジした機内食を国内ファーストクラスで提供
- ・ 機内誌での福島観光等の特集（会津）
- ・ 機内ビデオでの旅の紹介（二本松）
- ・ オプションツアーの企画・販売（会津）

4.2 交流人口拡大に向けたテーマ別実施イメージ例

4.2.5 ターゲット層への効果的な情報発信戦略の検討、実施

福島県内・近隣市町村居住者や、インバウンド観光客への12市町村への訪問需要喚起アプローチ

- 隣接地域との交流の実態、あるいはインバウンド旅行者の12市町村への訪問・滞在の実態については、今後さらなる調査が必要だと思われる



- インバウンドについては位置ビッグデータだけでなくモニターやSNS等を通じた情報発信からの実態把握や訪問者による魅力・訪問意欲喚起を発信してもらうことに期待



4.2 交流人口拡大に向けたテーマ別実施イメージ例

4.2.6 「知ってもらう」から、弱い関わりを持ってもらうためのしくみ

12市町村が持つ観光資源の映像化・VRによる仮想体験

- 今回の調査から、12市町村への訪問者の多くが福島県、近隣県あるいは首都圏からのアクセスであることが判明した
- かつ首都圏（東京都）からの訪問者も全体の割合としては低く、「来てもらう」ためには、交流に向けた弱い関わりを持ってもらうことが重要
- 「知ってもらう」をより現地の体験に近いものとするために、VR等の映像技術を活用するなどして、復興の今、12市町村の自然や伝統・文化等といった観光資源をよりリアルに体験してもらうことによって、訪問意欲の喚起を狙う

まずは居住地にいながらにして、12市町村について知ってもらうこと、仮想体験によって「実際に現地に行ってみよう」と感じてもらうこと

訪問者が多くないため、現段階では現地でのARやVR・MR等による拡張体験等実装の、交流人口増への効果は低いと思われる



出所：文化庁「VR等を利用した文化財の観光活用に関する調査研究」から抜粋